

【中一種免（技術）】

- ・ 免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：赤色
- ・ 学則・履修規程上定められているが、免許法施行に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、技術に関連する科目：ねずみ色
- ・ 各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ピンク色

【中一種免（技術）及び高一種免（工業）の課程で共通開設】

- ・ 免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：黄緑色

【中一種免（数学）、高一種免（数学）】

- ・ 免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：水色
- ・ 学則・履修規程上定められているが、免許法施行に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、数学に関連する科目：？
- ・ 各教科の指導法に関する科目：緑色

【高一種免（工業）】

- ・ 免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：黄色
- ・ 学則・履修規程上定められているが、免許法施行に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、工業に関連する科目：？
- ・ 各教科の指導法に関する科目：青色

○大阪工業大学学則（案）

昭和24年3月25日

学園102

第1章 総則

（目的）

第1条 本大学は、専門学術を教育研究し、深い教養と実践的応用力を身につけ、時代の要請に対応して国際的視野から知的・技術的創造を実現でき、確かな人間力を備え常に向上を心がける、心身ともにたくましい専門職業人を養成して、社会の発展に貢献するとともに、学術と文化の向上をはかることを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本大学は、前条に規定する目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2 前項の点検および評価に関することは、別に定める。

第2章 組織

（設置学部および設置学科）

第3条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電子情報システム工学科 応用化学科 環境工学科 生命工学科
ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科 システムデザイン工学科 空間デザイン学科
情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科

	情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
知的財産学部	知的財産学科

(教育研究上の目的)

第3条の2 工学部は、地球環境に配慮しながら、専門技術の基礎ならびに人間力を基盤として幅広い協働によるものづくりを实践でき、常に向上を目指す心身ともにたくましい技術者を育成することを目的とする。

2 ロボティクス&デザイン工学部は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できる専門職業人を育成することを目的とする。

3 情報科学部は、情報通信に関する知識や技術を学び、広い視野と倫理観を持って社会や産業活動の情報化とその発展に貢献する健全な技術者あるいは専門職業人を育成することを目的とする。

4 知的財産学部は、健全な人間性、知的能力および国際感覚を有することにより、21世紀の産業社会において活躍する者にして、知的財産の保護と活用を推進することに貢献できる職業人を養成することを目的とする。

(収容定員)

第4条 本大学の学科別入学定員および収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員		収容定員
			3年次編入学 定員	
工学部	都市デザイン工学科	100名	5名	410名
	建築学科	150名	5名	610名
	機械工学科	140名	5名	570名
	電気電子システム工学科	125名	5名	510名
	電子情報システム工学科	110名	5名	450名
	応用化学科	130名	5名	530名
	環境工学科	75名	5名	310名

	生命工学科	70名	5名	290名
	計	900名	40名	3,680名
ロボティクス &デザイン工 学部	ロボット工学科	90名	5名	370名
	システムデザイン工学科	90名	5名	370名
	空間デザイン学科	100名	5名	410名
	計	280名	15名	1,150名
情報科学部	データサイエンス学科	70名	—	280名
	情報知能学科	90名	5名	370名
	情報システム学科	105名	5名	430名
	情報メディア学科	105名	5名	430名
	ネットワークデザイン学科	90名	5名	370名
	計	460名	20名	1,880名
知的財産学部	知的財産学科	140名	10名	580名

(大学院)

第5条 本大学に、大学院を置く。

2 大学院については、大学院学則に定める。

(職員組織)

第6条 本大学に、学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学に、必要に応じて副学長を置くことができる。

3 本大学には、前2項のほか、教務部長、学生部長、図書館長、情報センター長、事務局長、入試部長および就職部長その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第7条 学長は、学務を統括し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての校務を掌る。

3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部に所属する教育系職員を指揮監督する。

4 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

5 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

- 6 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。
- 7 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 8 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 9 研究職員は、教授、准教授もしくは講師の職務を補佐し、または指導を受けて研究に従事する。
- 10 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 11 前条第3項の職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第8条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

- 2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、研究科長、学部長、教務部長、学生部長、図書館長、情報センター長、事務局長、入試部長、就職部長、国際交流センター長、教育センター長、研究支援・社会連携センター長および研究支援・社会連携センター副センター長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(教授会)

第9条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって構成し、当該学部のつぎの事項について審議する。
 - イ 学則に関すること
 - ロ 諸規定の制定・改廃に関すること
 - ハ 教務に関すること
 - ニ 学生の入学、卒業および転学部・転科に関すること
 - ホ 学長が諮問した事項に関すること

- 3 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第10条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 自己評価・IR委員会
- ロ 工学部教員選考委員会

ハ ロボティクス&デザイン工学部教員選考委員会

ニ 情報科学部教員選考委員会

ホ 知的財産学部教員選考委員会

ヘ 入試委員会

ト 教務委員会

チ 教職課程委員会

リ 学生委員会

ヌ 就職委員会

ル 図書館運営委員会

ヲ 人権侵害防止委員会

ワ 個人情報保護委員会

カ FD委員会

コ 教員活動評価委員会

- 2 自己評価・IR委員会は、自己点検・評価、外部評価、認証評価機関による第三者評価、内部質保証に関する事項を審議する。
- 3 工学部教員選考委員会は、工学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
- 4 ロボティクス&デザイン工学部教員選考委員会は、ロボティクス&デザイン工学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
- 5 情報科学部教員選考委員会は、情報科学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
- 6 知的財産学部教員選考委員会は、知的財産学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
- 7 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、その他重要な事項を審議する。
- 8 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議ならびに各学部間の連絡調整を行う。
- 9 教職課程委員会は、学長の諮問に応じて教職課程に関する重要な事項の審議ならびに各学部間の連絡調整を行う。
- 10 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議および各学部間の連絡調整を行う。

- 11 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および各学部間の連絡調整を行う。
- 12 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 13 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 14 FD委員会は、本大学における授業の内容、方法等の改善を図るため、組織的な研修および研究に関する事項を審議する。
- 15 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 16 教員活動評価委員会は、本大学における教員活動評価に関する事項を審議する。
- 17 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第11条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

第12条 学年をつぎの2学期に区分する。

イ 前期 4月1日から9月30日まで

ロ 後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

3 第1項に定める各学期を前半および後半に分けることができる。

(休業日)

第13条 休業日は、つぎのとおりとする。ただし、休業日に授業等を行うことがある。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日 10月30日

ハ 春期休業日 3月21日から3月31日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月14日まで

ホ 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 修業年限および在学年数

(修業年限)

第14条 修業年限は、4年とする。

(在学年数の制限)

第15条 在学年数は、8年を超えることができない。

第5章 入学

(入学時期)

第16条 入学時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第12条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。その場合の学年は、第11条にかかわらず、10月1日に始まり翌年9月30日に終わるものとする。

(入学資格)

第17条 本大学に入学できる者は、つぎの各号のいずれかに該当する者とする。

- イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- ハ 学校教育法施行規則第150条に定められた者

(編入学)

第18条 本大学に編入学を志願する者があるときは、選考のうえ原則として第3年次に編入学を許可する。

2 編入学できる者は、つぎの各号のいずれかに該当する者とする。

- イ 大学を卒業した者
- ロ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ハ 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した後に退学した者
- ニ 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
- ホ 学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了もしくは卒業した者
- ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- チ 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- リ 本学において、個別の入学資格審査により、前各号と同等以上の学力があると認め

た場合で、20歳に達した者

- 3 その他編入学については、編入学規定に定める。

(転入学)

第18条の2 本大学に転入学を志願する者があるときは、選考のうえこれを許可することがある。

- 2 転入学できる者は、大学に在籍している者とする。
- 3 その他転入学については、転入学規定に定める。

(出願手続)

第19条 本大学に入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料および別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第20条 入学者の選考は、教授会の議を経て学長がこれを行う。

(入学手続および入学許可)

第21条 前条の選考に合格した者は、指定の期日までに、別に定める学費を納入し、所定の手続を完了しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ、入学の宣誓をしなければならない。

(保証人)

第22条 保証人は、独立の生計を営む成年者とし、父母またはこれに代わる親族としなければならない。

- 2 保証人は、当該学生の誓約に対し、責任を負わなければならない。
- 3 保証人が、死亡などのため、その資格を失ったときは、新たに保証人を定め届け出なければならない。

第6章 教育課程および履修方法

(授業科目)

第23条 工学部については、各授業科目をキャリア形成の基礎、工学の基礎、専門科目、数理科学と教育およびその他連携科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。

- 2 ロボティクス&デザイン工学部については、各授業科目を共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、専門横断科目および専門科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。

- 3 情報科学部については、各授業科目を共通科目、キャリア科目、専門科目、自由科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。なお、自由科目については、情報科学部履修規定に定める。
- 4 知的財産学部については、各授業科目を導入領域、教養領域、専門領域、展開領域およびその他連携領域に分け、これを4年間に配当し、編成する。
- 5 授業科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目とする。

(授業の方法)

第23条の2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎および附属施設以外の場所で行うことができる。

(授業科目および単位)

第24条 各学科の授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

- 2 単位数の計算基準は、つぎのとおりとする。

イ 講義および演習については、15時間または30時間の授業時間をもって1単位とする。

ロ 実験および実習については、30時間または45時間の授業時間をもって1単位とする。

- 3 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習を組み合わせで行う授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める授業時間をもって1単位とする。

(卒業に必要な単位数)

第25条 卒業に必要な単位は、つぎのとおりとする。

工学部	キャリア形成の基礎20単位〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位〕ならびに工学の基礎26単位および所属する学科の専門科目70単位を含めて合計124単位
ロボティクス&デザイン 工学部	共通教養科目20単位(外国語8単位含む)、工学関連科目17単位、専門横断科目および専門科目77単位、その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目)10単位を含め、合計124単位

情報科学部	イ データサイエンス学科 共通科目36単位(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位を含む)、キャリア科目2単位および専門科目86単位を含めて合計124単位 ロ 情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科 共通科目36単位(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系12単位以上を含む。人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位必要)、キャリア科目2単位および所属する学科の専門科目86単位を含めて合計124単位
知的財産学部	導入領域8単位、教養領域20単位(英語科目8単位および一般科目12単位を含む)、専門領域74単位(基幹科目28単位、知的財産法科目12単位、技術&専門科目14単位、探究科目6単位、研究科目4単位を含む)、展開領域14単位(実践英語科目2単位を含む)を含めて合計124単位

(履修の方法および制限)

第26条 履修の方法および履修の制限については、各学部の履修規定に定める。

(大学院授業科目の履修)

第26条の2 教育上有益であり、かつ所属する学部学科の学修に支障がない場合は、本大学院に進学する学生に対し、学部長は進学先の研究科長があらかじめ指定する授業科目の受講を認めることができる。

2 前項に関し必要な事項は、大阪工業大学大学院授業科目の先取履修取扱規定に定める。

第7章 単位の授与

(単位の授与)

第27条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習等については、試験によらないことがある。

(他大学授業科目の履修および大学以外の教育施設等における学修ならびに単位認定)

第28条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 前項に関し、その他文部科学大臣が別に定める学修については、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定に定める。
- 4 前3項により修得した単位について、学部長は教授会の議を経て、30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位とみなすことができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第29条 教育上有益と認めるときは、新たに第1年次に入学した者が本大学に入学する前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、30単位を超えない範囲で入学前既修得単位認定取扱規定により認定することができる。

- 2 教育上有益と認めるときは、編入学および転入学した者が本大学に入学する前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、62単位を超えない範囲で入学前既修得単位認定取扱規定により認定することができる。
- 3 教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修のうちその他文部科学大臣が別に定める学修を、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定により認定することができる。

(成績の評価)

第30条 成績の評価は、「A、B、C、D、F、*、G」をもって表し、「A、B、C、D、G」を合格とし「F、*」を不合格とする。

- 2 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

第8章 卒業および学位の授与

(卒業)

第31条 工学部、ロボティクス&デザイン工学部および情報科学部については、4年以上在学し、第25条に定める単位を修得し、かつ、卒業研究に合格した者に、学長は教授会の議を経て卒業を許可する。

- 2 知的財産学部については、4年以上在学し、第25条に定める単位を修得し、かつ、達成度確認テストおよび卒業研究に合格した者に、学長は教授会の議を経て卒業を許可する。

3 前項の規定にかかわらず、本学の学生として3年以上在学し、大学院への進学を希望している者で、学部の定める卒業要件を満たし、かつ、優秀な成績を修めたと認めた場合、学部長が推薦し教授会の議を経て、学長は卒業を認めることができる。

4 第1項の規定により卒業の要件として修得すべき124単位のうち、第23条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位の授与)

第32条 本大学を卒業した者には、学士の学位を授与する。

2 その他学位の授与については、学位規定に定める。

第9章 休学、退学、除籍、復学、再入学、転学部等

(休学)

第33条 病気その他やむを得ない理由により、長期にわたり修学できないときは、所定の休学願により学部長に願い出て休学することができる。

(休学命令)

第34条 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第35条 休学の期間は、原則として当該期または当該学年の末までとする。ただし、学部長が特別の理由があると認めた者については、引き続き翌学年度末までの休学を許可することがある。

(休学期間の制限)

第36条 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

2 休学期間は、在学年数に算入しない。

(退学)

第37条 病気その他やむを得ない理由により、退学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第38条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ 学費を所定の期日までに納入しない者

ロ 休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ 第15条の在学年数を超えた者

ニ 休学期間満了になっても復学を願い出ない者

ホ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者(第51条に定める特別履修生として入学を許可された者を除く)

ヘ 死亡が確認された者

(復学)

第39条 休学者の復学については、復学規定に定める。

(再入学)

第40条 退学した者または除籍された者が再入学を願い出た場合は、学長は教授会の議を経て許可することがある。

2 その他再入学については、再入学規定に定める。

(転学部等)

第41条 転学部または転科を志願する者があるときは、志願先に欠員のある場合に限り、志願先の教授会の議を経て学長が許可することができる。

2 転学部または転科した者がすでに修得した単位の取扱いについては、学部長が別に定める。

3 その他転学部または転科については、転学部・転科規定に定める。

第10章 賞罰

(表彰)

第42条 学生として表彰に価する行為があった者には、学生委員会の議を経て学長が表彰することができる。

2 その他表彰については、学生表彰規定に定める。

(懲戒)

第43条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生の本分に反する行為を行った者には、学生委員会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、譴責、停学および放學とする。

3 放學は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行う。

イ 性行不良で改善の見込みがないと認められた者

ロ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 その他懲戒については、学生懲戒規定に定める。

第11章 学費

(学費)

第44条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第2—1のとおり定める。

(学費の納入等)

第45条 学費は、所定の期日までに納入しなければならない。

2 学費の納入については、学費納入規定に定める。

3 既に納入された学費は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(休学中の学費)

第46条 休学中の学費は、休学を許可された期の翌期から免除する。ただし、別表第2—4に定める在籍料を納入しなければならない。

2 その他休学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

第12章 奨学制度

(奨学制度)

第47条 学業、人物ともに優秀で経済的理由などにより就学困難と認めた者に対し、奨学金を給付することがある。

2 その他奨学金については、学内奨学規定に定める。

第13章 教育職員免許状

(教育職員免許状)

第48条 教育職員免許状の取得を志望する者のために、教育職員免許法に基づき、教科及び教職に関する科目を置く。

2 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第3のとおりとする。

3 前項の免許状を取得するための授業科目、単位の履修方法等については、履修規定による。

第14章 公開講座

(公開講座)

第49条 市民の教養を高め、地域社会の教育文化の向上に資するため、公開講座を設けることがある。

第15章 科目等履修生、特別履修生および研究生

(科目等履修生)

第50条 本大学において、特定の授業科目の履修を志願する者があるときは、本大学の教育に支障のない場合に限り、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。
- 3 履修料は、別表第2—2のとおり定める。
- 4 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別履修生)

第51条 他の大学の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、本大学の教育に支障のない場合に限り、当該大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、特別履修生として入学を許可することがある。

- 2 履修料は、別表第2—2のとおり定める。
- 3 その他特別履修生については、特別履修生規定に定める。

(研究生)

第52条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本大学の教育研究に支障のない場合に限り、学長は教授会の議を経て研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は、6カ月または1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
- 4 研究料は、別表第2—3のとおり定める。
- 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

第16章 外国人留学生および帰国学生

(外国人留学生)

第53条 外国の国籍を有する者で、原則として大学入学を目的として入国許可を受けて入国し、本大学に入学を志願する者があるときは、学長は特別に選考のうえ教授会の議を経て外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 その他外国人留学生の入学については、外国人留学生入学規定に定める。

(帰国学生)

第54条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、学長は特別に選考のうえ教授会の議を経て帰国学生として入学を許可することができる。

2 その他帰国生徒の入学については、外国人留学生入学規定による。

第17章 付置研究所等

(付置研究所等)

第55条 本大学に図書館、情報センター、実験場、研究センターその他の附属施設を置く。これらに関する規定は、別にこれを定める。

第18章 その他

(施行細則)

第56条 本学則施行に必要な細則は、別に定める。

(学則の改廃)

第57条 本学則の改廃は、教授会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

付 則

1 本学則は、昭和24年3月25日から施行する。

2

イ この改正学則は、2023年4月1日から施行する。

ロ 2021年度以前の情報科学部の入学者に開設する授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。ただし、「情報科学実践演習(国内PBL)a」「情報科学実践演習(国内PBL)b」については2020年度以前の入学者にも適用する。

ハ 2022年度以前の工学部の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、学部長が別に定めるもののほか、なお従前の例による。

ニ 都市デザイン工学科の「複合構造学」および「道路工学」の科目名称変更、機械工学科の「エンジニアリングプラクティス」、「機械情報工学演習Ⅰ」、「機械情報工学演習Ⅱ」の科目名変更および新設科目の「機械のAI」の履修、応用化学科の「情報化学」の履修年次変更については、2021年度以前の入学者にも適用する。

ホ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

へ 2021年度以前の知的財産学部知的財産学科の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数については、なお従前の例による。なお、知的財産学部長は、これらの者の修得すべき授業科目の実施について、必要な措置を講じることができる。

ト 2022年度以前のロボティクス&デザイン工学部の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

チ 第3条の規定にかかわらず、工学部空間デザイン学科および工学部ロボット工学科は、2017年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

リ 第3条の規定にかかわらず、工学部電子情報通信工学科、情報科学部コンピュータ科学学科および情報科学部情報ネットワーク学科は、2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表第1 教育課程表

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 教職課程においては、注1、2は、教育職員免許状の取得に必要な必修科目等を示す

I 工学部

1 キャリア形成の基礎

授業科目		単位数
人文社会科学	世界と人間	2
	文章表現基礎	2
	哲学	2
	倫理学	2
	美術史	2
	文学	2
	日本語の歴史	2
	法学(日本国憲法)	2
	経済学	2
	歴史学	2
	心理学	2

	日本の伝統と文化	2
	国際関係論	2
	※日本の文化と社会Ⅰ	2
	※日本の文化と社会Ⅱ	2
外国語	ベーシック・イングリッシュa	1
	ベーシック・イングリッシュb	1
	オーラル・コミュニケーションⅠa	<u>1</u>
	オーラル・コミュニケーションⅠb	<u>1</u>
	オーラル・コミュニケーションⅡa	<u>1</u>
	オーラル・コミュニケーションⅡb	<u>1</u>
	工学コミュニケーション英語基礎a	1
	工学コミュニケーション英語基礎b	1
	キャリア・イングリッシュⅠa	1
	キャリア・イングリッシュⅠb	1
	キャリア・イングリッシュⅡa	1
	キャリア・イングリッシュⅡb	1
	英語プレゼンテーションa	1
	英語プレゼンテーションb	1
	中国語コミュニケーション	1
	中国語と現代中国事情	1
	海外語学研修	2
	※日本語Ⅰ	2
	※日本語Ⅱ	2
体育	健康体育Ⅰ	<u>1</u>
	健康体育Ⅱ	<u>1</u>
	生涯スポーツⅠ	<u>1</u>
	生涯スポーツⅡ	<u>1</u>

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

2 工学の基礎

イ 都市デザイン工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2

淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	デザイン探求演習(PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

ロ 建築学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1

	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	デザイン探求演習(PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

ハ 機械工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2

	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	開発プロセス基礎演習	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

ニ 電気電子システム工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学 I	2
	解析学 I 演習	1
	解析学 II	2
	解析学 II 演習	1
	解析学 III	2
	解析学 III 演習	1
	線形代数学 I	2
	線形代数学 II	2
	微分方程式 I	2
	微分方程式 II	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2

工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	開発プロセス基礎演習	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

ホ 電子情報システム工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2

	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	開発プロセス基礎演習	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

へ 応用化学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2

	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習(PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

ト 環境工学科

授業科目		単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2

	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習(PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

チ 生命工学科

授業科目		単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ 演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ 演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ 演習	1

	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習(PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1

3 専門科目

イ 都市デザイン工学科

	授業科目	単位数
共通領域	都市デザイン工学入門	2
	都市デザイン工学演習Ⅰ	●2
	都市デザイン工学演習Ⅱ	●2
	プロジェクト演習	●1
	測量学	●2
	測量学実習	●2
	応用測量学	2
	応用測量学実習	2
	基礎製図	2
	CAD／CG演習	■1
	上下水道システム工学	2
	建設行政	2
	技術者論理	●2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
	建築・都市設計演習	2
	防災・減災工学	2
デザイン・計画領域	景観工学	●2
	景観工学演習	■1
	空間情報学	2
	空間デザイン学	2
	計画学a	●2
	計画学a演習	■1
	計画学b	2
	社会資本計画学	2
	交通計画学	2
	都市・地域計画	2

構造領域	構造力学a	●2
	構造力学a演習	■1
	構造力学b	●2
	構造力学b演習	■1
	構造力学c	2
	構造力学c演習	■1
	橋梁工学	2
	複合構造・維持管理工学	2
コンクリート・材料領域	建設材料学	●2
	鉄筋コンクリート工学	2
	鉄筋コンクリート工学演習	■1
	コンクリート構造学	2
	プレストレストコンクリート工学	2
	応用コンクリート工学	2
地盤領域	土質力学a	●2
	土質力学a演習	■1
	土質力学b	●2
	土質力学b演習	■1
	地盤防災工学	2
	地盤施工学	2
	土構造・道路工学	2
河川・海岸領域	水理学a	●2
	水理学a演習	■1
	水理学b	●2
	水理学b演習	■1
	河川工学	2
	水系保全学	2
	海岸工学	2
建築士関連科目	建築環境工学	2
	建築法規	2

	建築生産	2
	建築設備	2
	建築・都市設計製図Ⅰ	2
	建築・都市設計製図Ⅱ	2

注) 建築士関連科目の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含まない。

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

都市デザイン工学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・

29単位

選択科目(選択必修科目で6単位を含む)・・・・・・・・

41単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・8単位

(合計)

124単位

ロ 建築学科

	授業科目	単位数
基幹	構造力学Ⅰ	●2
	構造力学Ⅱ	●2
	設計演習Ⅰ	●3
	設計演習Ⅱ	●3
	設計演習Ⅲ	●3
	建築演習Ⅰ	●2
	建築演習Ⅱ	●2

建築設計・計画	建築計画Ⅰ	■2
	建築計画Ⅱ	■2
	建築計画Ⅲ	■2
	建築計画Ⅳ	■1
	建築計画Ⅴ	■1
	地区設計論	■1
	地区計画論	■1
	都市計画論Ⅰ	1
	都市計画論Ⅱ	1
	ランドスケープデザイン	1
	建築史Ⅰ	■2
	建築史Ⅱ	■2
	建築史Ⅲ	■1
	建築史Ⅳ	■1
	意匠論	1
	建築法規A	■1
	建築法規B	■1
	CAD／CG演習Ⅰ	2
	CAD／CG演習ⅡA	1
	CAD／CG演習ⅡB	1
	CGプレゼンテーション演習Ⅰ	1
	CGプレゼンテーション演習Ⅱ	1
建築環境工学・設備	建築環境工学Ⅰ演習	■2
	建築環境工学Ⅱ演習	■2
	建築環境工学Ⅲ演習	■2
	建築設備Ⅰ	■2
	建築設備ⅡA	■1
	建築設備ⅡB	■1
構造力学・建築一般構造	構造力学Ⅲ	■2
	構造力学Ⅳ	■1

	構造力学アドバンスⅠ	1
	構造力学アドバンスⅡ	2
	建築振動論Ⅰ	1
	建築振動論Ⅱ	1
	鋼構造Ⅰ	■2
	鋼構造Ⅱ	■2
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	■2
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	■1
	鉄筋コンクリート構造Ⅲ	■1
	建築基礎構造Ⅰ	■1
	建築基礎構造Ⅱ	■1
	構造計画Ⅰ	■1
	構造計画Ⅱ	1
建築材料・生産	建築材料Ⅰ	■2
	建築材料Ⅱ	■2
	建築施工	■2
	建築経済Ⅰ	■1
	建築経済Ⅱ	■1
共通	設計基礎演習Ⅰ	■2
	設計基礎演習Ⅱ	■2
	建築概論	2
	建築構法	■2
	木構造	■2
	絵画演習	2
	測量学Ⅰ・同演習	1
	測量学Ⅱ・同演習	1
	建築倫理	1
	建築学アドバンスⅠ	1
	建築学アドバンスⅡ	1
	特別講義	1

[卒業に必要な単位数]

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

建築学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・

17単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・

53単位

・ 共通分野で選択必修科目6単位以上を修得していること(ただし、設計基礎演習Ⅰまたは設計基礎演習Ⅱのいずれかを含む)

・ 「建築設計・計画分野」で選択必修科目13単位以上を修得していること

(ただし、建築法規Aまたは建築法規Bのいずれかを含む)

・ 「建築環境工学・設備分野」で選択必修科目6単位以上修得していること

(ただし、建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習から4単位および建築設備Ⅰ、建築設備ⅡA、建築設備ⅡBから2単位を含む)

・ 「構造力学・建築一般構造分野」で選択必修科目9単位以上を修得していること

・ 「建築材料・生産分野」で選択必修科目4単位以上を修得していること

(ただし、建築材料Ⅰまたは建築材料Ⅱのいずれかを含み、かつ建築施工、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱから2単位を含む)

・ 建築計画Ⅳ、建築計画Ⅴ、建築史Ⅲ、建築史Ⅳ、地区設計論、地区計画論、建築設備ⅡA、建築設備ⅡB、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅲ、建築基礎構造Ⅰ、建築基礎構造Ⅱ、構造計画Ⅰ、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱのうち9単位以上を修得すること

・ 別に定める建築士受験資格に係る指定科目から60単位以上を修得していること

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・・・8単位

(合計)

124単位

ハ 機械工学科

	授業科目	単位数
共通	機械基礎ゼミナール	1
	研究推進ゼミナール	1
	機械の数学	2
	研究推進概論	1
	国際設計工学実習	1
	機械工学入門a	2
	機械工学入門b	2
	機械工作実習a	●2
	機械工作実習b	●2
	機械工学実験a	●1
	機械工学実験b	●1
	機械のデータサイエンス演習Ⅰ	1
	機械のデータサイエンス演習Ⅱ	1
	計算力学	2
	実験計画法	2
	先端技術論	2
	航空・宇宙工学	2
	自動車工学	2
	機械のAI	2
	機械工学演習Ⅰ	1
	機械工学演習Ⅱ	1
	機械工学演習Ⅲ	1
	機械工学演習Ⅳ	1
	開発プロセス発展演習	4
	工学コミュニケーション英語応用	2
設計・製作系	製図学	2
	CAD／CAM概論	2
	設計製図Ⅰ	●1

	設計製図Ⅱ	●1
	設計演習a	2
	設計演習b	2
	3次元CAD演習	2
	機械製作法Ⅰ	2
	機械製作法Ⅱ	●2
	機械設計法	●2
	生産システム工学	2
	機械材料	●2
材料力学・機械力学系	材料力学Ⅰ	●2
	材料力学Ⅱ	●2
	材料力学Ⅲ	2
	材料強度学	2
	機械力学	●2
	機械力学応用	2
	振動工学	2
熱・流体系	熱力学	●2
	熱工学	●2
	流れ学	●2
	流体力学	●2
	流体機械	2
	内燃機関	2
計測・制御系	計測と制御	●2
	システム制御	2
	基礎電気回路	2
	メカトロニクス	2
	ロボット工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位

を含む]

20単位

工学の基礎

26単位

機械工学科の専門科目

必修科目

30単位

選択科目

40単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他
連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

.8単位

(合計) 124単位

その他の要件

◇発展コース

- ・工学倫理、開発プロセス基礎演習、実験計画法、開発プロセス発展演習、工学コミュニケーション英語応用を修得していること
- ・工学の基礎9単位以上(解析学Ⅱまたは解析学Ⅲから2単位、解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習から1単位、線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱから2単位、基礎情報処理Ⅰ1単位、基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む)を修得していること

◇実践コース

開発プロセス基礎演習、機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅲ、機械工学演習Ⅳ、3次元CAD演習を修得していること

また、設計演習a、設計演習bのいずれかを修得していること

ニ 電気電子システム工学科

授業科目		単位数
電気電子基礎	電気電子システム総論	■2
	電磁気学Ⅰ	●2
	電磁気学Ⅱ	●2
	電磁気学Ⅲ	■2
	電磁界理論	2

	電気数学	■2
	基礎電気計測	■2
	計算機プログラミング	■2
	技術者倫理	2
実験・演習・設計	電気電子システム実験a	●3
	電気電子システム実験b	●3
	電気電子システム実験c	●3
	電気電子システムPBL	2
	電機設計／CAD製図	2
電気電子回路	電気回路Ⅰ	●2
	電気回路Ⅱ	●2
	電気回路Ⅲ	■2
	電気回路Ⅳ	■2
	電子回路工学Ⅰ	■2
	電子回路工学Ⅱ	2
	アナログ電子回路	2
	デジタル電子回路	■2
材料・物性・デバイス	電気電子材料	■2
	電子デバイス工学	2
	電子物性論	■2
	LSI工学	2
	センサ工学	2
	プラズマエレクトロニクス	2
	オプトエレクトロニクス	2
エネルギー・電気機器	電力システムⅠ	■2
	電力システムⅡ	2
	エネルギー変換工学	2
	高電圧・パルスパワー工学	2
	電気法規および施設管理	2
	電機システムⅠ	■2

システム科学・通信	電機システムⅡ	2
	パワーエレクトロニクス	2
	電気応用	2
	情報通信工学	2
	ネットワーク工学	2
	アンテナ・伝送工学	2
	電波・通信法規	2
	システム工学	2
	計算機ハードウェア	2
	計算機ソフトウェア	2
	制御工学Ⅰ	■2
	制御工学Ⅱ	2
	ロボット工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

電気電子システム工学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・

17単位

選択科目(選択必修科目で20単位を含む)・・・・・・・・

53単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・・・8単位

(合計)

124単位

ホ 電子情報システム工学科

	授業科目	単位数
基幹科目	電子情報システム基礎演習	●1
	電子情報システム実験Ⅰ	●2
	電子情報システム実験Ⅱ	●2
	電子情報システム実験Ⅲ	●2
	エレクトロニクスプラクティス	●2
	電気回路Ⅰ	●2
	電気回路Ⅱ	●2
	電気磁気学Ⅰ	2
	電気磁気学Ⅱ	2
	基礎電子回路Ⅰ	2
	基礎電子回路Ⅱ	2
	固体エレクトロニクスⅠ	2
	コンピュータ基礎	2
	コンピュータアーキテクチャ	2
	情報通信基礎	2
	電気回路Ⅰ演習	1
	電気回路Ⅱ演習	1
	電気磁気学演習	1
	プログラミング・同演習	3
技術人材育成・資格関連科目	情報社会と倫理	2
	情報と職業	2
	電波・通信法規	2
エレクトロニクス系科目	電気計測	2
	電気磁気学Ⅲ	2
	レーザ工学	2
	光エレクトロニクス	2
	電気回路Ⅲ	2
	アナログ電子回路	2

	デジタル電子回路	2
	電子回路設計	2
	固体エレクトロニクスⅡ	2
	半導体デバイス基礎	2
	半導体デバイス工学	2
	制御工学	2
情報通信系科目	コンピュータシステム	2
	コンピュータグラフィクス	2
	メディア情報開発	2
	ネットワーク設計	2
	デジタル信号処理	2
	伝送理論	2
	通信方式Ⅰ	2
	通信方式Ⅱ	2
	ネットワーク工学	2
	電磁波工学	2
	無線通信工学	2
	情報理論	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

電子情報システム工学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・

13単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・

57単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・8単位

(合計)

124単位

その他の要件

◇基幹コース

- ・必修科目を除く基幹科目から23単位を修得していること
- ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱを修得していること
- ・線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、物理学実験の6科目のうち6単位以上を修得していること
- ・情報社会と倫理、エンジニアリング探求演習(PBL)を修得していること
- ・情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の5科目のうち2単位以上を修得していること
- ・キャリアデザインを修得していること
- ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること
- ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること

◇実務コース

- ・必修科目を除く基幹科目から12単位を修得していること
- ・キャリアデザイン、情報社会と倫理、情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の7科目のうち2単位以上を修得していること
- ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること
- ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること

へ 応用化学科

	授業科目	単位数
基幹科目	応用化学実験基礎	●2
	応用化学実験A	●2
	応用化学実験B	●2
	応用化学実験C	●2
	基礎化学演習a	●1
	基礎化学演習b	●1

	基礎化学演習c	●1
	応用化学演習a	●1
	応用化学演習b	●1
	応用化学演習c	●1
	化学概論a	●2
	化学概論b	●2
	無機化学Ⅰ	●2
	無機化学Ⅱ	●2
	物理化学Ⅰ	●2
	物理化学Ⅱ	●2
	有機化学Ⅰ	●2
	有機化学Ⅱ	●2
	有機化学Ⅲ	●2
総合化学系科目	応用化学実験D	●2
	化学工学Ⅰ	2
	化学工学Ⅱ	2
	化学英語	2
	応用化学探求	2
	情報化学	2
	量子化学	2
	分子分光光学	2
	電気化学	2
	危険物取扱法	2
	化学安全衛生管理	1
	国際研究セミナー	2
	国際インターンシップ	2
創成材料化学系科目	有機化学Ⅳ	2
	有機立体化学	2
	反応有機化学	2
	有機合成化学	2

	無機合成化学	2
	物性化学	2
	錯体・有機金属	2
	基礎高分子科学	2
	高分子化学	2
	高分子物性	2
	固体化学	2
環境生命化学系科目	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	分子構造解析Ⅰ	2
	分子構造解析Ⅱ	2
	環境化学	2
	環境計測	2
	資源化学	2
	有機工業化学	2
	生活化学	2
	生命有機化学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

応用化学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・

34単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・

36単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他

連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

．．．．．8単位

(合計) 124単位

ト 環境工学科

授業科目		単位数
基幹科目	基礎ゼミナール	1
	環境工学入門	2
	環境量論基礎	●2
	環境統計解析	2
	環境基礎化学実験	1
	環境工学演習Ⅰa	●2
	環境工学演習Ⅰb	●2
	環境工学演習Ⅱa	●2
	環境工学演習Ⅱb	●2
	CAD製図・演習	3
	実践環境工学	2
	研究基礎演習	1
	環境倫理	2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
環境エネルギー分野	エネルギー基礎	■2
	電気設備工学	2
	エネルギー機能材料	2
	移動現象論	2
	エネルギー変換工学	2
	グリーンテクノロジー	2
	空気調和制御・演習	3
	エネルギー有効利用技術	2
自然環境分野	環境化学	■2
	森林生態学	2

	環境分析	2
	大気環境学	2
	環境バイオテクノロジー	2
	水環境学	3
	自然生態系修復	2
	土壌環境学	2
資源循環分野	反応工学	■2
	廃棄物工学	2
	上下水システムⅠ	2
	上下水システムⅡ	2
	水質変換工学	2
	環境土木通論Ⅰ	2
	環境土木通論Ⅱ	2
	バイオマス利活用技術	2
	環境施設設計	2
	公衆衛生リスク通論	2
環境システム分野	環境システム工学	■2
	環境計画	2
	生産マネジメント	2
	地域環境マネジメント	2
	環境評価・経済性工学	2
	数値解析・演習	3
	蓄積・循環管理論	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

環境工学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

10単位

選択科目(選択必修科目で6単位を含む)・・・・・・・・ 60

単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他
連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・8単位

(合計)

124単位

チ 生命工学科

	授業科目	単位数
基幹科目	生物実験	●2
	化学実験	●2
	医工学実験	●2
	生命工学PBL I	●2
	生命工学PBL II	●2
	生命工学ゼミナール	●2
	生命工学研究ゼミナール I	●2
	生命工学研究ゼミナール II	●2
	キャリアデベロップメント	●2
	工学英語	●2
	生命数学演習	●1
	生命物理演習	●1
	人体生理学 I	■2
	人体生理学 II	■2
	生化学 I	■2
	生化学 II	■2
	電気工学基礎	■2
	微生物学	■2
	無機化学	■2

	有機化学Ⅰ	■ 2
	有機化学Ⅱ	■ 2
	遺伝子工学	2
	公衆衛生学	2
	食品衛生学	2
	食品化学工学	2
	食品加工学	2
	先端技術論	2
	バイオエレクトロニクス	2
	バイオメカニクス	2
	分析化学	2
医工学系	医工学概論	2
	高分子工学	2
	人工臓器	2
	生体システム工学	2
	生体物性工学	2
	生命計測工学	2
	バイオマテリアル	2
	生物化学工学	2
生命科学系	生命科学概論	2
	医薬概論	2
	免疫学	2
	機能性食品学	2
	細胞・組織工学	2
	生物情報工学	2
	生物物理学	2
	タンパク質工学	2

[卒業に必要な単位数]

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・

26単位

- ・解析学Ⅰ、解析学Ⅰ演習、解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、微分方程式Ⅱ、確率と統計Ⅰ、確率と統計Ⅱから2単位以上修得していること
- ・物理学a、物理学b、物理学c、物理学d、物理学実験から2単位以上修得していること
- ・基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、品質管理から1単位以上修得していること
- ・工学倫理およびキャリアデザインを修得していること

生命工学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・

22単位

選択科目(選択必修科目で14単位を含む)・・・・・・・・

48単位

その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・・・8単位

(合計)

124単位

4 数理科学と教育

イ 都市デザイン工学科

授業科目			単位数
数理科学と教育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2

		応用数学Ⅱ	2
化学		実践化学	2
地学		地球システムと人間	2
生物		環境生物学	2
人間		人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
数学教育		現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ロ 建築学科

授業科目			単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4

	現代幾何学	4
	現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ハ 機械工学科

授業科目		単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析
		ベクトル解析
		線形代数学Ⅲ
		線形代数学Ⅳ
		複素解析Ⅰ
		複素解析Ⅱ
		応用数学Ⅰ
		応用数学Ⅱ
	化学	実践化学
	地学	地球システムと人間
	生物	環境生物学
	人間	人間発達と人権
		教育原論
		道德教育
	数学教育	現代代数学
		数学特論
		現代幾何学
		現代解析学

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ニ 電気電子システム工学科

授業科目		単位数
数 理 科 学	数学	級数とフーリエ解析
		ベクトル解析
		線形代数学Ⅲ
		線形代数学Ⅳ

と 教 育		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ホ 電子情報システム工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2

		道德教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

へ 応用化学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2
		生物学実験	2

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ト 環境工学科

授業科目			単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		化学実験	2
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2
		生物学実験	2

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

チ 生命工学科

授業科目			単位数
数 理 科	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2

学 と 教 育		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道德教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

5 その他連携科目

	授業科目	単位数
その他連携科目	キャリアデザイン	1
	キャリア形成支援	1
	インターンシップ	2
	グローバルテクノロジー論a	1
	グローバルテクノロジー論b	1
	OIT概論	1

Ⅱ ロボティクス&デザイン工学部

1 共通教養科目(全学科共通)

区分		授業科目	単位数
共通教養科目	人文社会科学	文章表現基礎Ⅰ	2
		文章表現基礎Ⅱa	1
		文章表現基礎Ⅱb	1
		哲学	1
		倫理学	1
		美術史	1
		日本語の歴史	1
		憲法a	1
		憲法b	1
		経済学	1
		歴史学	1
		心理学	1
		※日本の文化と社会	1
		人文社会特殊講義	2
	体育	健康体育Ⅰ	1
		健康体育Ⅱ	1
	外国語	プラクティカル・イングリッシュa	1
		プラクティカル・イングリッシュb	1
		アカデミック・イングリッシュa	1
		アカデミック・イングリッシュb	1
		オーラル・イングリッシュa	1
		オーラル・イングリッシュb	1
		ベーシック・プレゼンテーション	1
		ビジネス・イングリッシュa	1
		ビジネス・イングリッシュb	1
		アカデミック・プレゼンテーション	1
		プロフェッショナル・イングリッシュ	1

		ユ	
		海外語学研修	2
		※日本語Ⅰ	2
		※日本語Ⅱ	2
	キャリア形成	キャリアデザイン	1
		インターンシップ	2

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

2 工学関連科目(全学科共通)

区分		授業科目	単位数
工学関連科目	数理科目	解析学Ⅰ	2
		解析学Ⅱ	2
		解析学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅰ	2
		線形代数学Ⅱ	2
		確率・統計学	2
		応用解析学Ⅰ	2
		応用解析学Ⅱ	2
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		物理学実験	2
		地球科学	2
		生物科学	2
	工学マネジメント科目	工学倫理	1
		知的財産法概論	2
		生産マネジメント	2

3 その他連携科目(全学科共通)

区分	授業科目	単位数
その他連携科目	グローバルテクノロジー論a	1
	グローバルテクノロジー論b	1
	OIT概論	1

4 専門横断科目

イ ロボット工学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考概論	2
		造形演習	2
		ロボティクス&デザイン工学演習	●2
		ロボティクス&デザイン工学実践演習（国際PBL）	1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習Ⅰ	●1
		プログラミング演習Ⅱ	1
		プログラミング演習Ⅲ	1
		プログラミング演習Ⅳ	1
		プログラミング実践演習	●1

ロ システムデザイン工学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考概論	2
		造形演習	2
		ロボティクス&デザイン工学演習	●2
		ロボティクス&デザイン工学実践演習（国際PBL）	1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習Ⅰ	●1
		プログラミング演習Ⅱ	●1
		プログラミング演習Ⅲ	1
		プログラミング演習Ⅳ	1
		プログラミング実践演習	●1

ハ 空間デザイン学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考概論	2
		造形演習	2
		ロボティクス&デザイン工学演習	●2
		ロボティクス&デザイン工学実践演習（国際PBL）	1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習Ⅰ	●1
		プログラミング演習Ⅱ	1
		プログラミング演習Ⅲ	1
		プログラミング演習Ⅳ	1
		プログラミング実践演習	●1

5 専門科目

イ ロボット工学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	機械系科目	機械材料	2
		材料力学Ⅰa	●1
		材料力学Ⅰb	1
		設計製図	2
		材料力学Ⅱ	2
		機械力学Ⅰ	●2
		機械力学Ⅱ	2
		熱流体力学	2
	電気電子系科目	電気回路Ⅰ	●2
		電気回路Ⅱ	2
		アナログ電子回路	2
		デジタル電子回路	2
		電磁気学	2
		アクチュエータ工学	2
	計測制御系科目	計測工学	2
		制御工学Ⅰ	●2

		制御工学Ⅱ	2
		信号処理	2
		画像処理	2
	情報系科目	アルゴリズムとデータ構造	2
		計算機アーキテクチャ	2
		統計解析	2
		数値計算法	2
	ロボット系科目	ラピッドプロトタイピング	2
		ロボット機構学	●2
		先端ロボット技術概論	1
		メカトロニクス	2
		ロボットシステム設計論A	2
		ロボットシステム設計論B	2
		機械学習	2
		知能ロボット	2
		ヒューマンロボットインタラクション	2
		バイオメカニクス	2
	実験実習系科目	基礎ロボット工学演習	1
		機械工作実習	2
		ロボット工学実験Ⅰ	●2
		ロボット工学実験Ⅱ	●2
		機械CAD演習	1
		電気CAD演習	1
		ロボットシステム創造演習	●2
		ロボット工学ゼミナール	●1

〔卒業に必要な単位数〕

共通教養科目〔外国語8単位含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学関連科目・・・・・・・・・・・・・・・・

17単位

専門横断科目および専門科目・・・・・・・・・・・・・・・・

77単位

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

57単位

その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・10単位

(合計) 124単位

ロ システムデザイン工学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	機電系科目	計測工学	2
		材料力学Ⅰa	1
		材料力学Ⅰb	1
		センサ工学	2
		電気回路Ⅰ	2
		電気回路Ⅱ	2
		電磁気学	2
		熱流体力学	2
		デジタル電子回路	2
		機械力学	2
		アナログ電子回路	2
	システム系科目	情報理論	2
		離散数学	2
		A I・XR応用	2
		制御工学Ⅰ	2
		制御工学Ⅱ	2
		現代制御	2
		信号処理	2
		統計解析	2
		画像処理	2

		数値計算法	2
		システム工学	2
		ヒューマンインタラクション	2
		バイオメカニクス	2
	実験・演習科目	システムデザイン工学実験Ⅰ	●2
		システムデザイン工学実験Ⅱ	●2
		機械・電気CAD演習	1
		基礎ゼミナール	1
		ものづくりデザイン演習	2
		デザイン演習	1
		システムデザイン実践演習	●2
		システムデザイン工学ゼミナール	●1
		webシステム開発	1
	IoTものづくり系科目	データ構造とアルゴリズム	●2
		オブジェクト指向プログラミング	2
		モデルベースシステム設計	2
		知能機械システム	2
		人工知能概論	2
		クラウドコンピューティング	2
		音声工学	2
		現代デザイン論	2
		デザイン工学概論	2
		ユーザ工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

共通教養科目〔外国語8単位含む〕・・・・・・・・・・・・・・ 20単位

工学関連科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

17単位

専門横断科目および専門科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

77単位

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

22単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

55単位

その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・・・10単位

(合計)

124単位

ハ 空間デザイン学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	デザイン共通科目	設計製図演習	●3
		CG基礎演習	2
		CAD演習Ⅰ	2
		CAD演習Ⅱ	2
		色彩計画	2
		インテリアデザイン計画	2
		知の技法	2
		造形力学Ⅰ	2
		造形力学Ⅱ	2
		構造デザイン	2
		構造材料・構造実験	2
		デザイン論Ⅰ	●2
		デザイン論Ⅱ	●2
		デザイン論Ⅲ	●2
		空間形態論	2
		生活空間デザイン	2
		インテリアデザイン史	2
		商空間デザイン	2
		ものづくりデザイン演習	2

		人間工学	2
		文化テクノロジー論	2
		基礎ゼミナール	1
		デザイン工学ゼミナール	●1
	空間デザイン系科目	空間デザイン基礎演習	■2
		空間デザイン演習Ⅰ	■2
		空間デザイン演習Ⅱ	■2
		空間デザイン演習Ⅲ	■2
		空間デザイン演習Ⅳ	■2
		建築計画Ⅰ	2
		建築計画Ⅱ	2
		建築設計方法論	2
		都市環境デザイン	2
		日本建築史	2
		西洋建築史	2
		近代建築史	2
		建築構法	2
		建築構造学	2
		建築環境工学Ⅰ	2
		建築環境工学Ⅱ	2
		建築法規	2
		建築施工	2
		建築材料	2
		建築設備	2
	プロダクトデザイン系科目	プロダクトデザイン基礎演習	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	■2
		プロダクト材料工学	2

	コミュニケーションデザイン論	2
	コンテンツ応用論	2
	情報デザイン論	2
	デザインマネジメント	2
	ラピッドプロトタイピング	2
	デザイン史	2

共通教養科目〔外国語8単位含む〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・

20単位

工学関連科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

17単位

専門横断科目および専門科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・

77単位

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

14単位

選択必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

10単位

選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

63単位

その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目)

・・・・・・・・・・10単位

(合計)

124単位

Ⅲ 情報科学部

1 共通科目(各学科共通)

区分		授業科目	単位数
総合人間学系	人文社会科学	哲学基礎	■2
		社会学基礎	2
		情報社会論	■2
		倫理学基礎	2
		応用倫理学	■2
		日本の歴史	2
		人類の歴史	■2
		文学基礎	■2
		観る文学	2
		言語学基礎	2
		日本国憲法	2
		法学基礎	2
		情報法学	■2
		経済学基礎	■2
		現代経済論	2
		心理学基礎	2
		人間発達と人権	2
	外国語	英語表現(basic 1)a	1
		英語表現(basic 1)b	1
		英語の語法	2
		口語英語 I a	1
		口語英語 I b	1
		英語による情報技術Ⅱ	2
		英語表現(basic 2)a	1
		英語表現(basic 2)b	1
		口語英語Ⅱ a	1
		口語英語Ⅱ b	1

		英語による情報技術 I a	1
		英語による情報技術 I b	1
		英語演習	1
		海外語学研修	2
		※日本語 I	2
		※日本語 II	2
	健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a	1
		基礎スポーツ科学b	1
		健康科学	2
		スポーツ科学実習	1
総合理学系	科学技術史	科学史	2
	物理	物理学基礎	■2
		物理現象の数理	2
		力学	2
		電磁気学	2
		現代物理学入門	■2
	化学	化学基礎	2
		環境情報科学	2
	地学	地球科学基礎	2
		地球環境	■2
	生物	生命科学基礎	2
		情報生命科学	■2
	総合	視る自然科学	2

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

2 キャリア科目(各学科共通)

区分	授業科目	単位数
キャリア科目	基礎ゼミナール	1
	キャリアステップ	1
	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1

	グローバルテクノロジー論	1
	OIT概論	1

3 専門科目

イ データサイエンス学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	●2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	●2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	2
	数理計画法	2
	確率・統計	●2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	2
	プログラミング基礎	●2
	テクニカルライティング	●2
	情報処理基礎	2
	コンピュータリテラシー	●2
	データサイエンス入門	●2
	データ構造とアルゴリズム	■2
	実験計画法	2
	統計解析	●2
	多変量解析	2
	IoT概論	■2
	教育心理	2
基幹科目	データベースシステム	■2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	情報技術者論	●2

	情報ゼミナール	●2
	システム工学	2
	情報セキュリティの基礎	2
	経営システム論Ⅰ	●2
	データマイニング	■2
	テキストマイニング	1
	ビジュアルプログラミング論	2
	ソフトウェア工学	■2
	人工知能	2
	パターン認識	2
	機械学習	●2
	発想法と問題解決	1
応用科目	モデリングとシミュレーション	2
	経営システム論Ⅱ	2
	情報科学実践演習(国際PBL)	1
	マーケティング論	■2
	数理ファイナンス	■2
	ロジスティクス	2
	企業会計論	2
	教育工学	■2
	教育技法	2
	情報科教育法	2
	工業経営論	■2
	投資意思決定論	2
	経営戦略論	2
演習科目	C演習Ⅰ	●3
	C演習Ⅱ	■3
	Java演習	■3
	データサイエンス実践演習Ⅰ	●2
	データサイエンス実践演習Ⅱ	●2

	データサイエンス実践演習Ⅲ	■2
	価値創造演習	■2

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位を含む)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36単位

キャリア科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2単位

データサイエンス学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33単位

選択科目・・・・・・ 53(数理科学4単位以上、選択必修科目12単位含む) 単位

(合計) 124単位

ロ 情報知能学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	■2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	■2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	確率・統計	■2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	■2
	プログラミング基礎	2
	テクニカルライティング	●2
	デジタル回路	●2
	情報処理基礎	2
	プログラミング入門	2

	データ構造とアルゴリズム I	■2
	アセンブリ言語	●2
	ソフトウェア工学 I	■2
	組み込みシステム基礎	●2
	コンピュータリテラシー	2
基幹科目	オートマトンと形式言語	■2
	計算機アーキテクチャ	●2
	プロセッサ設計	■2
	集積回路工学	■2
	データ構造とアルゴリズム II	2
	システムプログラム	2
	オペレーティングシステム	●2
	プログラミング言語論	■2
	データベースシステム	■2
	ソフトウェア工学 II	■2
	Unixプログラミング	2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
	インターフェース・センサ回路	2
	情報セキュリティの基礎	■2
応用科目	知能制御工学基礎	2
	集積回路設計	2
	画像処理	2
	信号処理	2
	コンピュータグラフィックス I	2
	知能情報処理	2
	知能制御工学	2
	情報科学実践演習(国際PBL)	1
	情報科学実践演習(国内PBL)a	1
	情報科学実践演習(国内PBL)b	1

演習科目	C演習Ⅰ	●3
	C演習Ⅱ	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報科学演習Ⅰ	●2
	情報科学演習Ⅱ	●2
	情報科学演習Ⅲ	●2
	知能制御工学演習	1
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目(人文社会科学(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む)12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目6単位を含む)12単位以上を含む)
(人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要)・・・・・・・・・・
36単位

キャリア科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2単位

情報知能学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
27単位

選択科目(選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
59単位

(合計) 124単位

ハ 情報システム学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	■2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	■2

	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	■2
	プログラミング基礎	2
	オートマトンと形式言語	■2
	テクニカルライティング	●2
	ディジタル回路	2
	情報処理基礎	2
	計算機アーキテクチャ	●2
	データ構造とアルゴリズムⅠ	■2
	システムプログラム	2
	オペレーティングシステム	●2
	アセンブリ言語	2
	コンピュータリテラシー	2
	Unixシステム入門	2
基幹科目	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
	プログラミング言語論	■2
	データベースシステム	●2
	ソフトウェア工学Ⅰ	●2
	ソフトウェア工学Ⅱ	■2
	ヒューマンインタフェース	2
	ネットワーク設計	■2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	情報技術者論	●2

	情報システムの計画策定	■2
	情報ゼミナール	●2
	システム工学	■2
	情報セキュリティの基礎	■2
	経営システム論Ⅰ	2
応用科目	情報検索	2
	人工知能	2
	コンピュータグラフィックスⅠ	2
	構造化文書処理	2
	高信頼システム	2
	モデリングとシミュレーション	2
	Webサービス論	2
	経営システム論Ⅱ	2
	情報システム学特別講義	2
	情報科学実践演習(国際PBL)	1
	情報科学実践演習(国内PBL)a	1
	情報科学実践演習(国内PBL)b	1
演習科目	C演習Ⅰ	●3
	C演習Ⅱ	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報システム基礎演習	●2
	情報システム専門演習	●2
	情報システム応用演習	■2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目(人文社会科学(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む)12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目6単位を含む)12単位以上を含む)

(人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要)・・・・・・・・

36単位

キャリア科目・・・・・・・・

2単位

情報システム学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・

23単位

選択科目(選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む)・・・・・・・・

63単位

(合計)

124単位

ニ 情報メディア学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	■2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	■2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	■2
	オートマトンと形式言語	■2
	テクニカルライティング	●2
	デジタル回路	2
	情報処理基礎	2
	プログラミング入門	2

	計算機アーキテクチャ	●2
	情報セキュリティの基礎	■2
	データ構造とアルゴリズムⅠ	■2
	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
	システムプログラム	2
	オペレーティングシステム	●2
	プログラミング言語論	■2
	アセンブリ言語	2
	データベースシステム	■2
	ソフトウェア工学Ⅰ	■2
	ソフトウェア工学Ⅱ	■2
	コンピュータリテラシー	2
基幹科目	メディアデータ論	2
	コンピュータグラフィックスⅠ	■2
	人間情報学	2
	ヒューマンインタフェース	2
	画像情報処理Ⅰ	■2
	音響処理	■2
	感性情報処理	2
	色彩学	2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
応用科目	コンピュータグラフィックスⅡ	2
	構造化文書処理	2
	画像情報処理Ⅱ	2
	CAD	2
	音声情報処理	2
	メディアインタフェース	2
	Webデザイン	2
	情報科学実践演習(国際PBL)	1

演習科目	情報科学実践演習(国内PBL)a	1
	情報科学実践演習(国内PBL)b	1
	アニメーション演習	1
	情報メディア入門	●1
	C演習 I	●3
	C演習 II	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報メディア演習 I	●2
	情報メディア演習 II	●2
	情報メディア演習 III	●2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目(人文社会科学(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む)12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目6単位を含む)12単位以上を含む)
(人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要)・・・・・・・・・・
36単位

キャリア科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2単位

情報メディア学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
22単位

選択科目(選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは41単位を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
64単位

(合計)

124単位

ホ ネットワークデザイン学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	■2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	■2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	■2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	●2
	テクニカルライティング	●2
	ディジタル回路	2
	情報処理基礎	2
	計算機アーキテクチャ	●2
	データ構造とアルゴリズムⅠ	■2
	オペレーティングシステム	●2
	Unix入門	1
	データベースシステム	■2
	ソフトウェア工学Ⅰ	■2
	ネットワークデザイン入門	●1
	通信理論	■2
	コンピュータリテラシー	2
	ディジタル信号処理	2
	プログラミングリテラシー(入門)	1
	プログラミングリテラシー(読解)	1
	情報セキュリティの基礎	■2

基幹科目	Webサイト制作	2
	モバイルコミュニケーション	2
	ネットワーク設計	■2
	サーバ構築管理	2
	ネットワークアプリケーション	■2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
	情報セキュリティの応用	2
応用科目	オートマトンと形式言語	■2
	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
	システムプログラム	2
	プログラミング言語論	■2
	ソフトウェア工学Ⅱ	■2
	構造化文書処理	2
	ヒューマンインタフェース	2
	メディア通信概論	2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	モデリングとシミュレーション	2
	情報科学実践演習(国際PBL)	1
	情報科学実践演習(国内PBL)a	1
	情報科学実践演習(国内PBL)b	1
演習科目	C演習Ⅰ	●3
	C演習Ⅱ	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	ネットワークデザイン基礎演習	●2
	ネットワークデザイン専門演習	●2
	ネットワーク・セキュリティ演習	2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目(人文社会科学(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む)12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系(コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目6単位を含む)12単位以上を含む)
(人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要)・・・・・・・・・・
36単位

キャリア科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2単位

ネットワークデザイン学科の専門科目

必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
22単位

選択科目(選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・
64単位

(合計)

124単位

IV 知的財産学部

1 導入領域

授業科目		単位数
導入領域	基礎ゼミナール	2
	言語表現技術Ⅰ	2
	言語表現技術Ⅱ	2
	ICTリテラシー	2
	健康体育Ⅰ	1
	健康体育Ⅱ	1

2 教養領域

授業科目		単位数
教養領域	英語科目	受信英語Ⅰ
		受信英語Ⅱ
		発信英語Ⅰ
		発信英語Ⅱ

		資格英語Ⅰ	1
		資格英語Ⅱ	1
		法学英語基礎Ⅰ	1
		法学英語基礎Ⅱ	1
		メディア英語Ⅰ	1
		メディア英語Ⅱ	1
		メディア英語Ⅲ	1
	一般科目	言語表現技術応用	2
		哲学	2
		倫理学	2
		美術史	2
		文学	2
		歴史学	2
		心理学	2
		社会学	2
		日本の伝統と文化	2
		化学	2
		地球科学	2
		生物科学	2
		生涯スポーツⅠ	1
		生涯スポーツⅡ	1
		※日本語Ⅰ	2
		※日本語Ⅱ	2
		※日本の文化と社会Ⅰ	2
		※日本の文化と社会Ⅱ	2

注) 授業科目の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

3 専門領域

授業科目		単位数
専門領域	基幹科目	産業社会と知的財産
		2
		法学入門
		2
		民法基礎Ⅰ
		●2
		民法基礎Ⅱ
		2
		民法応用Ⅰ
		2
		民法応用Ⅱ
		2
		民事訴訟法
		2
		憲法Ⅰ
		2
		憲法Ⅱ
		2
		行政法Ⅰ
		2
		行政法Ⅱ
		2
		国際関係法
		2
		刑法
		2
		企業法務概論
		2
		独占禁止法
		2
		経済学入門
		2
		企業経済学Ⅰ
		2
		企業経済学Ⅱ
		2
		会計学
		2
		ブランド&デザイン、ビジネス入門
		●2
		データリテラシー
		2
	知的財産法科目	知的財産法入門
		2
		特許法・実用新案法Ⅰ
		●2
		特許法・実用新案法Ⅱ
		2
		特許法・実用新案法Ⅲ
		2
		著作権法入門
		1
		著作権法
		2
		商標法
		2

		国際知的財産法	2
		意匠法	2
		不正競争防止法	2
	技術&専門科目	大阪技術学	2
		現代技術と産業	2
		現代機械技術概論	2
		現代化学概論	2
		エレクトロニクス概論	2
		バイオテクノロジー概論	2
		情報技術と特許	2
		知財情報分析	2
		工業デザインと知的財産	2
		現代技術と特許	2
		海外の知的財産制度概論	2
		特許手続	2
		マーケティングとブランド	2
		ブランドマネジメント	2
		デザインマネジメント	2
		コンテンツマネジメント	2
		ベンチャービジネス論	2
		イノベーションと企業戦略	2
		経営戦略論	2
		知的財産専門Ⅰ	2
		知的財産専門Ⅱ	2
	探求科目	特許意匠探求	6
		コンテンツ知的財産探求	6
		ブランド&デザイン知的財産探求	6
		国際知的財産探求	6
		知的財産経営探求	6
		著作権ビジネス探求	6

		地域知的財産探求	6
	研究科目	研究基礎演習	●4

4 展開領域

		授業科目	単位数
展開領域	実践英語科目	ビジネス英語	2
		英語プレゼンテーション	2
		知的財産専門英語Ⅰ	2
		知的財産専門英語Ⅱ	2
	展開科目	展開ゼミナールa	2
		展開ゼミナールb	2
		キャリア形成Ⅰ	2
		キャリア形成Ⅱ	2
		キャリア形成Ⅲ	2
		ライフステージと法	2
		中国語コミュニケーション	1
		中国語と現代中国事情	1
		知的財産中国語	2
		海外語学研修	2
		知的財産インターンシップ	2
		知的財産研修	2
		キャリアゼミナール	2

5 その他連携領域

		授業科目	単位数
その他連携領域		基礎英語	1
		基礎英会話	1
		OIT概論	1
		インターンシップ	2
		知的財産総合入門Ⅰ	1
		知的財産総合入門Ⅱ	1
		知的財産総合応用Ⅰ	1

	知的財産総合応用Ⅱ	1
	知的財産総合応用Ⅲ	1

〔卒業に必要な単位数〕

導入領域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8単位	
教養領域(英語科目8単位、一般科目12単位を含む)・・・・・・・・	
20単位	
専門領域	
必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・	
10単位	
選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・	
64単位	
(基幹科目28単位、知的財産法科目12単位、技術&専門科目14単位、探求科目6単位、研究科目4単位を含む)	
展開領域(実践英語科目2単位を含む)・・・・・・・・	
14単位	
その他(導入領域、教養領域、専門領域、展開領域、その他連携領域、他学部の科目)・・	
8単位	

(合計) 124単位

その他の要件

- ◇知的財産プロフェッショナルコース
 - 特許法・実用新案法Ⅱ、著作権法、商標法、意匠法を修得していること
- ◇ブランド&デザインコース
 - 著作権法、商標法、意匠法を修得していること
- ◇ビジネスマネジメントコース
 - 企業経済学Ⅰ、企業経済学Ⅱ、イノベーションと企業戦略を修得していること

V 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

1 全学共通開設

授業科目	単位数
教育原論	2
教職入門	2
教育行政	2
教育心理学	2
特別支援教育	2
教育課程論	2
道德教育	2
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法論（ICT活用含む）	2
生徒指導と進路指導	2
教育相談	2
中学校教育実習	5
高等学校教育実習	3
教職実践演習(中・高)	2
人間発達と人権	2
教職特論	2

2 工学部

学科等	授業科目名	単位数
都市デザイン工学科	工業概論	2
建築学科	工業概論	2
機械工学科	工業概論	2
	木材加工	2
	栽培	2
電気電子システム工学科	工業概論	2
電子情報システム工学科	工業概論	2
応用化学科	工業概論	2
環境工学科	工業概論	2
生命工学科	工業概論	2
学部共通	職業指導A	2
	職業指導B	2
	数学科教育法a	2

	数学科教育法b	2
	数学科教育法c	2
	数学科教育法d	2
	理科教育法a	2
	理科教育法b	2
	理科教育法c	2
	理科教育法d	2
	技術科教育法 a	2
	技術科教育法 b	2
	技術科教育法 c	2
	技術科教育法 d	2
	工業科教育法a	2
	工業科教育法b	2
	情報科教育法a	2
	情報科教育法b	2

3 ロボティクス&デザイン工学部

学科等	授業科目名	単位数
ロボット工学科	工業概論	2
	木材加工	2
	栽培	2
システムデザイン工学科	工業概論	2
	木材加工	2
	栽培	2
空間デザイン学科	工業概論	2
学部共通	職業指導A	2
	職業指導B	2
	技術科教育法 a	2
	技術科教育法 b	2
	技術科教育法 c	2
	技術科教育法 d	2
	工業科教育法a	2
	工業科教育法b	2

4 情報科学部

学科等	授業科目名	単位数
学部共通	数学科教育法a	2
	数学科教育法b	2
	数学科教育法c	2
	数学科教育法d	2
	情報科教育法a	2
	情報科教育法b	2

別表第2—1(学費)

(単位：円)

種別 \ 学部	工学部	ロボティクス &デザイン工 学部	情報科学部	知的財産学部	備考
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時納入
授業料	1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,020,000	毎年度納入
教育充実費	100,000	150,000	100,000	50,000	1年次納入
	200,000	300,000	200,000	150,000	2年次以降納 入

学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがある。

別表第2—2(履修料)

(単位：円)

学部	金額	備考
工学部	23,000	1単位あたり
ロボティクス&デザイン工学 部	23,000	
情報科学部	23,000	
知的財産学部	20,000	

別表第2—3(研究料)

(単位：円)

種別	期間	6カ月	1年
	研究料	180,000	360,000

別表第2—4(在籍料)

(単位：円)

区分	金額
前期	60,000
後期	60,000

別表第3(教育職員免許状の種類および免許教科)

免許状の種類	免許教科	学部	学科
中学校教諭一種免許状	「数学」	工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電子情報システム工学科
		情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
	「理科」	工学部	応用化学科 環境工学科 生命工学科
		工学部	機械工学科
	「技術」	ロボティクス& デザイン工学部	ロボット工学科 システムデザイン工学科

高等学校教諭一種免許状	「数学」	工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電気情報システム工学科
		情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
	「理科」	工学部	応用化学科 環境工学科 生命工学科
		工学部	電気情報システム工学科
	「情報」	情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
		工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電気情報システム工学科 応用化学科 環境工学科 生命工学科
	「工業」	ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科 システムデザイン工学科 空間デザイン学科
		工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電気情報システム工学科 応用化学科 環境工学科 生命工学科

○大阪工業大学工学部履修規定（案）

昭和24年3月25日

工学内041

改正 2021年3月5日

第1章 総則

（趣旨）

第1条 学則第26条および第48条に定める履修については、この規定の定めるところによる。

（授業科目の分類、週時間数および履修年次）

第2条 授業科目の分類は、卒業の要件との関連で、必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)とする。

2 開設する授業科目の分類、週時間数および履修年次は、別表第1のとおりとする。

（履修方法）

第2条の2 授業科目は、各学科の定めるところにより履修しなければならない。

2 機械工学科の専門科目は、つぎのコースによって履修するものとする。

イ 発展コース

ロ 実践コース

3 前項のコースを履修する学生は、第2年次から、前項イ号またはロ号のコースのいずれかを選択し、コースごとに別に定める科目のうちから履修しなければならない。

4 前項により履修したコースの変更は、第3・4年次への進級時に第2項イ号からロ号へのコース変更のみ認め、それ以外のコース変更は原則として認めない。ただし、修学上必要と認めた場合、学部長はこれを許可することがある。

5 電子情報システム工学科の専門科目は、つぎのコースによって履修するものとする。

イ 基幹コース

ロ 実務コース

6 前項のコースを履修する学生は、第2年次から、前項イ号またはロ号のコースのいずれかを選択し、コースごとに指定された条件を満たすように履修しなければならない。

7 前項により履修したコースの変更は、第4年次への進級時に第5項イ号からロ号へのコース変更のみ認め、それ以外のコース変更は原則として認めない。ただし、修学上必要と認めた場合、学部長はこれを許可することがある。

（他大学、他学部または他学科における授業科目の履修および大学以外の教育施設等にお

ける学修ならびに取扱い)

第3条 教育上有益と認めるときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前項に関し、その他文部科学大臣が別に定める学修については、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定に定める。

4 前3項により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を超えない範囲で卒業に必要な単位として認めることができる。

5 教育上有益と認めるときは、学部間または学科間の協議に基づき学長(他学科については学部長)は学生に他学部および他学科の授業科目を履修させることができる。

(大学院授業科目の履修)

第3条の2 教育上有益であり、かつ所属する学部学科の学修に支障がないと認めるときは、学部長は本大学院に進学する学生に対し、進学先の研究科の授業科目を履修させることができる。

2 前項に関し必要な事項は、大阪工業大学大学院授業科目の先取履修取扱規定に定める。

(卒業に必要な単位数)

第4条 卒業に必要な単位数は124単位とし、つぎのとおりとする。

イ キャリア形成の基礎 20単位〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位を含む〕

ロ 工学の基礎 26単位

ハ 専門科目 70単位

ニ その他(キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目) 8単位

2 前項のほか、つぎに定める事項を充足しなければならない。

学科	区分	
	必修科目	選択科目
都市デザイン工学科	29単位	41単位(選択必修科目6単位を含む)
建築学科	17単位	53単位

		・共通分野で選択必修科目6単位以上を修得していること (ただし、設計基礎演習Ⅰまたは設計基礎演習Ⅱのいずれかを含む) ・建築設計・計画分野で選択必修科目13単位以上を修得していること(ただし、建築法規Aまたは建築法規Bのいずれかを含む) ・建築環境工学・設備分野で選択必修科目6単位以上修得していること(ただし、建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習から4単位および建築設備Ⅰ、建築設備ⅡA、建築設備ⅡBから2単位を含む) ・構造力学・建築一般構造分野で選択必修科目9単位以上を修得していること ・建築材料・生産分野で選択必修科目4単位以上を修得していること(ただし、建築材料Ⅰまたは建築材料Ⅱのいずれかを含み、かつ建築施工、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱから2単位を含む) ・建築計画Ⅳ、建築計画Ⅴ、建築史Ⅲ、建築史Ⅳ、地区設計論、地区計画論、建築設備ⅡA、建築設備ⅡB、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅲ、建築基礎構造Ⅰ、建築基礎構造Ⅱ、構造計画Ⅰ、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱのうち9単位以上を修得すること	
		・別に定める建築士受験資格に係る指定科目から60単位以上を修得していること	
機械工学科	◇発展コース	30単位	40単位
			工学倫理、開発プロセス基礎演習、実験計画法、開発プロセス発展演習、工学コミュニケーション英語応用、計測と制御Ⅰを修得していること 工学の基礎9単位以上(解析学Ⅱまたは解析学Ⅲから2単位、解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習から1単位、線形

			代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱから2単位、基礎情報処理Ⅰ1単位、基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む)を修得していること
	◇実践コース		40単位
			開発プロセス基礎演習、機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅲ、機械工学演習Ⅳ、3次元CAD演習を修得していること また、設計演習a、設計演習bのいずれかを修得していること
電気電子システム工学科	17単位		53単位(選択必修科目20単位を含む)
電子情報システム工学科	◇基幹コース	13単位	57単位
			・必修科目を除く基幹科目から23単位を修得すること ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱを修得していること ・線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、物理学実験の6科目のうち6単位以上を修得していること ・情報社会と倫理、開発プロセス基礎演習を修得していること ・情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の5科目のうち2単位以上を修得していること ・キャリアデザインを修得していること

		と ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること
	◇実務コース	57単位 ・必修科目を除く基幹科目から12単位以上修得していること ・キャリアデザイン、情報社会と倫理、情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の7科目のうち2単位以上を修得していること ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること
応用化学科	34単位	36単位
環境工学科	10単位	60単位(選択必修科目で6単位を含む)
生命工学科	22単位	48単位(選択必修科目14単位を含む)
	・解析学Ⅰ、解析学Ⅰ演習、解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、微分方程式Ⅱ、確率と統計Ⅰ、確率と統計Ⅱから2単位以上修得していること ・物理学a、物理学b、物理学c、物理学d、物理学実験から2単位以上修得していること ・基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、品質管理から1単位以上修得していること ・工学倫理およびキャリアデザインを修得していること	

第2章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第5条 1年間の授業を行う期間は、試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

第6条 学生は履修許可を受けた全ての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第7条 授業は、つぎのとおりとする。

1時限	9 : 10～10 : 50
2時限	11 : 00～12 : 40
3時限	13 : 30～15 : 10
4時限	15 : 20～17 : 00
5時限	17 : 10～18 : 50
6時限	19 : 00～20 : 40

第3章 履修申請および履修辞退

(履修許可)

第8条 履修する授業科目は、学部長に申請して許可を得なければならない。

(履修申請)

第9条 履修申請は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って手続きしなければならない。

- 2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請の手続きをしない者は、履修を許可しない。
- 3 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。

(履修単位数の上限)

第10条 1年間に履修申請できる単位数は、44単位以内とする。ただし、編入学生、転学部・転科学学生が入学初年度に履修申請できる単位数は、56単位以内とする。なお、いずれの場合も「キャリアデザイン」、「キャリア形成支援」、「海外語学研修」、「インターンシップ」、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「グローバルテクノロジー論a」、「グローバルテクノロジー論b」、「OIT概論」、「国際インターンシップ」、「デザイン探求演習(PBL)」、「開発プロセス基礎演習」、「サイエンス探求演習(PBL)」、「Re : トライ制度で履修した授業科目およびその他別に定める科目ならびに卒業に必要な単位数に含まれない科目(教科及び教職に関する科目を含む)を除く。

- 2 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(履修申請科目の変更等)

第11条 履修申請の手続後は、授業時間割の変更の場合を除いて、追加、訂正および変更を認めない。

(履修許可の取消し)

第12条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第12条の2 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

2 履修辞退の手続方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第4章 試験および成績評価

(試験の区分)

第13条 試験は、定期試験、臨時試験、追試験および再試験とする。

2 定期試験は、各学期末に行う試験をいう。

3 臨時試験は、授業の進展に伴い臨時に行う試験をいう。

4 追試験は、病気その他やむを得ない理由により、受験できなかった者に対して行う試験をいう。

5 再試験は別に定める科目について、成績評価が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第14条 前条第4項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて、受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

2 追試験の実施については、学部長が定める。

3 再試験の申請要領ならびに実施については、学部長が定める。

(成績評価等)

第15条 学則第30条の成績の評価は、筆記試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績の評価は、A、B、C、D、F、*、Gをもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。

A : 100～90点

B : 89～80点

C : 79～70点

D : 69～60点

F : 59～0点

* : 評価不能

G : 合格

- 3 成績評価A、B、C、D、Gを合格とし、所定の単位を与える。
- 4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、Nと表す。
- 5 第2項の成績の評価による学業結果を総合的に判断する指標として、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。
- 6 前項に定めるGPAは、成績評価のうち、Aにつき4.0、Bにつき3.0、Cにつき2.0、Dにつき1.0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じた積の合計を、履修許可科目の総単位数で除して算出し小数点第2位まで表記する。(小数点第3位を四捨五入)
- 7 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。
 - イ 卒業要件に含むことができない授業科目
 - ロ 評価を「G」、「N」で表す授業科目
 - ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)
 - ニ その他別に定める授業科目

第5章 履修制限

(2年次配当の専門科目の履修要件)

第15条の2 2年次配当の専門科目を履修するための要件は、2年次に在籍し1年次終了までにつぎのとおり単位を修得していること。

機械工学科	22単位以上
電気電子システム工学科	20単位以上
電子情報システム工学科	20単位以上
応用化学科	22単位以上

(卒業に必要な単位数に含まれないものを除く)

(3年次配当の専門科目の履修要件)

- 2 ただし、編入学生には前項を適用しない。

(卒業研究着手の要件)

第16条 卒業研究(論文または設計計画)に着手するためには、つぎの各号のすべてを充足していなければならない。

イ 4年次であること

ロ キャリア形成の基礎〔外国語6単位(英語4単位を含む)を含む〕および工学の基礎30単位を含み修得総単位数が110単位以上(編入学生は100単位以上)であること〔卒業に必要な単位数に含まれないもの(教科及び教職に関する科目を含む)を除く〕

ハ 達成度確認テストに合格すること

2 前項のほか、学科によっては、別表第2「学科別卒業研究着手条件」に定める事項を充足しなければならない。

(卒業研究の成績評価)

第17条 卒業研究および達成度確認テストの成績評価は、「合格」または「不合格」と表示する。

第6章 教職課程

(教育職員免許状の種類および免許教科)

第18条 学則第48条に定める教育職員免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学科
中学校教諭一種免許状	「数学」	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電子情報システム工学科
	「理科」	応用化学科 環境工学科 生命工学科
	「技術」	機械工学科
高等学校教諭一種免許状	「数学」 「工業」	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科
	「数学」	電子情報システム工学科

	「情報」 「工業」	
	「理科」 「工業」	応用化学科 環境工学科 生命工学科

(基礎資格および最低修得単位)

第19条 中学校教諭一種免許状(以下「中一種免」という)または高等学校教諭一種免許状(以下「高一種免」という)を取得するためには、基礎資格として、学士の学位を有し、つぎの各号の各授業科目を履修し単位を修得していなければならない。

イ キャリア形成の基礎の「法学(日本国憲法)」(2単位)

ロ キャリア形成の基礎の「健康体育Ⅰ」(1単位)、「健康体育Ⅱ」(1単位)、「生涯スポーツⅠ」(1単位)、「生涯スポーツⅡ」(1単位)のいずれかの単位

ハ キャリア形成の基礎の「オーラルコミュニケーションⅠa」(1単位)、「オーラルコミュニケーションⅠb」(1単位)、「オーラルコミュニケーションⅡa」(1単位)または「オーラルコミュニケーションⅡb」(1単位)の中から2単位

ニ 工学の基礎の「基礎情報処理Ⅰ」(1単位)、「基礎情報処理Ⅱ」(1単位)から2単位

ホ 別表第3に定める教科及び教職に関する科目の所定単位

(教育実習の履修)

第20条 教育実習を履修するためには、第9条に定める履修申請のほか、別に定める申請要領に従って許可を得なければならない。

(教育職員免許状出願手続)

第21条 第19条に定める単位を修得した学生は、別に定める期間および出願要領に従ってつぎの各号に掲げる書類に手数料を添えて教務部教務課に提出し、免許状の交付事務を依頼することができる。

イ 教育職員免許状授与申請願

ロ 教育職員免許状授与願・宣誓書・履歴書

第7章 雑則

(その他)

第22条 この規定に定めるもののほか、この規定の実施に関して必要な事項は学部長が定める。

(規定の改廃)

第23条 この規定の改廃は、教授会および大学・大学院運営会議の議を経て、学長がこれを行う。

付 則

- 1 この規定は、昭和24年3月25日から施行する。
- 2 この改正規定は、2009年4月1日から学内規定に編入する。
- 3 この改正規定は、2023年4月1日から施行する。
- 4 2022年度以前の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、学部長が別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 5 都市デザイン工学科の「複合構造学」および「道路工学」の科目名称変更、機械工学科の「エンジニアリングプラクティス」、「機械情報工学演習Ⅰ」、「機械情報工学演習Ⅱ」の科目名変更および新設科目の「機械のAI」の履修、応用化学科の「情報化学」の履修年次変更については、2021年度以前の入学者にも適用する。
- 6 2021年度以前の入学者にかかる履修制限については、なお従前の例による。
- 7 2010年度以前の入学者にかかる履修単位数の上限に含まれない科目については、なお従前の例による。
- 8 2013年度以前の入学者にかかる2・3年次配当の専門科目の履修要件については、なお従前の例による。
- 9「宇宙・地球・生命一探究演習(PBL)」の授業科目名称変更については、2019年度入学者から適用する。

別表第1 授業科目等一覽

1 キャリア形成の基礎

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期で開講する。

注2 人文社会の「日本の文化と社会Ⅰ」および「日本の文化と社会Ⅱ」ならびに外国語の「日本語Ⅰ」および「日本語Ⅱ」は外国人留学生を対象とする。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キ ヤ リ	人 文 社	世界と人間	2	(2)	(2)						
		文章表現基礎	2	(2)	(2)						
		哲学	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							

	キャリア・イングリッシュ I b	1				2				
	キャリア・イングリッシュ II a	1			(前期)(2)(2～4年次)					
	キャリア・イングリッシュ II b	1			(後期)(2)(2～4年次)					
	英語プレゼンテーションa	1					(前期)(2)			
	英語プレゼンテーションb	1					(後期)(2)			
	中国語コミュニケーション	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	中国語と現代中国事情	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	海外語学研修	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	日本語 I	2	4							
	日本語 II	2		4						
体 育	健康体育 I	1	2							
	健康体育 II	1		2						
	生涯スポーツ I	1			(前期)(2)(2～4年次)					
	生涯スポーツ II	1			(後期)(2)(2～4年次)					

2 工学の基礎

イ 都市デザイン工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工 学 の 基 礎	自然 科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							

	解析学Ⅲ演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
	線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
	微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
	物理学a	2	(2)	(2)								
	物理学b	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
	物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
	物理学実験	2	(前期)(4)	(4)(後期)								
	化学	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	地球科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	生物科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)								
	工学	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
マネジメント		ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		技術を活かす経営										
		知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)							
		基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)							
		品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
工学の基礎	淀川学	淀川と人間	1	(前期)(2)	(2)(後期)							
		淀川と環境	1	(前期)(2)	(2)(後期)							
	OIT	デザイン探求演習(PBL)	1	(2)	(2)							
		リソ	宇宙・地球・生命—探究	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		ース	演習(PBL)									

ロ 建築学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目	単位	履修年次
------	----	------

			数	1		2		3		4			
				週時間数									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
工学の基礎	自然科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)								
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)								
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)							
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		物理学a	2	(2)	(2)								
		物理学b	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
		物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)									
		物理学実験	2	(前期)(4)		(4)(後期)							
		化学	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		地球科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
		生物科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)							
	工学マネジメント	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		技術を活かす経営											
		知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)								
		基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)								
		品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							

工学の基礎	淀川学	淀川と人間	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		淀川と環境	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
	OIT	デザイン探求演習(PBL)	1	(2)	(2)						
	リソース	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

ハ 機械工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工学の基礎	自然科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		物理学a	2	(2)	(2)						
		物理学b	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学実験	2	(前期)(4)		(4)(後期)					
		化学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		地球科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		生物科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
	工学	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

マネジメント	ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	技術を活かす経営									
	知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)						
	基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)						
	品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
工学の基礎	淀川	淀川と人間	1	(前期)(2)	(2)(後期)					
	学	淀川と環境	1	(前期)(2)	(2)(後期)					
	OIT	開発プロセス基礎演習	1	(2)	(2)					
	リソ	宇宙・地球・生命—探究演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)				

ニ 電気電子システム工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工 学 の 基 礎	自然 科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		物理学a	2	(2)	(2)						

工学 の 基 礎		物理学b	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
		物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)					
		物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)					
		物理学実験	2	(前期)(4)	(4)(後期)				
		化学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
		地球科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
		生物科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	工学 マ ネ ジ メ ン ト	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
		ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
		技術を活かす経営							
		知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
		基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)				
		基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)				
		品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
		確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
		確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	淀川 学 の 基 礎	淀川と人間	1	(前期)(2)	(2)(後期)				
		淀川と環境	1	(前期)(2)	(2)(後期)				
		OIT 開発プロセス基礎演習	1	(2)	(2)				
		リソ 宇宙・地球・生命—探究 演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)			

ホ 電子情報システム工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工 学 の	自然 科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					

基礎	解析学Ⅱ演習	1	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
		1	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2	(2)	(2)					
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
		2	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
		2	(前期)(4)	(4)(後期)					
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
		2	(前期)(2)	(2)(後期)					
	工学 マネ ジメ ント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		1	(2)	(2)					
		1	(2)	(2)					
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
工学 の 基 礎	淀川 学	1	(前期)(2)	(2)(後期)					
		1	(前期)(2)	(2)(後期)					
	OIT リソ ース	1	(2)	(2)					
		1			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	演習(PBL)								

へ 応用化学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工学 の 基 礎	自然科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		物理学a	2	(2)	(2)						
		物理学b	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学実験	2	(前期)(4)		(4)(後期)					
		化学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		地球科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		生物科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
	工学 マネ ジメ ント	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		技術を活かす経営									
		知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)						
		基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)						
		品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

工 学 の 基 礎		確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
		確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	淀川 学 の 基 礎	淀川と人間	1	(前期)(2)		(2)(後期)				
		淀川と環境	1	(前期)(2)		(2)(後期)				
		OIT リソ (PBL)	1	(2)	(2)					
		宇宙・地球・生命—探究 演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)				

ト 環境工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工 学 の 基 礎	自然 科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		物理学a	2	(2)	(2)						
		物理学b	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		物理学実験	2	(前期)(4)		(4)(後期)					
化学	2	(前期)(2)		(2)(後期)							

工学 の 基 礎		地球科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		生物科学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
	工学 マ ネ ジ メ ン ト	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		技術を活かす経営									
		知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)						
		基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)						
		品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	淀川 学 の 基 礎	淀川と人間	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		淀川と環境	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		OIT リソ (PBL)	1	(2)	(2)						
		宇宙・地球・生命一探究 演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

チ 生命工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目			単位 数	履修年次							
				1		2		3		4	
				週時間数							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
工 学 の 基 礎	自然 科学	解析学Ⅰ	2	(2)	(2)						
		解析学Ⅰ 演習	1	(2)	(2)						
		解析学Ⅱ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅱ 演習	1	(前期)(2)		(2)(後期)					
		解析学Ⅲ	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		解析学Ⅲ 演習	1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
		線形代数学Ⅰ	2	(前期)(2)		(2)(後期)					

	線形代数学Ⅱ	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	微分方程式Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	微分方程式Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	物理学a	2	(2)	(2)				
	物理学b	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	物理学c	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)					
	物理学d	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)					
	物理学実験	2	(前期)(4)	(4)(後期)				
	化学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	地球科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	生物科学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
工学 マネ ジメ ント	工学倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	ものづくりマネジメント	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	技術を活かす経営							
	知的財産法概論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	基礎情報処理Ⅰ	1	(2)	(2)				
	基礎情報処理Ⅱ	1	(2)	(2)				
	品質管理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	確率と統計Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	確率と統計Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
工 学 の 基 礎	淀川	淀川と人間	1	(前期)(2)	(2)(後期)			
	学	淀川と環境	1	(前期)(2)	(2)(後期)			
	OIT	サイエンス探求演習 (PBL)	1	(2)	(2)			
	リソ ース	宇宙・地球・生命—探究 演習(PBL)	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)		

3 専門科目

イ 都市デザイン工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する

4 建築士関連科目の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含まれない。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通 領域	都市デザイン工学入門	2	(2)	(2)						
	都市デザイン工学演習Ⅰ	●2					(4)	(4)		
	都市デザイン工学演習Ⅱ	●2					(4)	(4)		
	プロジェクト演習	●1					(前期)(2)		(2)(後期)	
	測量学	●2	(2)	(2)						
	測量学実習	●2			(4)	(4)				
	応用測量学	2	(前期)(2)		(2)(後期)					
	応用測量学実習	2			(前期)(4)		(4)(後期)			
	基礎製図	2	(2)	(2)						
	CAD／CG演習	■1	(前期または後期)(2)(1～3年次)							
	上下水道システム工学	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	建設行政	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	技術者倫理	●2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	特別講義Ⅰ	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	特別講義Ⅱ	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	建築・都市設計演習	2					(前期)(4)		(4)(後期)	
	防災・減災工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
デザ イ ン・ 計画 領域	景観工学	●2			(前期)(2)		(2)(後期)			
	景観工学演習	■1			(前期)(2)		(2)(後期)			
	空間情報学	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	空間デザイン学	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	計画学a	●2			(前期)(2)		(2)(後期)			
	計画学a演習	■1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

	計画学b	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	社会資本計画学	2					(前期)(2)	(2)(後期)	
	交通計画学	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
	都市・地域計画	2	(前期または後期)(2)(1～3年次)						
構造 領域	構造力学a	●2	(前期)(2)	(2)(後期)					
	構造力学a演習	■1	(前期)(2)	(2)(後期)					
	構造力学b	●2		(2)	(2)				
	構造力学b演習	■1		(2)	(2)				
	構造力学c	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	構造力学c演習	■1		(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	橋梁工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	複合構造・維持管理工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
コン クリ ー ト・ 材料 領域	建設材料学	●2		(2)	(2)				
	鉄筋コンクリート工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	鉄筋コンクリート工学演習	■1				(前期)(2)	(2)(後期)		
	コンクリート構造学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	プレストレストコンクリート工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	応用コンクリート工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
地盤 領域	土質力学a	●2		(2)	(2)				
	土質力学a演習	■1		(2)	(2)				
	土質力学b	●2		(前期)(2)	(2)(後期)				
	土質力学b演習	■1		(前期)(2)	(2)(後期)				
	地盤防災工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	地盤施工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	土構造・道路工学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
河 川・ 海岸 領域	水理学a	●2		(2)	(2)				
	水理学a演習	■1		(2)	(2)				
	水理学b	●2		(前期)(2)	(2)(後期)				
	水理学b演習	■1		(前期)(2)	(2)(後期)				

	河川工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	水系保全学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	海岸工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
建築	建築環境工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
士関	建築法規	2					(前期)(2)	(2)(後期)
連科	建築生産	2					(前期)(2)	(2)(後期)
目	建築設備	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	建築・都市設計製図Ⅰ	2					(前期)(4)	(4)(後期)
	建築・都市設計製図Ⅱ	2					(前期)(4)	(4)(後期)

ロ 建築学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

4 ※印のある授業科目は建築士受験資格に係る指定科目

授業科目		単 位 数	履修年次								建築 士受 験資 格に 係る 指定 科目
			1		2		3		4		
			週時間数								
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基 幹	構造力学Ⅰ	●2	(前期)(4)		(4)(後期)						※
	構造力学Ⅱ	●2	(前期)(4)		(4)(後期)						※
	設計演習Ⅰ	●3			6						※
	設計演習Ⅱ	●3				6					※
	設計演習Ⅲ	●3					6				※
	建築演習Ⅰ	●2						4			
	建築演習Ⅱ	●2							4		
建 築	建築計画Ⅰ	■2			(2)	(2)					※
	建築計画Ⅱ	■2			(2)	(2)					※

設計・計画	建築計画Ⅲ	■2					(前期)(2)	(2)(後期)	※
	建築計画Ⅳ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築計画Ⅴ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	地区設計論	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	地区計画論	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	都市計画論Ⅰ	1					(前期)(1)	(1)(後期)	
	都市計画論Ⅱ	1					(前期)(1)	(1)(後期)	
	ランドスケープ デザイン	1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築史Ⅰ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	建築史Ⅱ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	建築史Ⅲ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築史Ⅳ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	意匠論	1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築法規A	■1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	建築法規B	■1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	CAD／CG演習Ⅰ	2					(4)	(4)	※
	CAD／CG演習Ⅱ A	1					(前期)(2)	(2)(後期)	※
	CAD／CG演習Ⅱ B	1					(前期)(2)	(2)(後期)	※
	CGプレゼンテー ション演習Ⅰ	1					(前期)(2)	(2)(後期)	
	CGプレゼンテー ション演習Ⅱ	1					(前期)(2)	(2)(後期)	
建築環境工	建築環境工学Ⅰ 演習	■2				(前期)(4)	(4)(後期)		※
	建築環境工学Ⅱ 演習	■2				(前期)(4)	(4)(後期)		※
	建築環境工学Ⅲ	■2					(前期)(4)	(4)(後期)	※

学 ・ 設 備	演習								
	建築設備Ⅰ	■2					(前期)(2)	(2)(後期)	※
	建築設備ⅡA	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築設備ⅡB	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
構 造 力 学 ・ 建 築 一 般 構 造	構造力学Ⅲ	■2				(前期)(4)	(4)(後期)		※
	構造力学Ⅳ	■1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	構造力学アドバ ンスⅠ	1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	構造力学アドバ ンスⅡ	2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	建築振動論Ⅰ	1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築振動論Ⅱ	1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	鋼構造Ⅰ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	鋼構造Ⅱ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	鉄筋コンクリー ト構造Ⅰ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	鉄筋コンクリー ト構造Ⅱ	■1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	鉄筋コンクリー ト構造Ⅲ	■1				(前期)(1)	(1)(後期)		※
	建築基礎構造Ⅰ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築基礎構造Ⅱ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	構造計画Ⅰ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	構造計画Ⅱ	1					(前期)(1)	(1)(後期)	
建 築 材 料 ・ 生	建築材料Ⅰ	■2				(前期)(4)	(4)(後期)		※
	建築材料Ⅱ	■2				(前期)(2)	(2)(後期)		※
	建築施工	■2					(前期)(2)	(2)(後期)	※
	建築経済Ⅰ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※
	建築経済Ⅱ	■1					(前期)(1)	(1)(後期)	※

産											
共通	設計基礎演習Ⅰ	■2	4								※
	設計基礎演習Ⅱ	■2		4							※
	建築概論	2	2								※
	建築構法	■2	(前期)(2)		(2)(後期)						※
	木構造	■2	(前期)(2)		(2)(後期)						※
	絵画演習	2	4								
	測量学Ⅰ・同演習	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)						※
	測量学Ⅱ・同演習	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)						※
	建築倫理	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	※
	建築学アドバンスⅠ	1							2		
	建築学アドバンスⅡ	1							2		
	特別講義	1			(前期または後期)(1)(2～4年次)						

ハ 機械工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通	機械基礎ゼミナール	1	1							
	研究推進ゼミナール	1	(2)	(2)						
	機械の数学	2	(2)	(2)						
	研究推進概論	1	(2)	(2)						
	国際設計工学実習	1	(2)	(2)						
	機械工学入門a	2	(2)	(2)						
	機械工学入門b	2	(2)	(2)						
	機械工作実習a	2			(4)	(4)				

	機械工作実習b	●2			(4)	(4)				
	機械工学実験a	●1					(2)	(2)		
	機械工学実験b	●1					(2)	(2)		
	機械のデータサイエンス演習 I	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	機械のデータサイエンス演習 II	1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	計算力学	2					(前期)(2)	(2)(後期)		
	実験計画法	2			(前期)(2)	(2)(後期)				
	先端技術論	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	航空・宇宙工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	自動車工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	機械のAI	2					(前期)(2)	(2)(後期)		
	機械工学演習 I	1			2					
	機械工学演習 II	1			(前期)(2)	(2)(後期)				
	機械工学演習 III	1				2				
	機械工学演習 IV	1			(前期)(2)	(2)(後期)				
	開発プロセス発展演習	4					4	4		
	工学コミュニケーション英語応用	2					(2)	(2)		
設計・製作系	製図学	2	(2)	(2)						
	CAD／CAM概論	2					(2)	(2)		
	設計製図 I	●1			2					
	設計製図 II	●1				2				
	設計演習a	2					4			
	設計演習b	2						4		
	3次元CAD演習	2					(4)	(4)		
	機械製作法 I	2	(2)	(2)						
	機械製作法 II	●2					(2)	(2)		
	機械設計法	●2			(2)	(2)				

	生産システム工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	機械材料	●2			(2)	(2)		
材料	材料力学Ⅰ	●2	(前期)(2)		(2)(後期)			
力	材料力学Ⅱ	●2			2			
学・	材料力学Ⅲ	2					(前期)(2)	(2)(後期)
機械	材料強度学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
力学	機械力学	●2			2			
系	機械力学応用	2				2		
	振動工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
熱・	熱力学	●2			2			
流体	熱工学	●2				2		
系	流れ学	●2			2			
	流体力学	●2				2		
	流体機械	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	内燃機関	2					(前期)(2)	(2)(後期)
計	計測と制御	●2			(前期)(2)	(2)(後期)		
測・	システム制御	2					(前期)(2)	(2)(後期)
制御	基礎電気回路	2					(前期)(2)	(2)(後期)
系	メカトロニクス	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	ロボット工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)

ニ 電気電子システム工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
電気	電気電子システム総論	■2					(2)	(2)		
電子	電磁気学Ⅰ	●2	2							

基礎	電磁気学Ⅱ	●2		2						
	電磁気学Ⅲ	■2			2					
	電磁界理論	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	電気数学	■2	(2)	(2)						
	基礎電気計測	■2			(2)	(2)				
	計算機プログラミング	■2			(2)	(2)				
	技術者倫理	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
実 験・ 演 習・ 設計	電気電子システム実験a	●3			(6)	(6)				
	電気電子システム実験b	●3					(6)	(6)		
	電気電子システム実験c	●3					(6)	(6)		
	電気電子システムPBL	2					(4)	(4)		
	電気設計／CAD製図	2							(4)	(4)
電気 電子 回路	電気回路Ⅰ	●2	2							
	電気回路Ⅱ	●2		2						
	電気回路Ⅲ	■2			2					
	電気回路Ⅳ	■2				2				
	電子回路工学Ⅰ	■2			2					
	電子回路工学Ⅱ	2				2				
	アナログ電子回路	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	ディジタル電子回路	■2			(2)	(2)				
材 料・ 物 性・ デバ イス	電気電子材料	■2			2					
	電子デバイス工学	2			(2)	(2)				
	電子物性論	■2					(2)	(2)		
	LSI工学	2							(2)	(2)
	センサ工学	2							(2)	(2)
	プラズマエレクトロニクス	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	オプトエレクトロニクス	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
エネ ルギ ー・	電力システムⅠ	■2					(2)	(2)		
	電力システムⅡ	2					(前期)(2)		(2)(後期)	
	エネルギー変換工学	2					(前期)(2)		(2)(後期)	

電気 機器	高電圧・パルスパワー工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	電気法規および施設管理	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	電機システムⅠ	■2			(2)	(2)		
	電機システムⅡ	2					(2)	(2)
	パワーエレクトロニクス	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	電気応用	2						(2)(2)
シス テム 科 学・ 通信	情報通信工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	ネットワーク工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	アンテナ・伝送工学	2						(2)(2)
	電波・通信法規	2						(2)(2)
	システム工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	計算機ハードウェア	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	計算機ソフトウェア	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	制御工学Ⅰ	■2					(2)	(2)
	制御工学Ⅱ	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	ロボット工学	2						(2)(2)

ホ 電子情報システム工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹 科目	電子情報システム基礎演習	●1	2							
	電子情報システム実験Ⅰ	●2			4					
	電子情報システム実験Ⅱ	●2				4				
	電子情報システム実験Ⅲ	●2					4			
	エレクトロニクスプラクティス	●2						4		
	電気回路Ⅰ	●2	(2)	(2)						

	電気回路Ⅱ	●2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	電気磁気学Ⅰ	2		(2)	(2)			
	電気磁気学Ⅱ	2		(2)	(2)			
	基礎電子回路Ⅰ	2		(2)	(2)			
	基礎電子回路Ⅱ	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	固体エレクトロニクスⅠ	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	コンピュータ基礎	2	(2)	(2)				
	コンピュータアーキテクチャ	2		(2)	(2)			
	情報通信基礎	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	電気回路Ⅰ演習	1	(2)	(2)				
	電気回路Ⅱ演習	1		(2)	(2)			
	電気磁気学演習	1				(2)	(2)	
	プログラミング・同演習	3				(4)	(4)	
技術	情報社会と倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
人材	情報と職業	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
育	電波・通信法規	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
成・								
資格								
関連								
科目								
エレ	電気計測	2	(2)	(2)				
クト	電気磁気学Ⅲ	2				(2)	(2)	
ロニ	レーザ工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
クス	光エレクトロニクス	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
系科	電気回路Ⅲ	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
目	アナログ電子回路	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	デジタル電子回路	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	電子回路設計	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	固体エレクトロニクスⅡ	2			(前期)(2)	(2)(後期)		

	半導体デバイス基礎	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	半導体デバイス工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	制御工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
情報	コンピュータシステム	2			(前期)(2)		(2)(後期)	
通信	コンピュータグラフィクス	2					(前期)(2)	(2)(後期)
系科	メディア情報開発	2					(前期)(2)	(2)(後期)
目	ネットワーク設計	2					(前期)(4)	(4)(後期)
	ディジタル信号処理	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	伝送理論	2			(前期)(2)		(2)(後期)	
	通信方式Ⅰ	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	通信方式Ⅱ	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	ネットワーク工学	2			(前期)(2)		(2)(後期)	
	電磁波工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	無線通信工学	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	情報理論	2					(前期)(2)	(2)(後期)

へ 応用化学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹 科目	応用化学実験基礎	●2	(4)	(4)						
	応用化学実験A	●2			(4)	(4)				
	応用化学実験B	●2			(4)	(4)				
	応用化学実験C	●2					(4)	(4)		
	基礎化学演習a	●1	(前期)(2)		(2)(後期)					
	基礎化学演習b	●1	(前期)(2)		(2)(後期)					
	基礎化学演習c	●1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	応用化学演習a	●1			(前期または後期)(2)(2～4年次)					

	応用化学演習b	●1			(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	応用化学演習c	●1			(前期)(2)	(2)(後期)			
	化学概論a	●2	(2)	(2)					
	化学概論b	●2	(2)	(2)					
	無機化学Ⅰ	●2	(前期)(2)	(2)(後期)					
	無機化学Ⅱ	●2			(2)	(2)			
	物理化学Ⅰ	●2	(前期)(2)	(2)(後期)					
	物理化学Ⅱ	●2			(2)	(2)			
	有機化学Ⅰ	●2	(前期)(2)	(2)(後期)					
	有機化学Ⅱ	●2			(2)	(2)			
	有機化学Ⅲ	●2			(前期)(2)	(2)(後期)			
	総合	●2				(4)	(4)		
化学系科目	化学工学Ⅰ	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	化学工学Ⅱ	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	化学英語	2			(前期)(2)	(2)(後期)			
	応用化学探求	2				(2)	(2)		
	情報化学	2			(前期)(2)	(2)(後期)			
	量子化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	分子分光学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	電気化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	危険物取扱法	2			(前期)(2)	(2)(後期)			
	化学安全衛生管理	1				(前期)(1)	(1)(後期)		
	国際研究セミナー	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	国際インターンシップ	2				(2)	(2)		
創成材料化学系科目	有機化学Ⅳ	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	有機立体化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	反応有機化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	有機合成化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	無機合成化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)		
	物性化学	2			(前期)(2)	(2)(後期)			

	錯体・有機金属	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	基礎高分子科学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	高分子化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	高分子物性	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	固体化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
環境	分析化学Ⅰ	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
生命	分析化学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
化学	分子構造解析Ⅰ	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
系科	分子構造解析Ⅱ	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
目	環境化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	環境計測	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	資源化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	有機工業化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	生活化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
	生命有機化学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	

ト 環境工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次								
			1		2		3		4		
			週時間数								
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基幹 科目	基礎ゼミナール	1	1								
	環境工学入門	2	(2)	(2)							
	環境量論基礎	●2	(2)	(2)							
	環境基礎化学実験	1	(2)	(2)							
	環境統計解析	2	(2)	(2)							
	環境工学演習Ⅰa	●2			(前期)(4)		(4)(後期)				
	環境工学演習Ⅰb	●2			(前期)(4)		(4)(後期)				
	環境工学演習Ⅱa	●2			(前期)(4)		(4)(後期)				

	環境工学演習Ⅱb	●2			(前期)(4)	(4)(後期)		
	CAD製図・演習	3			(前期)(4)	(4)(後期)		
	実践環境工学	2			(前期)(4)	(4)(後期)		
	研究基礎演習	1					1	
	環境倫理	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)			
	特別講義Ⅰ	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)					
	特別講義Ⅱ	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)					
環境	エネルギー基礎	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
エネ	電気設備工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
ルギ	エネルギー機能材料	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
一分	移動現象論	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
野	エネルギー変換工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	グリーンテクノロジー	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	空気調和制御・演習	3			(前期)(4)	(4)(後期)		
	エネルギー有効利用技術	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
自然	環境化学	■2	(2)	(2)				
環境	森林生態学	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
分野	環境分析	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	大気環境学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	環境バイオテクノロジー	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	水環境学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	自然生態系修復	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	土壌環境学	2				(前期)(2)	(2)(後期)	
資源	反応工学	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
循環	廃棄物工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
分野	上下水システムⅠ	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	上下水システムⅡ	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	水質変換工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	環境土木通論Ⅰ	2	(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	環境土木通論Ⅱ	2				(前期)(2)	(2)(後期)	

	バイオマス利活用技術	2					(前期)(2)	(2)(後期)
	環境施設設計	2					(2)	(2)
	公衆衛生リスク通論	2					(前期)(2)	(2)(後期)
環境	環境システム工学	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
シス	環境計画	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
テム	生産マネジメント	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
分野	地域環境マネジメント	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	環境評価・経済性工学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	数値解析・演習	3			(前期)(2)	(2)(後期)		
	蓄積・循環管理論	2			(前期)(2)	(2)(後期)		

チ 生命工学科

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹 科目	生物実験	●2			(前期)(4)		(4)(後期)			
	化学実験	●2			(前期)(4)		(4)(後期)			
	医工学実験	●2			(前期)(4)		(4)(後期)			
	生命工学PBLⅠ	●2			(前期)(2)		(2)(後期)			
	生命工学PBLⅡ	●2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	生命工学ゼミナール	●2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	生命工学研究ゼミナールⅠ	●2							2	
	生命工学研究ゼミナールⅡ	●2								2
	キャリアデベロップメント	●2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	工学英語	●2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	生命数学演習	●1			(前期)(2)		(2)(後期)			
	生命物理演習	●1			(前期)(2)		(2)(後期)			

	人体生理学Ⅰ	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	人体生理学Ⅱ	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	生化学Ⅰ	■2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	生化学Ⅱ	■2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	電気工学基礎	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	微生物学	■2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	無機化学	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	有機化学Ⅰ	■2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	有機化学Ⅱ	■2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	遺伝子工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	公衆衛生学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	食品衛生学	2			(前期)(2)	(2)(後期)		
	食品化学工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	食品加工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	先端技術論	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	バイオエレクトロニクス	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	バイオメカニクス	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	分析化学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
医工学系	医工学概論	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	高分子工学	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	人工臓器	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	生体システム工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	生体物性工学	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	生命計測工学	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	バイオマテリアル	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	生物化学工学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
生命科学系	生命科学概論	2	(前期)(2)	(2)(後期)				
	医薬概論	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				
	免疫学	2		(前期)(2)	(2)(後期)			
	機能性食品学	2		(前期または後期)(2)(2～4年次)				

	細胞・組織工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)
	生物情報工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)
	生物物理学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)
	タンパク質工学	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)

4 数理科学と教育

イ 都市デザイン工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次								
				1		2		3		4		
				週時間数								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)					
		ベクトル解析	2			(2)	(2)					
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)						
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)						
		複素解析Ⅰ	2			(2)						
		複素解析Ⅱ	2				(2)					
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)					
		地球システムと人間	2			(2)	(2)					
	生 物	環境生物学	2			(2)	(2)					
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
		道徳教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
	数	現代代数学	4			(4)	(4)					

学	数学特論	4			(4)	(4)				
教	現代幾何学	4			(4)	(4)				
育	現代解析学	4			(4)	(4)				

ロ 建築学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次								
				1		2		3		4		
				週時間数								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)					
		ベクトル解析	2			(2)	(2)					
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)						
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)						
		複素解析Ⅰ	2			(2)						
		複素解析Ⅱ	2				(2)					
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)					
		地球システムと人間	2			(2)	(2)					
		環境生物学	2			(2)	(2)					
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
		道徳教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
	数 学 教	現代代数学	4			(4)	(4)					
		数学特論	4			(4)	(4)					
		現代幾何学	4			(4)	(4)					

育	現代解析学	4			(4)	(4)				
---	-------	---	--	--	-----	-----	--	--	--	--

ハ 機械工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目		単位 数	履修年次								
			1		2		3		4		
			週時間数								
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)				
		ベクトル解析	2			(2)	(2)				
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)					
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)					
		複素解析Ⅰ	2			(2)					
		複素解析Ⅱ	2				(2)				
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)				
	地 学	地球システムと人間	2			(2)	(2)				
	生 物	環境生物学	2			(2)	(2)				
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)					
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
		道徳教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	数 学 教 育	現代代数学	4			(4)	(4)				
		数学特論	4			(4)	(4)				
		現代幾何学	4			(4)	(4)				
		現代解析学	4			(4)	(4)				

ニ 電気電子システム工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次								
				1		2		3		4		
				週時間数								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)					
		ベクトル解析	2			(2)	(2)					
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)						
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)						
		複素解析Ⅰ	2			(2)						
		複素解析Ⅱ	2				(2)					
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)					
		地球システムと人間	2			(2)	(2)					
		環境生物学	2			(2)	(2)					
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
		道德教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
	数 学 教 育	現代代数学	4			(4)	(4)					
		数学特論	4			(4)	(4)					
		現代幾何学	4			(4)	(4)					
		現代解析学	4			(4)	(4)					

ホ 電子情報システム工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次								
				1		2		3		4		
				週時間数								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)					
		ベクトル解析	2			(2)	(2)					
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)						
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)						
		複素解析Ⅰ	2			(2)						
		複素解析Ⅱ	2				(2)					
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)					
		地球システムと人間	2			(2)	(2)					
		環境生物学	2			(2)	(2)					
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
		道徳教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
	数 学 教 育	現代代数学	4			(4)	(4)					
		数学特論	4			(4)	(4)					
		現代幾何学	4			(4)	(4)					
		現代解析学	4			(4)	(4)					

へ 応用化学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次			
				1	2	3	4

				週時間数								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数 理 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)					
		ベクトル解析	2			(2)	(2)					
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)						
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)						
		複素解析Ⅰ	2			(2)						
		複素解析Ⅱ	2				(2)					
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)					
		地球システムと人間	2			(2)	(2)					
		環境生物学	2			(2)	(2)					
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)						
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
		道德教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)								
	理 科 教 育	教職物理学	4					(4)	(4)			
		地学Ⅰ	2			2						
		地学Ⅱ	2				2					
		地学実験	2			(4)	(4)					
		生物学Ⅰ	2			2						
		生物学Ⅱ	2				2					
		生物学実験	2			(4)	(4)					

ト 環境工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目	単位	履修年次
------	----	------

			数	1		2		3		4			
				週時間数									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)						
		ベクトル解析	2			(2)	(2)						
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)							
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)							
		複素解析Ⅰ	2			(2)							
		複素解析Ⅱ	2				(2)						
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)						
		地球システムと人間	2			(2)	(2)						
		環境生物学	2			(2)	(2)						
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)									
		道德教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)									
	理 科 教 育	教職物理学	4					(4)	(4)				
		化学実験	2	(前期または後期)(4)(1～4年次)									
		地学Ⅰ	2			2							
		地学Ⅱ	2				2						
		地学実験	2			(4)	(4)						
		生物学Ⅰ	2			2							
		生物学Ⅱ	2				2						
		生物学実験	2			(4)	(4)						

チ 生命工学科

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

注2 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

授業科目			単位 数	履修年次									
				1		2		3		4			
				週時間数									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
数 理 科 学 と 教 育	数 学	級数とフーリエ解析	2			(2)	(2)						
		ベクトル解析	2			(2)	(2)						
		線形代数学Ⅲ	2			(前期)(2)(2～4年次)							
		線形代数学Ⅳ	2			(後期)(2)(2～4年次)							
		複素解析Ⅰ	2			(2)							
		複素解析Ⅱ	2				(2)						
		応用数学Ⅰ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		応用数学Ⅱ	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
	化 学	実践化学	2			(2)	(2)						
		地球システムと人間	2			(2)	(2)						
		環境生物学	2			(2)	(2)						
	人 間	人間発達と人権	2			(前期または後期)(2)(2～4年次)							
		教育原論	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)									
		道徳教育	2	(前期または後期)(2)(1～4年次)									
	理 科 教 育	教職物理学	4					(4)	(4)				
		地学Ⅰ	2			2							
		地学Ⅱ	2				2						
		地学実験	2			(4)	(4)						
		生物学Ⅰ	2			2							
		生物学Ⅱ	2				2						

5 その他連携科目

注1 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

授業科目		単位 数	履修年次							
			1		2		3		4	
			週時間数							
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
その他 連携 科目	キャリアデザイン	1	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	キャリア形成支援	1	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	インターンシップ	2					(2)	(2)		
	グローバルテクノロジー論a	1	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	グローバルテクノロジー論b	1	(前期または後期)(2)(1～4年次)							
	OIT概論	1	1							

別表第2 学科別卒業研究着手条件

専門 科目	都市デザ イン工学 科	イ 2010年度以前入学者については、必修科目および選択必修科目から18単位以上を修得していること ロ 2011年度から2013年度入学者については、 ・必修科目および選択必修科目から22単位以上を修得していること ・専門基礎科目から8単位以上を修得していること ハ 2014年度から2017年度入学者については、 ・必修科目および選択必修科目から22単位以上を修得していること ・工学の基礎から20単位以上を修得していること ニ 2018年度以降入学者については、 ・必修科目から25単位以上修得していること ・工学の基礎から20単位以上を修得していること
	建築学科	イ 2000年度から2005年度入学者については、3年次までに配当の必修科目14単位を修得していること ロ 2006年度から2009年度入学者については、3年次までに配当の必修科目14単位、計画・環境系および構造・生産系に配当の選択必修科目のうち、それぞれの系から12単位以上を修得していること ハ 2010年度から2017年度入学者については、3年次までに配当の必修科目15単位を修得していること。また、次の要件を全て充足していること ・建築設計・計画分野で選択必修科目12単位以上を修得していること

	(ただし、建築法規Ⅰまたは建築法規Ⅱのいずれかを含む) ・建築環境工学・設備分野で建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習の3科目のうち2科目4単位、および建築設備Ⅰまたは建築設備Ⅱのいずれかを修得していること ・構造力学・建築一般構造分野で選択必修科目8単位以上を修得していること ・建築材料・生産分野で選択必修科目4単位以上を修得していること (ただし、建築材料Ⅰ演習または建築材料Ⅱのいずれかを含む、建築経済または建築施工のいずれかを含む) ニ 2018年度から2021年度入学生については、3年次までに配当の必修科目15単位を修得すること。また、次の選択必修科目の要件を全て充足すること ・共通分野で6単位以上を修得していること(ただし、設計基礎演習Ⅰまたは設計基礎演習Ⅱのいずれかを含む) ・建築設計・計画分野で10単位以上を修得していること ・建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習の3科目のうち4単位以上を修得していること ・構造力学・建築一般構造分野で8単位以上を修得していること ・建築材料・生産分野で4単位以上を修得していること(ただし、建築材料Ⅰまたは建築材料Ⅱのいずれかを含む、建築施工または建築経済Ⅰ・Ⅱのうち2単位以上を含む) ・建築計画Ⅳ、建築計画Ⅴ、建築史Ⅲ、建築史Ⅳ、地区設計論、地区計画論、建築設備ⅡA、建築設備ⅡB、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅲ、建築基礎構造Ⅰ、建築基礎構造Ⅱ、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱのうち6単位以上を修得すること ホ 2022年度以降入学生については、3年次までに配当の必修科目15単位を修得すること。また、次の選択必修科目の要件を全て充足すること ・共通分野で6単位以上を修得していること(ただし、設計基礎演習Ⅰまたは設計基礎演習Ⅱのいずれかを含む) ・建築設計・計画分野で10単位以上を修得していること ・建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習の
--	--

		3科目のうち4単位以上を修得していること ・構造力学・建築一般構造分野で7単位以上を修得していること ・建築材料・生産分野で4単位以上を修得していること(ただし、建築材料Ⅰまたは建築材料Ⅱのいずれかを含む、建築施工または建築経済Ⅰ・Ⅱのうち2単位以上を含む) ・建築計画Ⅳ、建築計画Ⅴ、建築史Ⅲ、建築史Ⅳ、地区設計論、地区計画論、建築設備ⅡA、建築設備ⅡB、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅲ、建築基礎構造Ⅰ、建築基礎構造Ⅱ、構造計画Ⅰ、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱのうち6単位以上を修得すること
機械工学科	イ	2006年度から2009年度入学者については、1年次および2年次配当の必修科目8単位を修得していること、かつ、 「発展コース」…共通科目総合理学系科目8単位以上を修得していること、専門基礎科目12単位以上(微積分Ⅰ・同演習または微積分Ⅱ・同演習3単位、線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱ2単位、力学Ⅰまたは力学Ⅱ2単位の計7単位を含む)を修得していること。 機械基礎ゼミナール、確率・統計、機械製作法Ⅱ、機械設計法、機械材料、材料力学演習、材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ、機械力学、振動工学、熱力学、熱工学、流れ学、流体力学、計測工学を修得していること また、エンジニアリングプラクティスⅠ、エンジニアリングプラクティスⅡ、機械工学実験a、機械工学実験b、工学倫理、工学コミュニケーション英語、計6科目のうち4単位以上を修得していること 「実践コース」…機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅲ、機械工学演習Ⅳ、機械製作法Ⅱ、機械設計法、機械材料、材料力学演習、材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ、機械力学、振動工学、熱力学、熱工学、流れ学、流体力学を修得していること また、設計演習a、設計演習b、機械工学実験a、機械工学実験b、3次元CAD演習、計5科目のうち4単位以上を

	修得していること ロ 2010年度から2013年度入学者については、1年次および2年次配当の必修科目26単位を修得していること 「発展コース」 ・専門基礎科目9単位以上(微積分Ⅰ・同演習または微積分Ⅱ・同演習3単位および線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱ2単位および基礎情報処理または基礎情報処理Ⅰ・基礎情報処理Ⅱ2単位および物理実験2単位を含む)を修得していること ・確率・統計、計測工学を修得していること ・エンジニアリングプラクティスⅠ、エンジニアリングプラクティスⅡ、機械工学実験a、機械工学実験b、工学倫理、工学コミュニケーション英語、計6科目のうち4単位以上を修得していること 「実践コース」 ・機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅲ、機械工学演習Ⅳを修得していること ・設計演習a、設計演習b、機械工学実験a、機械工学実験b、3次元CAD演習、計5科目のうち4単位以上を修得していること ハ 2014年度以降入学者については、1年次および2年次配当の必修科目26単位を修得していること 「発展コース」 ・工学の基礎9単位以上(解析学Ⅱまたは解析学Ⅲ2単位および解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習1単位および線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱ2単位および基礎情報処理Ⅰ1単位・基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む)を修得していること ・計測と制御Ⅰとエンジニアリングプラクティスを修得していること ・実験計画法、工学倫理、機械工学実験a、機械工学実験b、工学コミュニケーション英語応用、計5科目のうち4単位以上を修得していること 「実践コース」 ・機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅲを修得していること ・機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅳ、設計演習a、設計演習b、機械工学実験a、機械工学実験b、3次元CAD演習、計7科目のうち5単位以上を修得していること
--	---

	得していること ニ 2018年度以降入学者については、1年次および2年次配当の必修科目 26単位を修得していること 「発展コース」 ・工学の基礎9単位以上(解析学Ⅱまたは解析学Ⅲから2単位、解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習から1単位、線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱから2単位、基礎情報処理Ⅰ1単位、基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む)を修得していること ・計測と制御Ⅰとエンジニアリングプラクティスを修得していること ・実験計画法、工学倫理、機械工学実験a、機械工学実験b、機械製作法Ⅱ、工学コミュニケーション英語応用、計6科目のうちから4単位以上を修得していること 「実践コース」 ・機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅲを修得していること ・機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅳ、設計演習a、設計演習b、機械工学実験a、機械工学実験b、機械製作法Ⅱ、3次元CAD演習、計8科目のうちから5単位以上を修得していること ホ 2022年度以降入学者については、1年次および2年次配当の必修科目 26単位を修得していること 「発展コース」 ・工学の基礎9単位以上(解析学Ⅱまたは解析学Ⅲから2単位、解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習から1単位、線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱから2単位、基礎情報処理Ⅰ1単位、基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む)を修得していること ・計測と制御Ⅰと開発プロセス発展演習を修得していること ・実験計画法、工学倫理、機械工学実験a、機械工学実験b、機械製作法Ⅱ、工学コミュニケーション英語応用、計6科目のうちから4単位以上を修得していること 「実践コース」 ・機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅲを修得していること ・機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅳ、設計演習a、設計演習b、機械工
--	--

		学実験a、機械工学実験b、機械製作法Ⅱ、3次元CAD演習、計8科目のうちから5単位以上を修得していること
電気電子システム工学科	イ	2000年度から2005年度入学者については、1年次配当の必修科目6単位、2年次配当の必修科目のうち電気電子システム実験Ⅰ2単位および電気電子システム実験Ⅱ2単位を修得していること
	ロ	2006年度から2009年度入学者については、1年次配当の必修科目6単位、2年次配当の必修科目のうち電気電子システム実験a3単位を修得していること
	ハ	2010年度以降入学者については、1年次および2年次配当の必修科目11単位を修得していること
電子情報システム工学科	イ	2013年度入学者については、 「基幹コース」 ・全ての基幹科目を修得していること ・微積分Ⅰ・同演習、微積分Ⅱ・同演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、情報社会と倫理を修得していること 「実務コース」 ・電子情報通信実験Ⅰa、電子情報通信実験Ⅰb、電子情報通信実験Ⅱa、電子情報通信実験Ⅱb、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電子情報通信基礎演習、工学デザイン入門のうちから8単位以上を修得していること
	ロ	2014年度から2018年度入学者については、つぎの要件を全て充足していること。 「基幹コース」 ・全ての基幹科目を修得していること ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、情報社会と倫理、エンジニアリング探求演習(PBL)修得していること 「実務コース」 ・電子情報通信実験Ⅰ、電子情報通信実験Ⅱ、電子情報通信実験Ⅲ、エレクトロニクスプラクティス、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電子情報通信基礎演習、エンジニアリング探求演習(PBL)から8単位以上を修得していること

	ハ 2019年度以降入学者については、つぎの要件を全て充足していること。 「基幹コース」 ・全ての基幹科目を修得していること ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、情報社会と倫理、エンジニアリング探究演習(PBL)を修得していること 「実務コース」 ・電子情報システム実験Ⅰ、電子情報システム実験Ⅱ、電子情報システム実験Ⅲ、エレクトロニクスプラクティス、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電子情報システム基礎演習、エンジニアリング探究演習(PBL)から8単位以上を修得していること ニ 2022年度以降入学者については、つぎの要件を全て充足していること。 「基幹コース」 ・全ての基幹科目を修得していること ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、情報社会と倫理、開発プロセス基礎演習を修得していること 「実務コース」 電子情報システム実験Ⅰ、電子情報システム実験Ⅱ、電子情報システム実験Ⅲ、エレクトロニクスプラクティス、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電子情報システム基礎演習、開発プロセス基礎演習から8単位以上を修得していること
環境工学科	イ 2009年度以前入学者については、3年次までに配当の必修科目8単位を修得していること ロ 2010～2013年度入学者については、地域環境マネジメント系および環境ソリューション系のいずれも16単位以上を修得していること ハ 2018年度以降入学者については、環境量論基礎、環境化学、エネルギー基礎、反応工学、環境システム工学のうち6単位以上を修得していること

生命工学科	イ 2014年度以降入学者については、次の要件を全て充足していること。 ・生物実験、化学実験、医工学実験、基礎ゼミナール、生命工学PBLⅠ、医用情報処理、生命数学演習、生命物理演習を修得していること ・選択必修科目から14単位以上を修得していること。 ロ 2018年度以降入学生については、次の要件を全て充足していること。 ・生物実験、化学実験、医工学実験、生命工学PBLⅠ、生命数学演習、生命物理演習を修得していること ・キャリアデザインを修得していること ・選択必修科目から14単位以上を修得していること
-------	---

別表第3(教科及び教職に関する科目)

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 数学

イ 都市デザイン工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
教科に関する専門的事項	代数学	1	線形代数学Ⅰ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅲ	2	2～4	2	
			線形代数学Ⅳ	2	2～4		2
			現代代数学	■4	2	(4)	(4)
	幾何学	1	数学特論	4	2	(4)	(4)
			複素解析Ⅰ	●2	2	2	
			複素解析Ⅱ	2	2		2
			ベクトル解析	2	2	(2)	(2)
			現代幾何学	■4	2	(4)	(4)
	解析学	1	解析学Ⅰ	2	1	(2)	(2)
			解析学Ⅰ演習	1	1	(2)	(2)

			解析学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅱ演習	●1	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅲ	●2	1～3	(2)	(2)
			解析学Ⅲ演習	●1	1～3	(2)	(2)
			級数とフーリエ解析	2	2	(2)	(2)
			応用数学Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			応用数学Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			現代解析学	■4	2	(4)	(4)
	「確率論、統計学」	1	確率と統計Ⅰ	■2	2～4	2	
			確率と統計Ⅱ	■2	2～4		2
	コンピュータ	1	基礎情報処理Ⅰ	●1	1	(2)	(2)
			基礎情報処理Ⅱ	●1	1	(2)	(2)
			CAD／CG演習	1	1～3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種免8 高一種免4	数学科教育法a	●2	2	(2)	(2)	
		数学科教育法b	●2	3	(2)	(2)	
		数学科教育法c	2	3	(2)	(2)	
		数学科教育法d	2	4	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位			最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位				

ロ 建築学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事	代数学	1	線形代数学Ⅰ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)

項			線形代数学Ⅲ	2	2～4	2	
			線形代数学Ⅳ	2	2～4		2
			現代代数学	■4	2	(4)	(4)
	幾何学	1	数学特論	4	2	(4)	(4)
			複素解析Ⅰ	●2	2	2	
			複素解析Ⅱ	2	2		2
			ベクトル解析	2	2	(2)	(2)
			現代幾何学	■4	2	(4)	(4)
	解析学	1	解析学Ⅰ	2	1	(2)	(2)
			解析学Ⅰ演習	1	1	(2)	(2)
			解析学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅱ演習	●1	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅲ	●2	1～3	(2)	(2)
			解析学Ⅲ演習	●1	1～3	(2)	(2)
			級数とフーリエ解 析	2	2	(2)	(2)
			微分方程式Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			現代解析学	■4	2	(4)	(4)
	「確率論、統計学」	1	確率と統計Ⅰ	■2	2～4	2	
			確率と統計Ⅱ	■2	2～4		2
	コンピュータ	1	基礎情報処理Ⅰ	●1	1	(2)	(2)
			基礎情報処理Ⅱ	●1	1	(2)	(2)
			CAD／CG演習Ⅰ	2	3	(4)	(4)
			CAD／CG演習ⅡA	1	3・4	(2)	(2)
			CAD／CG演習ⅡB	1	3・4	(2)	(2)
			CGプレゼンテーシ ョン演習Ⅰ	1	3・4	(2)	(2)
			CGプレゼンテーシ ョン演習Ⅱ	1	3・4	(2)	(2)

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種	数学科教育法a	●2	2	(2)	(2)
	免8	数学科教育法b	●2	3	(2)	(2)
	高一種	数学科教育法c	2	3	(2)	(2)
	免4	数学科教育法d	2	4	(2)	(2)
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位		最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位				

ハ 機械工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	代数学	1	線形代数学Ⅰ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅲ	2	2～4	2	
			線形代数学Ⅳ	2	2～4		2
			現代代数学	■4	2	(4)	(4)
	幾何学	1	数学特論	4	2	(4)	(4)
			複素解析Ⅰ	●2	2	2	
			複素解析Ⅱ	2	2		2
			ベクトル解析	2	2	(2)	(2)
			現代幾何学	■4	2	(4)	(4)
	解析学	1	解析学Ⅰ	2	1	(2)	(2)
			解析学Ⅰ 演習	1	1	(2)	(2)
			解析学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅱ 演習	●1	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅲ	●2	1～3	(2)	(2)
			解析学Ⅲ 演習	●1	1～3	(2)	(2)
			級数とフーリエ解析	2	2	(2)	(2)

			応用数学Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			応用数学Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			現代解析学	4	2	(4)	(4)
	「確率論、統計学」	1	確率と統計Ⅰ	2	2～4	2	
			確率と統計Ⅱ	2	2～4		2
	コンピュータ	1	基礎情報処理Ⅰ	1	1～3	(2)	(2)
			基礎情報処理Ⅱ	1	1～3	(2)	(2)
			CAD／CAM概論	2	3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種免8	数学科教育法a	2	2	(2)	(2)	
		数学科教育法b	2	3	(2)	(2)	
	高一種免4	数学科教育法c	2	3	(2)	(2)	
		数学科教育法d	2	4	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位			最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位				

ニ 電気電子システム工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
教科に関する専門的事項	代数学	1	線形代数学Ⅰ	2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅱ	2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅲ	2	2～4	2	
			線形代数学Ⅳ	2	2～4		2
			現代代数学	4	2	(4)	(4)
	幾何学	1	数学特論	4	2	(4)	(4)
			複素解析Ⅰ	2	2	2	
			複素解析Ⅱ	2	2		2

			ベクトル解析	2	2	(2)	(2)
			現代幾何学	■4	2	(4)	(4)
解析学	1		解析学Ⅰ	2	1	(2)	(2)
			解析学Ⅰ演習	1	1	(2)	(2)
			解析学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅱ演習	●1	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅲ	●2	1～3	(2)	(2)
			解析学Ⅲ演習	●1	1～3	(2)	(2)
			級数とフーリエ解 析	2	2	(2)	(2)
			微分方程式Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			応用数学Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			応用数学Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			電気数学	2	1	(2)	(2)
			現代解析学	■4	2	(4)	(4)
「確率論、統計学」	1		確率と統計Ⅰ	■2	2～4	2	
			確率と統計Ⅱ	■2	2～4		2
コンピュータ	1		基礎情報処理Ⅰ	●1	1	(2)	(2)
			基礎情報処理Ⅱ	●1	1	(2)	(2)
			計算機プログラミング	2	2	(2)	(2)
			計算機ハードウェア	2	3・4	(2)	(2)
			計算機ソフトウェア	2	3・4	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種 免8		数学科教育法a	●2	2	(2)	(2)
			数学科教育法b	●2	3	(2)	(2)
	高一種 免4		数学科教育法c	2	3	(2)	(2)
			数学科教育法d	2	4	(2)	(2)

最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位	最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位
--------------------------------	--------------------------------

ホ 電子情報システム工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	代数学	1	線形代数学Ⅰ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			線形代数学Ⅲ	2	2～4	2	
			線形代数学Ⅳ	2	2～4		2
			現代代数学	■4	2	(4)	(4)
	幾何学	1	数学特論	4	2	(4)	(4)
			複素解析Ⅰ	●2	2	2	
			複素解析Ⅱ	2	2		2
			ベクトル解析	2	2	(2)	(2)
			現代幾何学	■4	2	(4)	(4)
	解析学	1	解析学Ⅰ	2	1	(2)	(2)
			解析学Ⅰ演習	1	1	(2)	(2)
			解析学Ⅱ	●2	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅱ演習	●1	1・2	(2)	(2)
			解析学Ⅲ	●2	1～3	(2)	(2)
			解析学Ⅲ演習	●1	1～3	(2)	(2)
			級数とフーリエ解析	2	2	(2)	(2)
			応用数学Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			応用数学Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)
			微分方程式Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)

			現代解析学	■4	2	(4)	(4)
	「確率論、統計学」	1	確率と統計Ⅰ	■2	2～4	2	
			確率と統計Ⅱ	■2	2～4		2
	コンピュータ	1	基礎情報処理Ⅰ	●1	1～3	(2)	(2)
			基礎情報処理Ⅱ	●1	1～3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中一種免8	数学科教育法a	●2	2	(2)	(2)
			数学科教育法b	●2	3	(2)	(2)
		高一種免4	数学科教育法c	2	3	(2)	(2)
			数学科教育法d	2	4	(2)	(2)
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位			最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位				

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期いずれかで開講する。

4 「確率と統計Ⅰ」または「確率と統計Ⅱ」のいずれか1科目(2単位)ならびに「現代数学」「現代幾何学」「現代解析学」のいずれか1科目(4単位)を修得すること。

5 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、中一種免を取得しようとする者は20単位以上、高一種免を取得する者は28単位以上修得すること。

6 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中一種免を取得する者は8単位、高一種免を取得する者は4単位以上修得すること。

7 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(中一種免28単位、高一種免24単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

(2) 理科

イ 応用化学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および 単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	最低修 得単位 数	授業科目	単位 数	履修 年次	週時間数	
						前期	後期

教科に関する専門的事項	物理学	1	物理学a	2	1	(2)	(2)
			物理学b	2	1・2	(2)	(2)
			教職物理学	●4	3	(4)	(4)
			物理学c	2	1～3	(2)	(2)
			物理学d	2	1～3	(2)	(2)
	化学	1	有機化学Ⅲ	●2	2・3	(2)	(2)
			無機化学Ⅰ	●2	1・2	(2)	(2)
			化学	●2	1・2	(2)	(2)
			実践化学	2	2	(2)	(2)
	生物学	1	生物学Ⅰ	●2	2	2	
			生物学Ⅱ	●2	2		2
			生物科学	2	1・2	(2)	(2)
			環境生物学	2	2	(2)	(2)
	地学	1	地学Ⅰ	●2	2	2	
			地学Ⅱ	●2	2		2
			地球科学	2	1・2	(2)	(2)
			地球システムと人間	2	2	(2)	(2)
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理学実験	2	1・2	(4)	(4)
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	応用化学実験A	●2	2	(4)	(4)
			応用化学実験B	●2	2	(4)	(4)
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	生物学実験	2	2	(4)	(4)
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	地学実験	2	2	(4)	(4)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種 免8 高一種 免4		理科教育法a	●2	2	(2)	(2)
			理科教育法b	●2	3	(2)	(2)
			理科教育法c	2	3	(2)	(2)
			理科教育法d	2	4	(2)	(2)

最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位	最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位
--------------------------------	--------------------------------

ロ 環境工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
教科に関する専門的事項	物理学	1	物理学a	2	1	(2)	(2)
			物理学b	2	1・2	(2)	(2)
			教職物理学	●4	3	(4)	(4)
			物理学c	2	1～3	(2)	(2)
			物理学d	2	1～3	(2)	(2)
	化学	1	環境分析	2	2・3	(2)	(2)
			環境化学	2	1	(2)	(2)
			化学	●2	1・2	(2)	(2)
			実践化学	2	2	(2)	(2)
	生物学	1	自然生態系修復	2	2・3	(2)	(2)
			森林生態学	2	1・2	(2)	(2)
			生物学Ⅰ	●2	2	2	
			生物学Ⅱ	●2	2		2
			生物科学	2	1・2	(2)	(2)
			環境生物学	2	2	(2)	(2)
	地学	1	地学Ⅰ	●2	2	2	
			地学Ⅱ	●2	2		2
			地球科学	2	1・2	(2)	(2)
			地球システムと人間	2	2	(2)	(2)
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理学実験	2	1・2	(4)	(4)

	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	化学実験	●2	1～4	(4)	(4)
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	生物学実験	2	2	(4)	(4)
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	地学実験	2	2	(4)	(4)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種免8 高一種免4	理科教育法a	●2	2	(2)	(2)	
		理科教育法b	●2	3	(2)	(2)	
		理科教育法c	2	3	(2)	(2)	
		理科教育法d	2	4	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位		最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位					

ハ 生命工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	物理学	1	生物物理学	2	2～4	(2)	(2)
			物理学a	2	1	(2)	(2)
			物理学b	2	1・2	(2)	(2)
			教職物理学	●4	3	(4)	(4)
			物理学c	2	1～3	(2)	(2)
			物理学d	2	1～3	(2)	(2)
			生命物理演習	1	2・3	(2)	(2)
	化学	1	無機化学	●2	1～2	(2)	(2)
			有機化学Ⅰ	●2	1～2	(2)	(2)
			有機化学Ⅱ	2	2・3	(2)	(2)
			分析化学	2	2～4	(2)	(2)
			化学	2	1・2	(2)	(2)

			実践化学	2	2	(2)	(2)
	生物学	1	人体生理学Ⅰ	2	1・2	(2)	(2)
			人体生理学Ⅱ	2	1・2	(2)	(2)
			生物学Ⅰ	●2	2	2	
			生物学Ⅱ	●2	2		2
			生物科学	2	1・2	(2)	(2)
			環境生物学	2	2	(2)	(2)
	地学	1	地学Ⅰ	●2	2	2	
			地学Ⅱ	●2	2		2
			地球科学	2	1・2	(2)	(2)
			地球システムと人間	2	2	(2)	(2)
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理学実験	2	1・2	(4)	(4)
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	化学実験	●2	2・3	(4)	(4)
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	生物実験	●2	2・3	(4)	(4)
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	地学実験	2	2	(4)	(4)
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中一種免8	理科教育法a	●2	2	(2)	(2)
理科教育法b			●2	3	(2)	(2)	
高一種免4		理科教育法c	2	3	(2)	(2)	
		理科教育法d	2	4	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免24単位			最低修得単位数合計 中一種免28単位 高一種免32単位				

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

3 中一種免を取得する者は、「物理学実験」、「地学実験」の単位を必ず修得すること。また、応用化学科ならびに環境工学科において、中一種免を取得する者は、

「生物学実験」の単位を必ず修得すること。

- 4 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、中一種免を取得する者は20単位以上、高一種免を取得する者は28単位以上修得すること。
- 5 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中一種免を取得する者は8単位、高一種免を取得する者は4単位以上修得すること。
- 6 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(中一種免28単位、高一種免24単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

(3) 技術

機械工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	木材加工(製図及び実習を含む。)	1	木材加工	2	2～4	(2)	(2)
			木構造	2	1～2	(2)	(2)
	金属加工(製図及び実習を含む。)	1	製図学	2	1	(2)	(2)
			機械工作実習a	2	2	(4)	(4)
			機械工作実習b	2	2	(4)	(4)
			設計製図I	1	2	2	
			設計製図II	1	2		2
			設計演習a	2	3	4	
			設計演習b	2	3		4
			3次元CAD演習	2	3	(4)	(4)
			機械製作法I	2	1	(2)	(2)
			機械製作法II	2	3	(2)	(2)
			機械材料	2	2	(2)	(2)
			材料力学I	2	1～2	(2)	(2)

		材料力学II	2	2	2	
		材料強度学	2	2～3	(2)	(2)
機械(実習を含む。)	1	機械工学実験b	●1	3	(2)	(2)
		機械設計法	2	2	(2)	(2)
		熱力学	2	2	2	
		熱工学	2	2		2
		流れ学	2	2	2	
		流体力学	2	2		2
		流体機械	2	3～4	(2)	(2)
		内燃機関	2	3～4	(2)	(2)
		機械力学	2	2	2	
		機械力学応用	2	2		2
		振動工学	2	2～3	(2)	(2)
		自動車工学	2	2～4	(2)	(2)
		開発プロセス発展 演習	4	3	4	4
電気(実習を含む。)	1	機械工学実験a	1	3	(2)	(2)
		基礎電気回路	2	3～4	(2)	(2)
		メカトロニクス	2	3～4	(2)	(2)
		ロボット工学	2	3～4	(2)	(2)
栽培(実習を含む。)	1	栽培	●2	2	2	
情報とコンピュータ (実習を含む。)	1	機械のデータサイ エンス演習I	●1	2～4	(2)	(2)
		機械のデータサイ エンス演習II	1	2～4	(2)	(2)
		機械のAI	2	3～4	(2)	(2)
		計測と制御	2	2～3	(2)	(2)
		システム制御	2	3～4	(2)	(2)
		計算力学	2	3～4	(2)	(2)
		実験計画法	2	2～3	(2)	(2)

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	技術科教育法a	●2	2	(2)	(2)
		技術科教育法b	●2	3	(2)	(2)
		技術科教育法c	●2	3	(2)	(2)
		技術科教育法d	●2	4	(2)	(2)
最低修得単位数合計 28単位		最低修得単位数合計 28単位				

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- 3 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、中一種免を取得する者は20単位以上修得すること。
- 4 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(28単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

(4) 工業

イ 都市デザイン工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			都市デザイン工学入門	2	1	(2)	(2)
			都市デザイン工学演習Ⅰ	2	3	(4)	(4)
			都市デザイン工学演習Ⅱ	2	3	(4)	(4)
			プロジェクト演習	1	3～4	(2)	(2)
			測量学	2	1	(2)	(2)
			測量学実習	2	2	(2)	(2)

		応用測量学	2	1～2	(2)	(2)
		応用測量学実習	2	2～3	(4)	(4)
		基礎製図	2	1	(2)	(2)
		上下水道システム 工学	2	3～4	(2)	(2)
		建設行政	2	1～4	(2)	(2)
		技術者倫理	2	3～4	(2)	(2)
		特別講義Ⅰ	2	1～4	(2)	(2)
		特別講義Ⅱ	2	1～4	(2)	(2)
		建築・都市設計演習	2	3～4	(4)	(4)
		防災・減災工学	2	2～4	(2)	(2)
		景観工学	2	2～3	(2)	(2)
		景観工学演習	1	2～3	(2)	(2)
		空間情報学	2	3～4	(2)	(2)
		空間デザイン学	2	3～4	(2)	(2)
		計画学a	2	2～3	(2)	(2)
		計画学a演習	1	2～4	(2)	(2)
		計画学b	2	2～4	(2)	(2)
		社会資本計画学	2	3～4	(2)	(2)
		交通計画学	2	1～3	(2)	(2)
		都市・地域計画	2	1～3	(2)	(2)
		構造力学a	2	1～2	(2)	(2)
		構造力学a演習	1	1～2	(2)	(2)
		構造力学b	2	2	(2)	(2)
		構造力学b演習	1	2	(2)	(2)
		構造力学c	2	2～4	(2)	(2)
		構造力学c演習	1	2～4	(2)	(2)
		橋梁工学	2	2～4	(2)	(2)
		複合構造・維持管理 工学	2	3～4	(2)	(2)

		建設材料学	2	2	(2)	(2)
		鉄筋コンクリート工学	2	3～4	(2)	(2)
		鉄筋コンクリート工学演習	1	3～4	(2)	(2)
		コンクリート構造学	2	3～4	(2)	(2)
		プレストレストコンクリート工学	2	3～4	(2)	(2)
		応用コンクリート工学	2	3～4	(2)	(2)
		土質力学a	2	2	(2)	(2)
		土質力学a演習	1	2	(2)	(2)
		土質力学b	2	2～3	(2)	(2)
		土質力学b演習	1	2～3	(2)	(2)
		地盤防災工学	2	3～4	(2)	(2)
		地盤施工学	2	3～4	(2)	(2)
		土構造・道路工学	2	3～4	(2)	(2)
		水理学a	2	2	(2)	(2)
		水理学a演習	1	2	(2)	(2)
		水理学b	2	2～3	(2)	(2)
		水理学b演習	1	2～3	(2)	(2)
		河川工学	2	3～4	(2)	(2)
		水系保全学	2	3～4	(2)	(2)
		海岸工学	2	3～4	(2)	(2)
		建築環境工学	2	3～4	(2)	(2)
		建築法規	2	3～4	(2)	(2)
		建築生産	2	3～4	(2)	(2)
		建築設備	2	3～4	(2)	(2)
		建築・都市設計製図	2	3～4	(4)	(4)

			I				
			建築・都市設計製図	2	3～4	(4)	(4)
			II				
			職業指導	1			
		1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)
			各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4			
			工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)
		4	工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)
			最低修得単位数合計 24単位	最低修得単位数合計 32単位			

ロ 建築学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			構造力学Ⅰ	2	1～2	(4)	(4)
			構造力学Ⅱ	2	1～2	(4)	(4)
			設計演習Ⅰ	3	2	6	
			設計演習Ⅱ	3	2		6
			設計演習Ⅲ	3	3	6	
			建築演習Ⅰ	2	3		4
			建築演習Ⅱ	2	4	4	
			建築計画Ⅰ	2	2	(2)	(2)
			建築計画Ⅱ	2	2	(2)	(2)
			建築計画Ⅲ	2	3～4	(2)	(2)
			建築計画Ⅳ	1	3～4	(1)	(1)
			建築計画Ⅴ	1	3～4	(1)	(1)
			地区設計論	1	3～4	(1)	(1)
			地区計画論	1	3～4	(1)	(1)
			都市計画論Ⅰ	1	3～4	(1)	(1)

		都市計画論Ⅱ	1	3～4	(1)	(1)
		ランドスケープデザイン	1	3～4	(1)	(1)
		建築史Ⅰ	2	2～3	(2)	(2)
		建築史Ⅱ	2	2～3	(2)	(2)
		建築史Ⅲ	1	3～4	(1)	(1)
		建築史Ⅳ	1	3～4	(1)	(1)
		意匠論	1	3～4	(1)	(1)
		建築法規A	1	2～3	(1)	(1)
		建築法規B	1	2～3	(1)	(1)
		建築環境工学Ⅰ 演習	2	2～3	(4)	(4)
		建築環境工学Ⅱ 演習	2	2～3	(4)	(4)
		建築環境工学Ⅲ 演習	2	3～4	(4)	(4)
		建築設備Ⅰ	2	3～4	(2)	(2)
		建築設備ⅡA	1	3～4	(1)	(1)
		建築設備ⅡB	1	3～4	(1)	(1)
		構造力学Ⅲ	2	2～3	(4)	(4)
		構造力学Ⅳ	1	2～3	(1)	(1)
		構造力学アドバンスⅠ	1	2～3	(1)	(1)
		構造力学アドバンスⅡ	2	2～3	(2)	(2)
		建築振動論Ⅰ	1	3～4	(1)	(1)
		建築振動論Ⅱ	1	3～4	(1)	(1)
		鋼構造Ⅰ	2	2～3	(2)	(2)
		鋼構造Ⅱ	2	2～3	(2)	(2)
		鉄筋コンクリート	2	2～3	(2)	(2)

			構造Ⅰ				
			鉄筋コンクリート	1	2～3	(1)	(1)
			構造Ⅱ				
			鉄筋コンクリート	1	2～3	(1)	(1)
			構造Ⅲ				
			建築基礎構造Ⅰ	1	3～4	(1)	(1)
			建築基礎構造Ⅱ	1	3～4	(1)	(1)
			構造計画Ⅰ	1	3～4	(1)	(1)
			構造計画Ⅱ	1	3～4	(1)	(1)
			建築材料Ⅰ	2	2～3	(4)	(4)
			建築材料Ⅱ	2	2～3	(2)	(2)
			建築施工	2	3～4	(2)	(2)
			建築経済Ⅰ	1	3～4	(1)	(1)
			建築経済Ⅱ	1	3～4	(1)	(1)
			設計基礎演習Ⅰ	2	1	4	
			設計基礎演習Ⅱ	2	1		4
			建築概論	2	1	2	
			建築構法	2	1～2	(2)	(2)
			木構造	2	1～2	(2)	(2)
			絵画演習	2	1	4	
			測量学Ⅰ・同演習	1	2～4	(2)	(2)
			測量学Ⅱ・同演習	1	2～4	(2)	(2)
			建築倫理	1	2～4	(1)	(1)
			建築学アドバンスⅠ	1	4	2	
			建築学アドバンスⅡ	1	4	2	
	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活		4	工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)

用を含む。)		工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)
最低修得単位数合計 24単位		最低修得単位数合計 32単位				

ハ 機械工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			研究推進ゼミナール	1	1	(2)	(2)
			機械の数学	2	1	(2)	(2)
			研究推進概論	1	1	(2)	(2)
			国際設計工学実習	1	1	(2)	(2)
			機械工学入門a	2	1	(2)	(2)
			機械工学入門b	2	1	(2)	(2)
			機械工作実習a	2	2	(4)	(4)
			機械工作実習b	2	2	(4)	(4)
			機械工学実験a	1	3	(2)	(2)
			機械工学実験b	1	3	(2)	(2)
			機械のデータサイエンス演習Ⅰ	1	2～4	(2)	(2)
			機械のデータサイエンス演習Ⅱ	1	2～4	(2)	(2)
			計算力学	2	3～4	(2)	(2)
			実験計画法	2	2～3	(2)	(2)
			先端技術論	2	2～4	(2)	(2)
			航空・宇宙工学	2	2～4	(2)	(2)
			自動車工学	2	2～4	(2)	(2)
			機械のAI	2	3～4	(2)	(2)

		機械工学演習Ⅰ	1	2	2	
		機械工学演習Ⅱ	1	2～3	(2)	(2)
		機械工学演習Ⅲ	1	2		2
		機械工学演習Ⅳ	1	2～3	(2)	(2)
		開発プロセス発展 演習	4	3	4	4
		工学コミュニケー ション英語応用	2	3	(2)	(2)
		製図学	2	1	(2)	(2)
		設計製図Ⅰ	1	2	2	
		設計製図Ⅱ	1	2		2
		設計演習a	2	3	4	
		設計演習b	2	3		4
		3次元CAD演習	2	3	(4)	(4)
		機械製作法Ⅰ	2	1	(2)	(2)
		機械製作法Ⅱ	2	3	(2)	(2)
		機械設計法	2	2	(2)	(2)
		生産システム工学	2	3～4	(2)	(2)
		機械材料	2	2	(2)	(2)
		材料力学Ⅰ	2	1～2	(2)	(2)
		材料力学Ⅱ	2	2	2	
		材料力学Ⅲ	2	3～4	(2)	(2)
		材料強度学	2	2～3	(2)	(2)
		機械力学	2	2	2	
		機械力学応用	2	2		2
		振動工学	2	2～3	(2)	(2)
		熱力学	2	2	2	
		熱工学	2	2		2
		流れ学	2	2	2	
		流体力学	2	2		2

			流体機械	2	3～4	(2)	(2)
			内燃機関	2	3～4	(2)	(2)
			計測と制御	2	2～3	(2)	(2)
			システム制御	2	3～4	(2)	(2)
			基礎電気回路	2	3～4	(2)	(2)
			メカトロニクス	2	3～4	(2)	(2)
			ロボット工学	2	3～4	(2)	(2)
			工学倫理	2	2～4	(2)	(2)
	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)
			工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位				

ニ 電気電子システム工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			電気電子システム総論	2	3	(2)	(2)
			電磁気学Ⅰ	2	1	2	
			電磁気学Ⅱ	2	1		2
			電磁気学Ⅲ	2	2	2	
			電磁界理論	2	3～4	(2)	(2)
			基礎電気計測	2	2	(2)	(2)
			技術者倫理	2	3～4	(2)	(2)
			電気電子システム実験a	3	2	(6)	(6)

		電気電子システム 実験b	3	3	(6)	(6)
		電気電子システム 実験c	3	3	(6)	(6)
		電機設計／CAD製 図	2	4	(4)	(4)
		電気回路Ⅰ	2	1	2	
		電気回路Ⅱ	2	1		2
		電気回路Ⅲ	2	2	2	
		電気回路Ⅳ	2	2		2
		電子回路工学Ⅰ	2	2	2	
		電子回路工学Ⅱ	2	2		2
		アナログ電子回路	2	3～4	(2)	(2)
		デジタル電子回 路	2	2	(2)	(2)
		電気電子材料	2	2	2	
		電子デバイス工学	2	2	(2)	(2)
		電子物性論	2	3	(2)	(2)
		LSI工学	2	4	(2)	(2)
		センサ工学	2	4	(2)	(2)
		プラズマエレクト ロニクス	2	3～4	(2)	(2)
		オプトエレクトロ ニクス	2	3～4	(2)	(2)
		電力システムⅠ	2	3	(2)	(2)
		電力システムⅡ	2	3～4	(2)	(2)
		エネルギー変換工 学	2	3～4	(2)	(2)
		高電圧・パルスパワ ー工学	2	3～4	(2)	(2)

			電気法規および施設管理	2	3～4	(2)	(2)	
			電機システムⅠ	2	2	(2)	(2)	
			電機システムⅡ	2	3	(2)	(2)	
			パワーエレクトロニクス	2	3～4	(2)	(2)	
			電気応用	2	4	(2)	(2)	
			情報通信工学	2	3～4	(2)	(2)	
			ネットワーク工学	2	3～4	(2)	(2)	
			アンテナ・伝送工学	2	4	(2)	(2)	
			電波・通信法規	2	4	(2)	(2)	
			システム工学	2	3～4	(2)	(2)	
			制御工学Ⅰ	2	3	(2)	(2)	
			制御工学Ⅱ	2	3～4	(2)	(2)	
			ロボット工学	2	4	(2)	(2)	
	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)	
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			4	工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)
				工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位					

ホ 電子情報システム工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			電子情報システム基礎演習	1	1	2	
			電子情報システム	2	2	4	

		実験Ⅰ				
		電子情報システム	2	2		4
		実験Ⅱ				
		電子情報システム	2	3	4	
		実験Ⅲ				
		電気回路Ⅰ	2	1	(2)	(2)
		電気回路Ⅱ	2	1～2	(2)	(2)
		電気磁気学Ⅰ	2	2	(2)	(2)
		電気磁気学Ⅱ	2	2	(2)	(2)
		基礎電子回路Ⅰ	2	2	(2)	(2)
		基礎電子回路Ⅱ	2	2～3	(2)	(2)
		固体エレクトロニクスⅠ	2	2～3	(2)	(2)
		電気回路Ⅰ演習	1	1	(2)	(2)
		電気回路Ⅱ演習	1	2	(2)	(2)
		電気磁気学演習	1	3	(2)	(2)
		電波・通信法規	2	3～4	(2)	(2)
		電気計測	2	1	(2)	(2)
		電気磁気学Ⅲ	2	3	(2)	(2)
		レーザ工学	2	2～3	(2)	(2)
		光エレクトロニクス	2	3～4	(2)	(2)
		電気回路Ⅲ	2	2～3	(2)	(2)
		アナログ電子回路	2	3～4	(2)	(2)
		固体エレクトロニクスⅡ	2	2～3	(2)	(2)
		半導体デバイス基礎	2	3～4	(2)	(2)
		半導体デバイス工学	2	3～4	(2)	(2)

			制御工学	2	3～4	(2)	(2)
			伝送理論	2	2～3	(2)	(2)
			通信方式Ⅰ	2	3～4	(2)	(2)
			通信方式Ⅱ	2	3～4	(2)	(2)
			電磁波工学	2	3～4	(2)	(2)
			無線通信工学	2	3～4	(2)	(2)
	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法a	●2	3	(2)
工業科教育法b				●2	3	(2)	(2)
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位				

へ 応用化学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			応用化学実験基礎	2	1	(4)	(4)
			応用化学実験C	2	3	(4)	(4)
			応用化学演習a	1	2～4	(2)	(2)
			応用化学演習b	1	2～4	(2)	(2)
			応用化学演習c	1	2～3	(2)	(2)
			化学概論a	2	1	(2)	(2)
			化学概論b	2	1	(2)	(2)
			応用化学実験D	2	3	(4)	(4)
			化学工学Ⅰ	2	3～4	(2)	(2)
			化学工学Ⅱ	2	3～4	(2)	(2)
			化学英語	2	2～3	(2)	(2)
			情報化学	2	2～3	(2)	(2)

		量子化学	2	3～4	(2)	(2)		
		分子分光学	2	3～4	(2)	(2)		
		電気化学	2	3～4	(2)	(2)		
		危険物取扱法	2	2～3	(2)	(2)		
		化学安全衛生管理	1	3～4	(1)	(1)		
		反応有機化学	2	3～4	(2)	(2)		
		有機合成化学	2	3～4	(2)	(2)		
		無機合成化学	2	3～4	(2)	(2)		
		物性化学	2	2～3	(2)	(2)		
		錯体・有機金属	2	2～3	(2)	(2)		
		基礎高分子科学	2	2～3	(2)	(2)		
		高分子化学	2	3～4	(2)	(2)		
		高分子物性	2	3～4	(2)	(2)		
		固体化学	2	3～4	(2)	(2)		
		分析化学Ⅰ	2	1～2	(2)	(2)		
		分析化学Ⅱ	2	2～4	(2)	(2)		
		分子構造解析Ⅰ	2	3～4	(2)	(2)		
		分子構造解析Ⅱ	2	3～4	(2)	(2)		
		環境化学	2	3～4	(2)	(2)		
		環境計測	2	3～4	(2)	(2)		
		資源化学	2	3～4	(2)	(2)		
		有機工業化学	2	3～4	(2)	(2)		
		生活化学	2	3～4	(2)	(2)		
		生命有機化学	2	3～4	(2)	(2)		
		工学倫理	2	2～4	(2)	(2)		
		職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
				職業指導B	●2	3	(2)	(2)
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)
				工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)
		最低修得単位数合計 24単位		最低修得単位数合計 32単位				

ト 環境工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および 単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	最低修 得単位 数	授業科目	単位 数	履修 年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			環境工学入門	2	1	(2)	(2)
			環境量論基礎	2	1	(2)	(2)
			環境基礎化学実験	1	1	(2)	(2)
			環境統計解析	2	1	(2)	(2)
			環境工学演習Ⅰa	2	2～3	(4)	(4)
			環境工学演習Ⅱa	2	2～3	(4)	(4)
			環境工学演習Ⅱb	2	2～3	(4)	(4)
			CAD製図・演習	3	2～3	(4)	(4)
			実践環境工学	2	2～3	(4)	(4)
			環境倫理	2	2～4	(2)	(2)
			エネルギー基礎	2	1～2	(2)	(2)
			電気設備工事	2	2～3	(2)	(2)
			エネルギー機能材料	2	2～3	(2)	(2)
			移動現象論	2	2～3	(2)	(2)
			エネルギー変換工学	2	2～3	(2)	(2)
			グリーンテクノロジー	2	2～3	(2)	(2)
			空気調和制御・演習	3	2～3	(4)	(4)
			エネルギー有効利用技術	2	3～4	(2)	(2)
			大気環境学	2	2～3	(2)	(2)

		環境バイオテクノロジー	2	2～3	(2)	(2)	
		水環境学	2	2～3	(2)	(2)	
		土壌環境学	2	3～4	(2)	(2)	
		反応工学	2	1～2	(2)	(2)	
		廃棄物工学	2	2～3	(2)	(2)	
		上下水システムⅠ	2	2～3	(2)	(2)	
		上下水システムⅡ	2	2～3	(2)	(2)	
		水質変換工学	2	2～3	(2)	(2)	
		環境土木通論Ⅰ	2	2～4	(2)	(2)	
		環境土木通論Ⅱ	2	3～4	(2)	(2)	
		バイオマス利活用技術	2	3～4	(2)	(2)	
		環境施設設計	2	3	(2)	(2)	
		公衆衛生リスク通論	2	3～4	(2)	(2)	
		環境システム工学	2	1～2	(2)	(2)	
		環境計画	2	2～3	(2)	(2)	
		生産マネジメント	2	2～3	(2)	(2)	
		地域環境マネジメント	2	2～3	(2)	(2)	
		環境評価・経済性工学	2	3～4	(2)	(2)	
		数値解析・演習	3	3～4	(2)	(2)	
		蓄積・循環管理論	2	3～4	(2)	(2)	
	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(2)	(2)
			職業指導B	●2	3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	工業科教育法a	●2	3	(2)	(2)	
		工業科教育法b	●2	3	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位				

チ 生命工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および 単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	最低修 得単位 数	授業科目	単位数	履修 年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(2)	(2)
			医工学実験	2	2～3	(4)	(4)
			生命工学 PBL I	2	2～3	(2)	(2)
			生命工学 PBL II	2	2～4	(2)	(2)
			生命工学ゼ ミナール	2	2～4	(2)	(2)
			生命工学研 究ゼミナー ル I	2	4	(2)	
			生命工学研 究ゼミナー ル II	2	4		(2)
			工学英語	2	2～4	(2)	(2)
			電気工学基 礎	2	1～2	(2)	(2)
			微生物学	2	2～3	(2)	(2)
			公衆衛生学	2	2～4	(2)	(2)
			食品衛生学	2	3～4	(2)	(2)
			食品化学工 学	2	2～4	(2)	(2)
			食品加工学	2	2～4	(2)	(2)
			先端技術論	2	2～4	(2)	(2)

			バイオエレクトロニクス	2	2～3	(2)	(2)
			バイオメカニクス	2	2～4	(2)	(2)
			医工学概論	2	1～2	(2)	(2)
			高分子工学	2	2～3	(2)	(2)
			人工臓器	2	2～4	(2)	(2)
			生体システム工学	2	2～4	(2)	(2)
			生体物性工学	2	2～3	(2)	(2)
			生命計測工学	2	2～3	(2)	(2)
			バイオマテリアル	2	2～3	(2)	(2)
			生物化学工学	2	2～4	(2)	(2)
			生命科学概論	2	1～2	(2)	(2)
			免疫学	2	2～3	(2)	(2)
			機能性食品学	2	2～4	(2)	(2)
			細胞・組織工学	2	2～4	(2)	(2)
			タンパク質工学	2	2～4	(2)	(2)
			工学倫理	2	2～4	(2)	(2)
	職業指導	1	職業指導A	●2	全学科	3	(2)(2)

			職業指導B	●2	全学 科	3	(2)	(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	工業科教育 法a	●2	全学 科	3	(2)	(2)	
		工業科教育 法b	●2	全学 科	3	(2)	(2)	
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位					

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

3 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、高一種免を取得する者は28単位以上修得すること。

4 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

(5) 情報

電子情報システム工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	最低修 得単位 数	授業科目	単位 数	履修 年次	週時間数	
						前期	後期
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1	情報社会と倫理	●2	2～4	(2)	(2)
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	1	コンピュータ基礎	●2	1	(2)	(2)
			ディジタル信号処理	●2	3～4	(2)	(2)
			ディジタル電子回路	2	3～4	(2)	(2)
			コンピュータアーキテクチャ	●2	2	(2)	(2)
			情報理論	2	3～4	(2)	(2)

	情報システム (実習を含む。)	1	プログラミング・同演習	3	3	(4)	(4)
			コンピュータシステム	●2	2・3	(2)	(2)
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1	エレクトロニクスプラクティス	●2	3		4
			情報通信基礎	●2	2～3	(2)	(2)
			ネットワーク工学	●2	2～3	(2)	(2)
			ネットワーク設計	2	3～4	(4)	(4)
	マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	1	コンピュータグラフィクス	●2	3～4	(2)	(2)
			電子回路設計	2	3～4	(2)	(2)
			メディア情報開発	●2	3～4	(2)	(2)
	情報と職業	1	情報と職業	●2	3～4	(2)	(2)
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	情報科教育法a	●2	3	(2)	(2)
			情報科教育法b	●2	3	(2)	(2)
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位				

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

3 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、高一種免を取得する者は28単位以上修得すること。

4 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目および 単位数				左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めること が必要な事項	最低修得単 位数		授業科目	単位 数	履修 年次	週時間数	
		中一	高一				前期	後期

		種	種					
教育の基礎 的理解に関 する科目	教育の理念並びに教 育に関する歴史及び 思想	10	10	教育原論	●2	2	(2)	(2)
	教職の意義及び教員 の役割・職務内容(チ ーム学校運営への対 応を含む。)			教職入門	●2	1	(2)	(2)
	教育に関する社会 的、制度的又は経営 的事項(学校と地域 との連携及び学校安 全への対応を含む。)			教育行政0	●2	3	(2)	(2)
	幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学 習の過程			教育心理学	●2	1	(2)	(2)
	特別の支援を必要と する幼児、児童及び 生徒に対する理解			特別支援教育	●2	2・3	(2)	(2)
	教育課程の意義及び 編成の方法(カリキ ュラム・マネジメン トを含む。)			教育課程論	●2	2	(2)	(2)
道徳、総合 的な学習の 時間等の指 導法及び生 徒指導、教 育相談等に 関する科目	道徳の理論及び指導 法	10	8	道徳教育	2	2	(2)	(2)
	総合的な学習の時間 の指導法			特別活動・総合的な 学習の時間の指導 法	●2	2・3	(2)	(2)
	特別活動の指導法							
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用 した教育の理論及び			教育方法論 (ICT活 用含む)	●2	2	(2)	(2)

	方法						
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導と進路指導	●2	2	(2) (2)
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談	●2	3	(2) (2)
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	中学校教育実習	5	4	— —
				高等学校教育実習	3	4	— —
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	●2	4	2
最低修得単位数合計 中一種免27単位 高一種免23単位				合計 中一種免29単位 高一種免25単位			

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

3 「教育の基礎的理解に関する科目等」について、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(中一種免27単位、高一種免23単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

4 中一種免を取得しようとする者は「道德教育」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。なお、高一種免を取得しようとする者が「道德教育」を修得した場合は、その単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位とする。

5 教育実習は、中一種免については「中学校教育実習」、高一種免については「高等学校教育実習」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。各教育実習には、事前および事後指導の1単位を含む。なお、教育実習を履修するには、「教育原論」、「教職入門」、「教育心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導と進路指導」の単位、ならびに「教科及び教科の指導法に関する科目」の「教科教育法a・b」の単位および「教科に関する専門的事項」の必修科目と選択科目(選択必修科目を含む)10単位以上を修得していなければならない。また、「中学校教育実習」を履修

するには、さらに「道德教育」の単位を修得済みでなければならない。

- 6 「教育実践演習(中・高)」を履修するには、教員免許状取得に必要な単位をすべて修得済みまたは当該年度に修得見込みでなければならない。
- 7 「工業」教科の免許取得については、教育職員免許法施行規則第5条第1項備考6の適用により、「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位の修得は、「教科に関する専門的事項(工業概論および職業指導A・Bを除く)」の同数の修得をもって、これに替えることができる。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	最低修得単位数		授業科目	単位数	履修年次	週時間数	
	中一種	高一種				前期	後期
大学が独自に設定する科目	4	12	人間発達と人権	●2	2	(2)	(2)
			道徳教育	2	2	(2)	(2)
			教職特論	2	4		2
			当該免許教科にかかる「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」において、教育職員免許法施行規則に定める最低習得単位数を超えて修得した単位数を充当する。				
最低修得単 中一種免 4単位 位数合計 高一種免 12単位			合計 中一種免 4単位以上 高一種免 12単位以上				

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- 3 「道德教育」については、高一種免許取得の場合は、「大学が独自に設定する科目」とするが、中一種免許取得の場合は、「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」となる。
- 4 「工業」教科の免許取得については、教育職員免許法施行規則第5条第1項備考6の適用により「大学が独自に設定する科目」の単位の修得は、「教科に関する専門的事項(工業概論および職業指導A・Bを除く)」の同数の修得をもって、これに替えることができる。

○大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部履修規定（案）

2016年12月8日

工学内045

改正 2020年12月11日

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この規定は、学則第26条および第48条に基づき、ロボティクス&デザイン工学部における履修について、必要な事項を定める。

（授業科目の分類、週時間数および履修年次）

第2条 授業科目の分類は、卒業の要件との関連で、必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)とする。

2 開設する授業科目の分類、週時間数および履修年次は、別表第1のとおりとする。

（履修方法）

第2条の2 授業科目は、各学科の定めるところにより履修しなければならない。

（他大学、他学部または他学科における授業科目の履修および大学以外の教育施設等における学修ならびに取扱い）

第3条 教育上有益と認めるときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前項に関し、その他文部科学大臣が別に定める学修については、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定に定める。

4 前3項により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を超えない範囲で卒業に必要な単位として認めることができる。

5 教育上有益と認めるときは、学部間または学科間の協議に基づき学長(他学科については学部長)は学生に他学部および他学科の授業科目を履修させることができる。

（大学院授業科目の履修）

第3条の2 教育上有益であり、かつ所属する学部学科の学修に支障がない場合は、学部長は本大学院に進学する学生に対し、進学先の研究科長があらかじめ指定する授業科目の受講を認めることができる。

2 前項に関し必要な事項は、大阪工業大学大学院授業科目の先取履修取扱規定に定める。

(卒業に必要な単位数)

第4条 卒業に必要な単位数は124単位とし、つぎのとおりとする。

イ 共通教養科目 20単位〔外国語8単位を含む〕

ロ 工学関連科目 17単位

ハ 専門横断科目および専門科目

学科	区分	
	必修科目	選択科目
ロボット工学科	20単位	57単位
システムデザイン工学科	22単位	55単位
空間デザイン学科	14単位	63単位
		選択必修科目10科目のうち、10単位を修得していること。

ニ その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目) 10単位

第2章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第5条 1年間の授業を行う期間は、試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業科目の開講期間)

第6条 各授業科目について、1年間の前期前半を第1四半期、前期後半を第2四半期、後期前半を第3四半期、後期後半を第4四半期に分け、各8週の四半期をもって開講期間とする。

2 前項によらず、学修上の効果等を考慮し、複数の四半期を通した開講期間を持つ授業科目を設定できるものとする。

(授業出席の義務)

第7条 学生は履修許可を受けた全ての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第8条 授業は、つぎのとおりとする。

1時限	9 : 10～10 : 50
-----	----------------

2時限	11：00～12：40
3時限	13：30～15：10
4時限	15：20～17：00
5時限	17：10～18：50
6時限	19：00～20：40

第3章 履修申請および履修辞退

(履修許可)

第9条 履修する授業科目は、学部長に申請して許可を得なければならない。

(履修申請)

第10条 履修申請は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って手続きしなければならない。

2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請の手続をしない者は、履修を許可しない。

3 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。

(履修単位数の上限)

第11条 1年間に履修申請できる単位数は、44単位以内とする。ただし、編入学生が入学初年度に履修申請できる単位数は、56単位以内とする。なお、いずれの場合も「キャリアデザイン」、「海外語学研修」、「インターンシップ」、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「ロボティクス&デザイン工学実践演習(国際PBL)」、「グローバルテクノロジー論a」、「グローバルテクノロジー論b」およびその他別に定める科目ならびに卒業に必要な単位数に含まれない科目(教科及び教職に関する科目を含む)を除く。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(履修申請科目の変更等)

第12条 履修申請の手続後は、授業時間割の変更の場合を除いて、追加、訂正および変更を認めない。

(履修許可の取消し)

第13条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第14条 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

- 2 履修辞退の手續方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第4章 試験および成績評価

(試験の区分)

第15条 試験は、定期試験、臨時試験、追試験および再試験とする。

- 2 定期試験は、各学期末に行う試験をいう。
- 3 臨時試験は、授業の進展に伴い臨時に行う試験をいう。
- 4 追試験は、病気その他やむを得ない理由により、受験できなかった者に対して行う試験をいう。
- 5 再試験は別に定める科目について、成績評価が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第16条 前条第4項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて、受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

- 2 追試験の実施については、学部長が定める。
- 3 再試験の申請要領ならびに実施については、学部長が定める。

(成績評価等)

第17条 学則第30条の成績の評価は、筆記試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

- 2 成績の評価は、A、B、C、D、F、*、Gをもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。

A : 100～90点

B : 89～80点

C : 79～70点

D : 69～60点

F : 59～0点

* : 評価不能

G : 合格

- 3 成績評価A、B、C、D、Gを合格とし、所定の単位を与える。
- 4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、Nと表す。
- 5 第2項の成績の評価による学業結果を総合的に判断する指標として、グレードポイント

アベレージ(以下「GPA」という)を用いる。

- 6 前項に定めるGPAは、成績評価のうち、Aにつき4.0、Bにつき3.0、Cにつき2.0、Dにつき1.0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じた積の合計を、履修許可科目の総単位数で除して算出し小数点第2位まで表記する。(小数点第3位を四捨五入)

- 7 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

イ 卒業要件に含むことができない授業科目

ロ 評価を「G」、「N」で表す授業科目

ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)

ニ その他別に定める授業科目

第5章 履修制限

(2年次配当の専門横断科目および専門科目の履修要件)

第18条 2年次配当の専門横断科目および専門科目を履修するための要件は、2年次に在籍し1年次終了までにつぎのとおり単位を修得していること。

ロボット工学科	16単位以上
システムデザイン工学科	30単位以上
空間デザイン学科	30単位以上 「設計製図演習」を修得し、かつ「空間デザイン基礎演習」、「プロダクトデザイン基礎演習」のいずれかを修得していること。

(卒業に必要な単位数に含まれないものを除く)

(3年次配当の専門横断科目および専門科目の履修要件)

第19条 3年次配当の専門横断科目および専門科目を履修するための要件は、3年次に在籍し2年次終了までにつぎのとおり単位を修得していること。

ロボット工学科	60単位以上
システムデザイン工学科	60単位以上
空間デザイン学科	60単位以上

(卒業に必要な単位数に含まれないものを除く)

- 2 ただし、編入学生には前項を適用しない。

(卒業研究着手の要件)

第20条 卒業研究(論文または設計計画)に着手するためには、つぎの各号のすべてを充足していなければならない。

イ 4年次であること

ロ 共通教養科目〔外国語6単位を含む〕および工学関連科目30単位を含み、修得総単位数が104単位以上であること〔卒業に必要な単位数に含まれないもの(教科及び教職に関する科目を含む)を除く〕

2 前項のほか、学科によっては、別表第2「学科別卒業研究着手条件」に定める事項を充足しなければならない。

第6章 教職課程

(教育職員免許状の種類および免許教科)

第21条 学則第48条に定める教育職員免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学科
中学校教諭一種免許状	「技術」	ロボット工学科 システムデザイン工学科
高等学校教諭一種免許状	「工業」	ロボット工学科 システムデザイン工学科 空間デザイン学科

(基礎資格および最低修得単位)

第22条 中学校教諭一種免許状(以下「中一種免」という)または高等学校教諭一種免許状(以下「高一種免」という)を取得するためには、基礎資格として、学士の学位を有し、つぎの各号の各授業科目を履修し単位を修得していなければならない。

イ 共通教養科目の「憲法a」(1単位)および「憲法b」(1単位)

ロ 共通教養科目の「健康体育Ⅰ」(1単位)および「健康体育Ⅱ」(1単位)

ハ 共通教養科目の「プラクティカル・イングリッシュa」(1単位)、「プラクティカル・イングリッシュb」(1単位)、「アカデミック・イングリッシュa」(1単位)、「アカデミック・イングリッシュb」(1単位)、「オーラル・イングリッシュa」(1単位)または「オーラル・イングリッシュb」(1単位)の中から2単位

ニ 専門横断科目の「基礎情報処理」(1単位)および「プログラミング演習Ⅰ」(1単位)

ホ 別表第3に定める教科及び教職に関する科目の所定単位

(教育実習の履修)

第23条 教育実習を履修するためには、第10条に定める履修申請のほか、別に定める申請要領に従って、学部長に許可を得なければならない。

(教育職員免許状出願手続)

第24条 第22条に定める単位を修得した学生は、別に定める期間および出願要領に従ってつぎの各号に掲げる書類に手数料を添えて、学部事務室を経て教務部教務課に提出し、免許状の交付事務を依頼することができる。

イ 教育職員免許状授与申請願

ロ 教育職員免許状授与願・宣誓書・履歴書

第7章 雑則

(その他)

第25条 この規定に定めるもののほか、この規定の実施に関して必要な事項は学部長が定める。

(規定の改廃)

第26条 この規定の改廃は、教授会および大学・大学院運営会議の議を経て、学長がこれを行う。

付 則

- 1 この規定は、2017年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2023年4月1日から施行する。
- 3 2022年度以前の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、学部長が別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1 授業科目等一覧

1 共通教養科目

注1 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 週時間数を〈 〉で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注4 人文社会科学の「日本の文化と社会」ならびに外国語の「日本語Ⅰ」および「日本語Ⅱ」は外国人留学生を対象とする。

授業科目	単位数	履修年次			
		1	2	3	4

				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
共通教 養科目	人文社 会科学	文章表 現基礎 Ⅰ	2	[2]															
		文章表 現基礎 Ⅱa	1			2													
		文章表 現基礎 Ⅱb	1			2													
		哲学	1												〈 2〉	〈 2〉			
		倫理学	1					〈 2〉	〈 2〉										
		美術史	1							〈 2〉	〈 2〉								
		日本語 の歴史	1									〈 2〉	〈 2〉						
		憲法a	1							〈 2〉	〈 2〉								
		憲法b	1												〈 2〉	〈 2〉			
		経済学	1					〈 2〉	〈 2〉										
		歴史学	1												〈 2〉	〈 2〉			
		心理学	1									〈 2〉	〈 2〉						

[illegible]

		ル・イン グリッ シュa																	
		オーラ ル・イン グリッ シュb	1					[2]											
		ベーシ ック・プ レゼン テーシ ョン	1						[2]										
		ビジネ ス・イン グリッ シュa	1							[2]									
		ビジネ ス・イン グリッ シュb	1								[2]								
		アカデ ミッ ク・プレ ゼンテ ーショ ン	1							[2]									
		プロフ ェッシ ョナ ル・イン グリッ	1									[2]							

		線形代 数学Ⅰ	2	[2]															
		線形代 数学Ⅱ	2		[2]														
		確率・統 計学	2						[2]										
		応用解 析学Ⅰ	2					〈 4〉	〈 4〉										
		応用解 析学Ⅱ	2					〈 4〉	〈 4〉										
		物理学 Ⅰ	2	〈 4〉	〈 4〉														
		物理学 Ⅱ	2		〈 4〉	〈 4〉													
		物理学 実験	2	(4)	(4)														
		地球科 学	2	(2)	(2)														
		生物科 学	2					〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉								
	工学マ ネジメ ント科 目	工学倫 理	1	〈 2〉	〈 2〉	〈 2〉	〈 2〉												
		知的財 産法概 論	2								〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉					
		生産マ ネジメ ント	2								〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉	〈 4〉					

3 その他連携科目

注1 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期

(第3四半期および第4四半期)で開講する。

[illegible]

4 專門橫斷科目

イ ロボット工学科

注1 週時間数を「 」で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

授業科目			単位数	履修年次															
				1				2				3				4			
				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
専門横	デザイ	デザイ	2	<	<	<	<												

[illegible]

ロ システムデザイン工学科

注1 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

授業科目			単位数	履修年次															
				1				2				3				4			
				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
専門横断科目	デザイン思考 関連科目	デザイン思考概論	2	<4>	<4>	<4>	<4>												
		造形演習	2	(4)	(4)														
		ロボティクス &デザイン工学演習	●2												(4)	(4)			
		ロボティクス &デザイン工学	1	(前期または後期)(2)(1～4年次)															

	学実践 演習(国 際PBL)																			
計算機 技術演 習科目	基礎情 報処理	1	(2)	(2)																
	プログ ラミン グ演習 I	●1	(2)	(2)																
	プログ ラミン グ演習 II	●1	(2)	(2)																
	プログ ラミン グ演習 III	1					(2)	(2)												
	プログ ラミン グ演習 IV	1					(2)	(2)												
	プログ ラミン グ実践 演習	●1	<4>	<4>	<4>	<4>														

ハ 空間デザイン学科

注1 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

授業科目	単位数	履修年次
------	-----	------

イ ロボット工学科

注2 週時間数を〈 〉で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注3 週時間数を< >で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注4 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

授業科目			単位数	履修年次															
				1				2				3				4			
				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
専門科目	機械系科目	機械材料	2	<	<	<	<												
				4)	4)	4)	4)												
		材料力学Ⅰa	●1	<	<	<	<												
				2)	2)	2)	2)												
		材料力学Ⅰb	1	<	<	<	<												
				2)	2)	2)	2)												

電気電 子系科 目	設計製 図	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	材料力 学Ⅱ	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	機械力 学Ⅰ	●2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	機械力 学Ⅱ	2									<4>	<4>	<4>	<4>				
	熱流体 力学	2									<4>	<4>	<4>	<4>				
	電気回 路Ⅰ	●2	<4>	<4>	<4>	<4>												
	電気回 路Ⅱ	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	アナロ グ電子 回路	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	ディジ タル電 子回路	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	電磁気 学	2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	アクチ ュエー タ工学	2									<4>	<4>	<4>	<4>				
	計測工 学	2	<4>	<4>	<4>	<4>												
計測制 御系科 目	制御工 学Ⅰ	●2					<4>	<4>	<4>	<4>								
	制御工 学Ⅱ	2									<4>	<4>	<4>	<4>				

	学Ⅱ									4)	4)	4)	4)				
	信号処理	2								<	<	<	<				
	画像処理	2								4)	4)	4)	4)				
情報系科目	アルゴリズムとデータ構造	2	<	<	<	<											
	計算機アーキテクチャ	2				<	<	<	<	4)	4)	4)	4)				
	統計解析	2								<	<	<	<				
	数値計算法	2								4)	4)	4)	4)				
ロボット系科目	ラピッドプロトタイピング	2	<	<	<	<											
	ロボット機構学	●2				<	<	<	<	4)	4)	4)	4)				
	先端ロボット技術概論	1								<	<	<	<	2)	2)	2)	2)
	メカトロニクス	2								<	<	<	<	4)	4)	4)	4)

	ロボッ トシス テム設 計論A	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
--	--------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

ロ システムデザイン工学科

注1 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 週時間数を〈 〉で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注3 週時間数を＜ ＞で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注4 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

授業科目			単位数	履修年次															
				1				2				3				4			
				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
専門科目	機電系科目	計測工学	2	<	<	<	<												
目	科目	学		4)	4)	4)	4)												

		材料力学 I a	1	<	<	<	<												
		材料力学 I b	1	<	<	<	<												
		センサ工学	2					<	<	<	<								
		電気回路 I	●2	<	<	<	<												
		電気回路 II	2					<	<	<	<								
		電磁気学	2					<	<	<	<								
		熱流体力学	2									<	<	<	<				
		デジタル電子回路	●2					<	<	<	<								
		機械力学	2					<	<	<	<								
		アナログ電子回路	2					<	<	<	<								
	システム系科目	情報理論	2					<	<	<	<								
		離散数学	●2	<	<	<	<												
		AI・XR 応用	2									<	<	<	<				
		制御工学 I	●2					<	<	<	<								

	制御工学Ⅱ	2						〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉				
	現代制御	2						〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉				
	信号処理	2						〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉				
	統計解析	2						〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉				
	画像処理	2									〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉	
	数値計算法	2									〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉	
	システム工学	2						〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉				
	ヒューマンインタラクション	2									〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉	
	バイオメカニクス	2												(2)	(2)
実験・演習科目	システムデザイン工学実験Ⅰ	●2					(4)	(4)							
	システムデザイン工学実験	●2					(4)	(4)							

		Ⅱ																	
		機械・電気CAD演習	1					<	<	<	<								
								4>	4>	4>	4>								
		基礎ゼミナール	1	(2)	(2)														
		ものづくりデザイン演習	2	(4)	(4)														
		デザイン演習	1								<	<	<	<					
											4>	4>	4>	4>					
		システムデザイン実践演習	●2								<	<	<	<					
											8>	8>	8>	8>					
		システムデザイン工学ゼミナール	●1											[2]					
IoTものづくり系科目		Webシステム開発	1												<	<	<	<	4>
															4>	4>	4>	>	
		データ構造とアルゴリズム	●2					<	<	<	<								
								4>	4>	4>	4>								
		オブジェクト	2					<	<	<	<								
								4>	4>	4>	4>								

	指向ブ ログラ ミング																		
	モデル ベース システ ム設計	2															<4 >4	<4 >4	<4 >4
	知能機 械シス テム	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					
	人工知 能概論	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					
	クラウ ドコン ピュー ティン グ	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					
	音声工 学	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					
	現代デ ザイン 論	2					<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4									
	デザイ ン工学 概論	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					
	ユーザ 工学	2									<4 >4	<4 >4	<4 >4	<4 >4					

ハ 空間デザイン学科

注1 週時間数を [] で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注2 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

注3 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

授業科目			単位数	履修年次															
				1				2				3				4			
				週時間数															
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
専門科目	デザイン共通科目	設計製図演習	●3	[6]															
		CG基礎演習	2			[4]													
		CAD演習Ⅰ	2					[4]											
		CAD演習Ⅱ	2						[4]										
		色彩計画	2										[2]						
		インテリアデザイン計画	2									[2]							
		知の技法	2									<4>	<4>						
		造形力学Ⅰ	2					[2]											
		造形力学Ⅱ	2							[2]									
		構造デザイン	2											<4>	<4>				
構造材料・構造実験	2											[4]							

		デザイン論Ⅰ	●2	[2]															
		デザイン論Ⅱ	●2			[2]													
		デザイン論Ⅲ	●2									[2]							
		空間形態論	2						〈 4〉	〈 4〉									
		生活空間デザイン	2						〈 4〉	〈 4〉									
		インテリアデザイン史	2						〈 4〉	〈 4〉									
		商空間デザイン	2						〈 4〉	〈 4〉									
		ものづくりデザイン演習	2			[4]													
		人間工学	2								[2]								
		文化テクノロジー論	2													〈 4〉	〈 4〉		
		基礎ゼミナール	1		[2]														
		デザイン	●1											[2]					

[illegible]

		ドプロ トタイ ピング					4>4>												
		デザイ ン史	2								<< 4>4>								

別表第2 学科別卒業研究着手条件

専門横断科目 および専門科 目	ロボット工学科	イ 2018年度以前入学生については、1・2年次配当 の必修科目を全て修得していること ロ 2019年度～2021年度入学生については、1・2年 次配当の必修科目を全て修得し、かつ、「ものづく りデザイン思考実践演習Ⅱ」を修得していること ハ 2022年度以降入学生については、1・2年次配当 の必修科目を全て修得し、かつ、「ロボット工学ゼ ミナール」を修得していること
	システムデザイン工 学科	イ 2018年度以前入学生については、1・2年次配当 の必修科目を全て修得していること ロ 2019年度～2021年度入学生については、1・2年 次配当の必修科目を全て修得し、かつ、「ものづく りデザイン思考実践演習Ⅱ」を修得していること ハ 2022年度以降入学生については、1・2年次配当 の必修科目を全て修得し、かつ、「システムデザイ ン工学ゼミナール」を修得していること
	空間デザイン学科	イ 2018年度以前入学生については、1・2年次配当 の必修科目を全て修得し、かつ、選択必修科目の「空 間デザイン基礎演習」、「空間デザイン演習Ⅰ」、 「空間デザイン演習Ⅱ」、「プロダクトデザイン基 礎演習」、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「プロ ダクトデザイン演習Ⅱ」の6科目のうち、6単位を修 得していること。 ロ 2019年度～2021年度入学生については、1・2年 次配当の必修科目を全て修得し、かつ、「ものづく

	りデザイン思考実践演習Ⅱ」および選択必修科目の「空間デザイン基礎演習」、「空間デザイン演習Ⅰ」、「空間デザイン演習Ⅱ」、「プロダクトデザイン基礎演習」、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「プロダクトデザイン演習Ⅱ」の6科目のうち、6単位を修得していること。 ハ 2022年度以降入学生については、1・2年次配当の必修科目を全て修得し、かつ、「デザイン工学ゼミナール」および選択必修科目の「空間デザイン基礎演習」、「空間デザイン演習Ⅰ」、「空間デザイン演習Ⅱ」、「プロダクトデザイン基礎演習」、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「プロダクトデザイン演習Ⅱ」の6科目のうち、6単位を修得していること。
--	--

別表第3 教科及び教職に関する科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 技術

イ ロボット工学科

教育職員免許法施行規則に定める 科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科目区分	各科目に含 めることが 必要な事項	最低修得単 位数	授業科目	単位数	履修年 次	週時間数			
		前期				後期			
		1				2	3	4	
教科に関す る専門的事 項	木材加工 (製図及び 実習を含 む。)	1	木材加工	2	2	(前期または後期)(2)			
	金属加工 (製図及び 実習を含 む。)	1	材料力学Ⅰ	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
			材料力学Ⅰ	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
			材料力学Ⅱ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

			機械工作実習	●2	1	(前期または後期)(4)			
			設計製図	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			機械材料	2	1	<4>	<4>	<4>	<4>
			計測工学	2	1	<4>	<4>	<4>	<4>
	機械(実習を含む。)	1	機械力学Ⅰ	●2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			制御工学Ⅰ	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			制御工学Ⅱ	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			メカトロニクス	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			機械CAD演習	1	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			造形演習	2	1	(前期または後期)(4)			
			ロボット機構学	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			機械力学Ⅱ	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			アクチュエータ工学	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			ロボットシステム設計論A	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			ロボットシステム設計論B	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
			ロボット工学実験Ⅱ	●2	2	(前期または後期)(4)			
	電気(実習を含む。)	1	電気回路Ⅰ	●2	1	<4>	<4>	<4>	<4>
			電気回路Ⅱ	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			電磁気学	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
			デジタル	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>

			電子回路						
			アナログ電子回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ロボット工学実験Ⅰ	●2	2	(前期または後期)(4)			
			電気CAD演習	1	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
	栽培(実習を含む。)	1	栽培	●2	2	前期 (2)			
	情報とコンピュータ (実習を含む。)	1	基礎情報処理	1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅰ	●1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅱ	1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅲ	1	2	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅳ	1	1	(前期または後期)(2)			
			技術科教育法a	●2	2	(前期または後期)(2)			
			技術科教育法b	●2	3	(前期または後期)(2)			
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	技術科教育法c	●2	3	(前期または後期)(2)			
			技術科教育法d	●2	4	(前期または後期)(2)			
最低修得単位数合計 28単位			最低修得単位数合計 28単位						

ロ システムデザイン工学科

教育職員免許法施行規則に定める	左記科目に対する本大学での科目等
-----------------	------------------

科目および単位数									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数			
						前期		後期	
		高一種免				1	2	3	4
教科に関する専門的事項	木材加工 (製図及び実習を含む。)	1	木材加工	●2	2	(前期または後期)(2)			
	金属加工 (製図及び実習を含む。)	1	材料力学Ⅰa	●1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
			材料力学Ⅰb	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
			設計製図	●2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ものづくりデザイン演習	2	1	(前期または後期)(4)			
	機械(実習を含む。)	1	計測工学	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			機械力学	●2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			制御工学Ⅰ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			制御工学Ⅱ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			システムデザイン工学実験Ⅱ	●2	2	(前期または後期)(4)			
			機械・電気CAD演習	1	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
	電気(実習を含む。)	1	電気回路Ⅰ	●2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			電気回路Ⅱ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			電磁気学	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			デジタル電子回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

		アナログ電子回路	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		システムデザイン工学実験Ⅰ	2	2	(前期または後期)(4)			
栽培(実習を含む。)	1	栽培	2	2	前期 (2)			
情報とコンピュータ (実習を含む。)	1	基礎情報処理	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミング演習Ⅰ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミング演習Ⅱ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミング演習Ⅲ	1	2	(前期または後期)(2)			
		プログラミング演習Ⅳ	1	2	(前期または後期)(2)			
		離散数学	2	1	<4>	<4>	<4>	<4>
		データ構造とアルゴリズム	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		オブジェクト指向プログラミング	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		クラウドコンピューティング	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
		技術科教育法a	2	2	(前期または後期)(2)			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	技術科教育	2	3	(前期または後期)(2)			

		法b			
		技術科教育	●2	3	(前期または後期)(2)
		法c			
		技術科教育	●2	4	(前期または後期)(2)
		法d			
最低修得単位数合計 28単位		最低修得単位数合計 28単位			

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

注2 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注3 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注4 週時間数を〈 〉で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注5 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、中一種免を取得する者は20単位以上修得すること。

注6 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(28単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

(2) 工業

イ ロボット工学科

教育職員免許法施行規則に定める 科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科目区分	各科目に含 めることが 必要な事項	最低修得単 位数	授業科目	単位数	履修年 次	週時間数			
		高一種免				前期		後期	
						1	2	3	4
教科に関する専門的事項	工業の関係 科目	1	工業概論	●2	2	(前期または後期)(2)			
			デザイン思考概論	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			造形演習	2	1	(前期または後期)(4)			
			ロボティクス&デザイン工学演習	2	4	(前期または後期)(4)			

		基礎情報処 理	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅰ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅱ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅲ	1	2	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅳ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング実践演 習	1	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		機械材料	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		材料力学 Ⅰ a	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
		材料力学 Ⅰ b	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
		設計製図	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		材料力学 Ⅱ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		機械力学 Ⅰ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		機械力学 Ⅱ	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		熱流体力 学	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		電気回路 Ⅰ	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		電気回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

			Ⅱ						
			アナログ 電子回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			デジタル電子回 路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			電磁気学	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			アクチュ エータ工 学	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			計測工学	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			制御工学 Ⅰ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			制御工学 Ⅱ	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			信号処理	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			画像処理	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			アルゴリ ズムとデ ータ構造	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			計算機ア ーキテク チャ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			統計解析	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			数値計算 法	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ラピッド プロッタ イピング	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ロボット	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

			機構学					
			先端ロボ ット技術 概論	1	3	〈2〉	〈2〉	〈2〉
			メカトロ ニクス	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ロボット システム 設計論A	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ロボット システム 設計論B	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			機械学習	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			知能ロボ ット	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ヒューマ ンロボッ トインタ ラクショ ン	2	4	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			バイオメカ ニクス	2	4	(前期または後期)(2)		
			基礎ロボッ ト工学演習	1	1	(前期または後期)(2)		
			機械工作実 習	2	1	(前期または後期)(4)		
			ロボット工 学実験Ⅰ	2	2	(前期または後期)(4)		
			ロボット工 学実験Ⅱ	2	2	(前期または後期)(4)		

			機械CAD 演習	1	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉	
			電気CAD 演習	1	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉	
			ロボットシ ステム創造 演習	2	3	[4]				
			ロボット工 学ゼミナー ル	1	3			[2]		
			職業指導	1	職業指導A	●2	3	(前期または後期)(2)		
				職業指導B	●2	3	(前期または後期)(2)			
	各教科の指導法(情報通 信技術の活用を含む。)	4	工業科教育 法a	●2	3	(前期または後期)(2)				
			工業科教育 法b	●2	3	(前期または後期)(2)				
	最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位						

ロ システムデザイン工学科

教育職員免許法施行規則に定める 科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科目区分	各科目に含 めることが 必要な事項	最低修得単 位数 高一種免	授業科目	単位数	履修年 次	週時間数			
						前期		後期	
						1	2	3	4
教科に関す る専門的事 項	工業の関 係科目	1	工業概論	●2	2	(前期または後期)(2)			
			デザイン思 考概論	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			造形演習	2	1	(前期または後期)(4)			
			ロボティク ス&デザイ ン工学演習	2	4	(前期または後期)(4)			

		基礎情報処 理	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅰ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅱ	1	1	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅲ	1	2	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング演習Ⅳ	1	2	(前期または後期)(2)			
		プログラミ ング実践演 習	1	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		計測工学	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		材料力学Ⅰ a	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
		材料力学Ⅰ b	1	1	〈2〉	〈2〉	〈2〉	〈2〉
		センサ工学	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		電気回路Ⅰ	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		電気回路Ⅱ	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		電磁気学	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		熱流体力学	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		デジタル 電子回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		機械力学	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		アナログ電 子回路	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		情報理論	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
		離散数学	2	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

		AI・XR応用	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
		制御工学 I	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		制御工学 II	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		現代制御	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		信号処理	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		統計解析	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		画像処理	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
		数値計算法	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
		システム工 学	2	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		ヒューマン インタラク ション	2	3	<4>	<4>	<4>	<4>
		バイオメカ ニクス	2	4	(前期または後期)(2)			
		システムデ ザイン工学 実験 I	2	2	(前期または後期)(4)			
		システムデ ザイン工学 実験 II	2	2	(前期または後期)(4)			
		機械・電気 CAD演習	1	2	<4>	<4>	<4>	<4>
		基礎ゼミナ ール	1	1	(前期または後期)(2)			
		ものづくり デザイン演 習	2	1	(前期または後期)(4)			
		デザイン演 習	1	3	<4>	<4>	<4>	<4>

			システムデザイン実践演習	2	3	〈8〉	〈8〉	〈8〉	〈8〉
			システムデザイン工学ゼミナール	1	3			[2]	
			webシステム開発	1	4	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			データ構造とアルゴリズム	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			オブジェクト指向プログラミング	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			モデルベースシステム設計	2	4	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			知能機械システム	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			人工知能概論	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			クラウドコンピューティング	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			音声工学	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			現代デザイン論	2	2	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			デザイン工学概論	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			ユーザ工学	2	3	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉

	職業指導	1	職業指導A	●2	3	(前期または後期)(2)
			職業指導B	●2	3	(前期または後期)(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育 法a	●2	3	(前期または後期)(2)
			工業科教育 法b	●2	3	(前期または後期)(2)
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位			

ハ 空間デザイン学科

教育職員免許法施行規則に定める 科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科目区分	各科目に含 めることが 必要な事項	最低修得単 位数 高一種免	授業科目	単位数	履修年 次	週時間数			
						前期		後期	
						1	2	3	4
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	工業概論	●2	2	(前期または後期)(2)			
			デザイン思考概論	2	1	<4>	<4>	<4>	<4>
			造形演習	2	1	(前期または後期)(2)			
			ロボティクス&デザイン工学演習	2	4	(前期または後期) (4)			
			基礎情報処理	1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅰ	1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅱ	1	1	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅲ	1	2	(前期または後期)(2)			
			プログラミング演習Ⅳ	1	2	(前期または後期)(2)			

			プログラミング実践演習	1	1	〈4〉	〈4〉	〈4〉	〈4〉
			設計製図演習	3	1	[6]			
			CG基礎演習	2	1			[4]	
			CAD演習Ⅰ	2	2	[4]			
			CAD演習Ⅱ	2	2			[4]	
			色彩計画	2	3			[2]	
			インテリアデザイン計画	2	3	[2]			
			知の技法	2	3	〈4〉	〈4〉		
			造形力学Ⅰ	2	2	[2]			
			造形力学Ⅱ	2	2			[2]	
			構造デザイン	2	3			〈4〉	〈4〉
			構造材料・構造実験	2	3			[4]	
			デザイン論Ⅰ	2	1	[2]			
			デザイン論Ⅱ	2	1			[2]	
			デザイン論Ⅲ	2	3	[2]			
			空間形態論	2	2	〈4〉	〈4〉		
			生活空間デ	2	2	〈4〉	〈4〉		

			ザイン						
			インテリア デザイン史	2	2			〈4〉	〈4〉
			商空間デザ イン	2	2			〈4〉	〈4〉
			ものづくり デザイン演 習	2	1			[4]	
			人間工学	2	2			[2]	
			文化テクノ ロジー論	2	4	〈4〉	〈4〉		
			基礎ゼミナ ール	1	1	[2]			
			デザイン工 学ゼミナ ール	1	3			[2]	
			空間デザイ ン基礎演習	2	1			[4]	
			空間デザイ ン演習Ⅰ	2	2	[4]			
			空間デザイ ン演習Ⅱ	2	2			[4]	
			空間デザイ ン演習Ⅲ	2	3	[4]			
			空間デザイ ン演習Ⅳ	2	3			[4]	
			建築計画Ⅰ	2	2	〈4〉	〈4〉		
			建築計画Ⅱ	2	2			〈4〉	〈4〉
			建築設計方 法論	2	3			〈4〉	〈4〉

		都市環境デザイン	2	4	[2]		
		日本建築史	2	2		〈4〉	〈4〉
		西洋建築史	2	3	〈4〉	〈4〉	
		近代建築史	2	3	〈4〉	〈4〉	
		建築構法	2	2	[2]		
		建築構造学	2	3	〈4〉	〈4〉	
		建築環境工学Ⅰ	2	3	[2]		
		建築環境工学Ⅱ	2	3			[2]
		建築法規	2	3			[2]
		建築施工	2	3			[2]
		建築材料	2	2	[2]		
		建築設備	2	3			[2]
		プロダクトデザイン基礎演習	2	1			[4]
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	2	2	[4]		
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	2	2			[4]
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	2	3	[4]		
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	2	3			[4]

			プロダクト材料工学	2	2	〈4〉	〈4〉		
			コミュニケーションデザイン論	2	2	〈4〉	〈4〉		
			コンテンツ応用論	2	3			[2]	
			情報デザイン論	2	2			〈4〉	〈4〉
			デザインマネジメント	2	3	[2]			
			ラピッドプロトタイピング	2	2	〈4〉	〈4〉		
			デザイン史	2	3	〈4〉	〈4〉		
			職業指導	1	職業指導A	●2	3	(前期または後期)(2)	
職業指導B	●2	3			(前期または後期)(2)				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	工業科教育法a	●2	3	(前期または後期)(2)				
		工業科教育法b	●2	3	(前期または後期)(2)				
最低修得単位数合計 24単位			最低修得単位数合計 32単位						

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

注2 週時間数を〔 〕で囲んだ授業科目は、複数の四半期を通して開講する。

注3 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注4 週時間数を〈 〉で囲んだ授業科目は、第1四半期または第2四半期、もしくは第3四半期または第4四半期で開講する。

注5 「教科に関する専門的事項」の必修科目、選択科目(選択必修科目を含む)から、高一種免を取得する者は28単位以上修得すること。

注6 「教科及び教科の指導法に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定め

る最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数			
		高一種免				前期		後期	
						1	2	3	4
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	●2	2	(前期または後期)(2)			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	●2	1	(前期または後期)(2)			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政	●2	3	(前期または後期)(2)			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	●2	1	(前期または後期)(2)			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	●2	2・3	(前期または後期)(2)			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	●2	2	(前期または後期)(2)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び	道徳の理論及び指導法	8	道徳教育	2	2	(前期または後期)(2)			
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	●2	2・3	(前期または後期)(2)			
	特別活動の指導法								

生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術		教育方法論	●2	2	(前期または後期)(2)			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		(ICT活用含む)						
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導と進路指導	●2	2	(前期または後期)(2)			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	●2	3	(前期または後期)(2)			
教育実践に関する科目	教育実習	3	高等学校教育実習	3	4				
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	●2	4				[2]
最低修得単位数合計 高一種免23単位			合計 高一種免25単位						

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 「教育の基礎的理解に関する科目等」について、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(23単位)を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」に充当する。

注4 高一種免を取得しようとする者が「道德教育」を修得した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位とする。

注5 「高等学校教育実習」には、事前および事後指導の1単位を含む。なお、「高等学校教育実習」を履修するには、「教育原論」、「教職入門」、「教育心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導と進路指導」の単位、ならびに「教科及び教科の指導法に関する科目」の「教科教育法a・b」の単位および「教科に関する専門的事項」の必修科目と選択科目(選択必修科目含む)10単位以上の単位を修得していなければならない。

注6 「教育実践演習(中・高)」を履修するには、教員免許状取得に必要な単位をすべて修得済みまたは当該年度に修得見込みでなければならない。

注7 「工業」教科の免許取得については、教育職員免許法施行規則第5条第1項備考6の適用により、「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位の修得は、「教科に関する

専門的事項(工業概論および職業指導A・Bを除く)」の同数の修得をもって、これに替えることができる。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等						
科目	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	週時間数			
	高一種免				前期		後期	
					1	2	3	4
大学が独自に設定する科目	12	人間発達と人権	●2	2	(前期または後期)(2)			
		道徳教育	2	2	(前期または後期)(2)			
		教職特論	2	4			[2]	
		「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。						
最低修得単位数合計 高一種免12単位		合計 高一種免12単位						

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

注2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期(第1四半期および第2四半期)または後期(第3四半期および第4四半期)で開講する。

注3 「工業」教科の免許取得については、教育職員免許法施行規則第5条第1項備考6の適用により「大学が独自に設定する科目」の単位の修得は、「教科に関する専門的事項(工業概論および職業指導A・Bを除く)」の同数の修得をもって、これに替えることができる。

○大阪工業大学学位規定（案）

昭和46年2月2日

学園107

改正 2018年3月1日

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この規定は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第13条ならびに大阪工業大学(以下「本大学」という)学則第32条および大阪工業大学大学院(以下「本大学院」という)学則第34条の規定に基づき、本大学において授与する学位、論文審査の方法、試験および学力の確認の方法その他学位に関し必要な事項を定める。

（学位）

第2条 本大学において授与する学位は、次のとおりとする。

イ 学士学位

学部名	学位名称	英文学位名称
工学部	学士(工学)	Bachelor of Engineering
ロボティクス&デザイン工学部	学士(工学)	Bachelor of Engineering
情報科学部	学士(情報学)	Bachelor of Information Science and Technology
知的財産学部	学士(知的財産学)	Bachelor of Intellectual Property

ロ 修士学位

研究科名	学位名称	英文学位名称
工学研究科	修士(工学)	Master of Engineering
ロボティクス&デザイン工学研究科	修士(工学)	Master of Engineering
情報科学研究科	修士(情報学)	Master of Information Science and Technology

ハ 博士学位

研究科名	学位名称	英文学位名称
------	------	--------

工学研究科	博士(工学)	Doctor of Engineering
ロボティクス&デザイン工学 研究科	博士(工学)	Doctor of Engineering
情報科学研究科	博士(情報学)	Doctor of Information Science and Technology

ニ 専門職学位

研究科名	学位名称	英文学位名称
知的財産研究科	知的財産修士(専門職)	Master of Intellectual Property

2 学位の名称を用いるときは、本大学名を付記しなければならない。

(学士の学位授与)

第3条 学士の学位は、本大学を卒業した者に授与する。

(修士の学位授与)

第4条 修士の学位は、本大学院博士前期課程を修了した者に授与する。

(課程修了による博士の学位授与)

第5条 博士の学位は、本大学院博士課程を修了した者に授与する。

(論文提出による博士の学位授与)

第6条 博士の学位は、博士の学位論文(以下「博士論文」という)を提出し、前条と同等以上の学力があると確認され、論文審査および試験に合格した者に授与する。

(専門職学位の授与)

第6条の2 専門職学位は、本大学院専門職学位課程を修了した者に授与する。

第2章 学士の学位

(学士の学位記)

第7条 学長は、教授会の議に基づき、卒業を許可された者に対して学士の学位記を授与する。

2 学士の学位記は、別記様式1による。

第3章 修士の学位

(修士の学位の申請)

第8条 修士の学位を申請する者は、修士の学位論文(以下「修士論文」という)および論文の概要各2部を研究科委員会へ提出するものとする。

2 修士論文の提出時期は、在学2年次の者は1月、3年次以上の者は7月または1月とし、あ

らかじめ指定された日時までに提出しなければならない。

(論文審査および試験)

第9条 修士論文の審査および最終試験は、研究科委員会が選出する審査委員が行う。

- 2 審査委員は、指導教員を主査とし、副査として当該論文の内容に応じた研究分野および関連分野担当の教員を加えるものとする。ただし、主査または副査に教授を含めるものとする。
- 3 最終試験は、修士論文を中心に、これに関連ある科目につき、口頭試問によって行う。
- 4 審査委員は、審査の結果をまとめた審査報告書と最終試験の可否について、1月提出の修士論文に対しては2月末日までに、7月提出の修士論文に対しては8月末日までに研究科委員会に提出しなければならない。

(学位授与の判定)

第10条 研究科委員会は、修士論文審査報告書にもとづき、試験の結果をあわせて、修士の学位授与の判定をする。

- 2 研究科長は、学位授与の判定の結果を学長に報告するものとする。

(修士の学位記)

第11条 学長は、前条の判定の結果にもとづき、修士の学位記を授与する。

- 2 修士の学位記の授与は、毎年3月および9月とする。
- 3 修士の学位記は、別記様式2による。

第4章 博士の学位

第1節 課程修了による学位

(課程修了による博士の学位の申請)

第12条 第5条により博士の学位を申請する者は、学位申請書(甲)に博士論文、論文の概要、論文目録各2部およびこれらの電子データ1部、履歴書1部を添えて研究科長に提出するものとする。

(論文審査および試験)

第13条 博士論文の審査および最終試験は、研究科委員会が選出する審査委員が行う。

- 2 審査委員は、当該論文に関連ある後期課程の授業科目担当の教授のうちから研究科委員会において3名以上選出するものとし、うち1名が主査となる。ただし、必要のあるときは、大学院の他の教員をこれに充てることができる。
- 3 博士論文の審査に当たっては、他の大学院または研究所等の教員等の協力を得ることができる。

- 4 博士の学位に関する最終試験は、博士論文を中心に、その研究成果を確認する目的をもって、口頭試問によって行う。
- 5 審査委員は、審査の結果をまとめた博士論文審査報告書と最終試験の可否を記載した試験結果報告書を、当該論文を受理した後、1年以内に研究科委員会に提出するものとする。
(学位授与の判定)

第14条 研究科委員会は、博士論文審査報告書にもとづき、試験の結果をあわせて、博士の学位授与の判定をする。

- 2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。その議決は、無記名投票によるものとする。
- 3 研究科長は、学位授与の判定の結果を学長に報告するものとする。
(課程修了による博士の学位記)

第15条 学長は、前条の判定の結果にもとづき、博士の学位記を授与する。

- 2 課程修了による博士の学位記は、別記様式3による。
- 3 博士の学位授与日は、学位授与判定の日とする。

第2節 論文提出による学位

(論文提出による博士の学位の申請)

第16条 第6条により博士の学位を申請する者は、学位申請書(乙)に博士論文、論文の概要、論文目録各2部およびこれらの電子データ1部、履歴書および研究業績書各1部を学長に提出するものとする。なお、所定の期間内に第24条に定める審査手数料を納入しなければならない。

- 2 博士論文の審査に先立ち、次条および第18条の定めるところによって、論文の受理の決定および学力の確認を行うものとする。

(論文受理)

第17条 学位の申請があったときは、学長は研究科委員会の議を経て論文を受理する。

(学力確認)

第18条 前条により博士論文が受理されたときは、研究科委員会は博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することの確認を行わなければならない。

- 2 学力の確認は、学位申請者の研究分野に関係のある授業科目の担当教授3名以上の委員により行い、うち1名が主査となる。
- 3 学力の確認は、原則として筆答または口答による試問によって行う。ただし、学位申請者の学歴、研究業績などによって確認を行う場合には、学力の確認のための試問を省略

することができる。

- 4 本大学院後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得のうえ、必要な研究指導を受け、退学した者で、退学後5年以内に博士論文を提出した場合には、学力確認のための試問を免除することができる。
- 5 研究科委員会は、第2項の委員の報告にもとづいて学力の確認を決定する。

(論文審査等)

第19条 学位申請者の博士論文の審査、試験および学位授与の判定などについては、第13条および第14条を準用する。

(論文提出による博士の学位記)

第20条 学長は、前2条の要件を満たした者に対して、博士の学位記を授与する。

- 2 論文提出による博士の学位記は、別記様式4による。
- 3 博士の学位授与日は、学位授与判定の日とする。

第3節 学位授与の報告および論文の公表

(学位授与の報告)

第21条 本大学が、博士の学位を授与したときは、授与した日から3カ月以内に学位授与報告書を文部科学大臣に提出するものとする。

(論文要旨等の公表)

第22条 本大学が、博士の学位を授与したときは、授与した日から3カ月以内に、その論文内容の要旨および論文審査結果の要旨を公表するものとする。

(論文の公表)

第23条 博士の学位授与を受けた者は、授与を受けた日から1年以内に、その論文の全文をインターネットの利用により公表しなければならない。ただし、やむを得ない事由がある場合には、大学の承認を受けて当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。なお、やむを得ない事由が無くなった場合には、全文を公表するものとする。

第4節 審査手数料

(審査手数料)

第24条 第16条による博士論文の審査手数料は、100,000円とする。

- 2 前項にかかわらず、第18条第4項による場合で、退学後3年以内の者については、審査手数料を免除する。
- 3 すでに納入した審査手数料は、事情のいかんを問わず返戻しない。

第5章 専門職学位

(専門職学位の学位記)

第24条の2 学長は、研究科委員会の議に基づき、修了を許可された者に対して専門職学位の学位記を授与する。

2 専門職学位の学位記は、別記様式5による。

第6章 学位論文の保管

(学位論文の保管)

第25条 修士論文および博士論文は、本大学図書館において保管する。

2 前項の保管については、本大学学位論文保管規定に定める。

第7章 学位の取消し

(学位の取消し)

第26条 学士、修士または博士の学位の授与を受けた者で、つぎの事実があったときは、学長は教授会または研究科委員会の議を経て、学位の授与を取り消し、学位記を返付せしめ、かつ、その旨を公表する。

イ 不正の方法による学位の授与を受けたとき

ロ 名誉を汚す行為があったとき

2 前項の教授会または研究科委員会の議決は、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

第8章 その他

(規定の改廃)

第27条 本規定の改廃は、学士の学位に関する条項については教授会および大学・大学院運営会議、修士および博士の学位に関する条項については研究科委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

(施行細則)

第28条 本規定施行に必要な細則は、別に定める。

付 則

1 この規定は、昭和46年2月6日から施行する。

2 昭和41年12月20日施行の「修士の学位授与に関する内規」は、本規定施行の日をもって廃止する。

3 この改正規定は、2018年4月1日から施行する。

別記様式1(学士の学位記)

大阪工業大学 之印		卒業証書・学位記	
氏名		年 月 日 生	
本学〇〇学部〇〇学科所定の課程を修め			
本学を卒業したので学士(〇〇)の学位を			
授与する			
年 月 日		印	
大阪工業大学〇〇学部長		印	
大阪工業大学長		印	
〇学第 号			

別記様式2(修士の学位記)

大阪工業大学 之印		学位記	
		氏名	年 月 日生
本学大学院○○研究科○○専攻の○○課程 において所定の単位を修得しかつ必要な研 究指導を受け学位論文の審査および最終試 験に合格したので修士(○○)の学位を授与 する			
○修第	年 月 日	大阪工業大学長	印
号			

別記様式3(第5条による博士の学位記)

大阪工業大学 之印		学位記	
氏名		年 月 日生	
本学大学院○○研究科○○○○専攻の博士課程において所定の単位を修得しかつ必要な研究指導を受け学位論文の審査および最終試験に合格したので博士(○○)の学位を授与する			
(論文題目)		年 月 日	
大阪工業大学長		印	
○博甲第 号			

別記様式4(第6条による博士の学位記)

大阪工業大学 之印		学位記	
氏名		年 月 日 生	
本学に学位論文を提出し所定の審査および 試験に合格したので博士(〇〇)の学位を授 与する			
(論文題目)			
年 月 日		大阪工業大学長	
印		〇博乙第 号	

別記様式5(専門職学位の学位記)

大阪工業大学 之印		学位記
○修第	氏	年 月 日生
号	名	
	本学大学院知的財産研究科知的財産専攻の 専門職学位課程において所定の単位を修得 したので知的財産修士(専門職)の学位を授 与する	
	年 月 日	
	大阪工業大学長	
	印	

別記様式1(学士の学位記)

別記様式2(修士の学位記)

別記様式3(第5条による博士の学位記)

別記様式4(第6条による博士の学位記)

別記様式5(専門職学位の学位記)